

決算に合わせて開示する高速道路事業関連情報(平成 28 年度)

資料

決算に合わせて開示する高速道路事業関連情報 資料目次

1. 債務返済の状況

平成 28 年度の資金調達の状況	1
債務返済計画と実績の対比（総括表）	3
債務返済計画と実績の対比	5
全国路線網に属する高速道路における東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)及び本州四国連絡高速道路(株)から徴収する貸付料を充てて返済を行う債務の額を高速道路会社ごとに試算した平成 29 年度（2017 年度）期首の債務残高の計画と実績の対比	21
高速道路会社も含めた高速道路事業全体の債務残高及び債務返済状況	22

2. 財務諸表のセグメント情報

高速道路機構のセグメント情報（高速道路勘定・損益計算書）	23
高速道路機構のセグメント情報（高速道路勘定・貸借対照表）	25
高速道路機構のセグメント情報（損益計算書）（全国路線網の高速道路会社所管分内訳）（試算値）	27
高速道路機構のセグメント情報（貸借対照表）（全国路線網の高速道路会社所管分内訳）（試算値）	28
高速道路会社連結損益計算書一覧	29
高速道路会社連結貸借対照表一覧	30
高速道路機構と高速道路会社を合わせた資産と債務の状況	31
高速道路機構と高速道路会社を合わせた債務の状況の推移	32
営業中高速道路の路線別資産額	33

3. 高速道路収支関連情報

高速道路の収支率（試算値）	39
路線別営業収支差（高速道路会社情報の総括）	40
金利の路線別配賦（試算値）	45

4. 建設・維持・管理の状況

建設コストの計画と実績	51
管理コストの計画と実績（高速道路会社情報の総括）	53
アウトカム指標の計画と実績（高速道路会社情報の総括）	54

5. 道路資産の保有及び貸付状況

道路資産保有及び貸付状況（総括表）	65
-------------------	----

平成 28 年度の資金調達状況

【政府保証債】

年限	回号	発行日	発行額	利率
10年	第273回	平成28年4月19日	300億円	0.020%
	第276回	平成28年5月24日	300億円	0.020%
	第279回	平成28年6月16日	300億円	0.010%
	第282回	平成28年7月20日	300億円	0.005%
	第285回	平成28年8月17日	300億円	0.010%
	第288回	平成28年9月15日	300億円	0.010%
	第291回	平成28年10月19日	300億円	0.005%
	第294回	平成28年11月22日	300億円	0.005%
	第297回	平成28年12月15日	300億円	0.085%
	第300回	平成29年1月20日	300億円	0.115%
	第303回	平成29年2月16日	300億円	0.174%
	第306回	平成29年3月16日	260億円	0.145%
		計		3,560億円
20年	第275回	平成28年4月25日	400億円	0.306%
	第278回	平成28年5月31日	300億円	0.237%
	第280回	平成28年6月20日	300億円	0.235%
	第284回	平成28年7月27日	400億円	0.149%
	第286回	平成28年8月17日	300億円	0.310%
	第289回	平成28年9月14日	300億円	0.439%
	第293回	平成28年10月25日	400億円	0.397%
	第296回	平成28年11月30日	300億円	0.522%
	第298回	平成28年12月16日	300億円	0.547%
	第301回	平成29年1月24日	400億円	0.618%
	第304回	平成29年2月15日	300億円	0.737%
	第307回	平成29年3月21日	300億円	0.681%
		計		4,000億円
30年	第274回	平成28年4月19日	200億円	0.485%
	第277回	平成28年5月26日	200億円	0.394%
	第283回	平成28年7月20日	200億円	0.086%
	第290回	平成28年9月27日	200億円	0.585%
	第295回	平成28年11月24日	200億円	0.569%
	第299回	平成28年12月21日	200億円	0.828%
	第302回	平成29年1月30日	200億円	0.815%
	第308回	平成29年3月23日	200億円	0.900%
	計		1,600億円	0.583%
40年	第281回	平成28年6月24日	100億円	0.298%
	第287回	平成28年8月26日	100億円	0.481%
	第292回	平成28年10月18日	100億円	0.594%
	第305回	平成29年2月27日	100億円	1.000%
	計		400億円	0.593%
合計			9,560億円	0.319%

【財投機関債】

年限	回号	発行日	発行額	利率
20年	第172回	平成28年6月10日	100億円	0.288%
	計		100億円	0.288%
30年	第171回	平成28年5月31日	100億円	0.465%
	第174回	平成28年7月13日	100億円	0.179%
	計		200億円	0.322%
40年	第170回	平成28年4月27日	400億円	0.698%
	第173回	平成28年6月20日	400億円	0.652%
	第175回	平成28年9月20日	300億円	0.711%
	第176回 ※	平成29年1月26日	150億円	1.194%
	第177回	平成29年1月26日	450億円	1.104%
	計		1,700億円	0.841%
合計			2,000億円	0.761%
総計			1兆1,560億円	0.395%

(注) 利率の計、合計及び総計は、加重平均で表示しています。
債券の発行価額は全て100円です。

※ 元本償還時に利子を一括して支払う債券です。

平成28年度(2016年度) 債務返済計画と実績の対比

〔高速道路機構〕

〔単位：億円(消費税込み)〕

	合計	全国路線網	首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)	一の路線
未償還残高(平成28年度期首)						
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務						
計画(A)	340,809	253,138	50,743	35,282	1,498	148
実績(B)	340,450	253,138	50,347	35,321	1,568	77
差額(B)-(A)	△ 359	0	△ 396	39	70	△ 71
債務残高(平成28年度期首)						
計画(A)	285,396	216,207	39,821	28,180	1,040	148
実績(B)	285,044	216,207	39,424	28,219	1,116	77
差額(B)-(A)	△ 352	0	△ 396	39	76	△ 71
有利子借入金						
計画(A)	282,361	215,077	37,950	28,146	1,040	148
実績(B)	282,009	215,077	37,554	28,185	1,116	77
差額(B)-(A)	△ 352	0	△ 396	39	76	△ 71
社会資本借入金						
計画(A)	1,905	0	1,871	34	0	0
実績(B)	1,905	0	1,871	34	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
無利子借入金						
計画(A)	1,130	1,130	0	0	0	0
実績(B)	1,130	1,130	0	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
出資金						
計画(A)	55,413	36,931	10,922	7,102	458	0
実績(B)	55,407	36,931	10,922	7,102	452	0
差額(B)-(A)	△ 6	0	0	0	△ 6	0
特定更新等工事に係る債務						
計画(A)	438	15	338	85	-	-
実績(B)	37	15	18	4	-	-
差額(B)-(A)	△ 401	0	△ 320	△ 81	-	-
債務残高(平成28年度期首)						
計画(A)	438	15	338	85	-	-
実績(B)	37	15	18	4	-	-
差額(B)-(A)	△ 401	0	△ 320	△ 81	-	-
有利子借入金						
計画(A)	438	15	338	85	-	-
実績(B)	37	15	18	4	-	-
差額(B)-(A)	△ 401	0	△ 320	△ 81	-	-
会社からの引受け債務						
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務						
計画(A)	17,127	10,224	4,378	2,515	2	7
実績(B)	9,038	4,544	3,803	661	1	30
差額(B)-(A)	△ 8,088	△ 5,681	△ 575	△ 1,854	△ 1	23
有利子借入金						
計画(A)	14,693	9,882	3,069	1,733	2	7
実績(B)	7,544	4,544	2,493	476	1	30
差額(B)-(A)	△ 7,149	△ 5,339	△ 575	△ 1,257	△ 1	23
社会資本借入金						
計画(A)	0	0	0	0	0	0
実績(B)	0	0	0	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
無利子借入金						
計画(A)	2,434	342	1,309	782	0	0
実績(B)	1,494	0	1,309	185	0	0
差額(B)-(A)	△ 939	△ 342	0	△ 597	0	0
特定更新等工事に係る債務						
計画(A)	1,607	1,079	334	194	-	-
実績(B)	258	135	120	3	-	-
差額(B)-(A)	△ 1,349	△ 943	△ 214	△ 192	-	-
有利子借入金						
計画(A)	1,607	1,079	334	194	-	-
実績(B)	258	135	120	3	-	-
差額(B)-(A)	△ 1,349	△ 943	△ 214	△ 192	-	-
特定更新等工事に係る債務						
計画(A)	1,607	1,079	334	194	-	-
実績(B)	258	135	120	3	-	-
差額(B)-(A)	△ 1,349	△ 943	△ 214	△ 192	-	-
その他の債務						
計画(A)	0	0	0	0	-	-
実績(B)	0	0	0	0	-	-
差額(B)-(A)	0	0	0	0	-	-
特定更新等工事に係る債務						
債務返済開始前の引受け債務に係る消費税相当額						
計画(A)	△ 119	△ 80	△ 25	△ 14	-	-
実績(B)	△ 19	△ 10	△ 9	△ 0	-	-
差額(B)-(A)	100	70	16	14	-	-
債務返済開始前の支払利息相当額						
計画(A)	11	6	3	2	-	-
実績(B)	0	0	0	0	-	-
差額(B)-(A)	△ 11	△ 6	△ 3	△ 1	-	-

〔単位：億円(消費税込み)〕

	合計	全国路線網	首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)	一の路線
収入						
計画(A)	20,782	16,883	2,274	1,529	57	39
実績(B)	21,744	17,841	2,401	1,420	29	53
差額(B)-(A)	962	958	127	△ 109	△ 28	14
貸付料						
計画(A)	19,792	16,361	1,912	1,422	57	39
実績(B)	21,132	17,635	2,037	1,377	29	53
差額(B)-(A)	1,340	1,273	126	△ 45	△ 28	14
占用料等 [※]						
計画(A)	153	139	10	4	0	0
実績(B)	157	141	11	4	0	0
差額(B)-(A)	4	2	2	0	0	0
出資金等 [※]						
計画(A)	838	382	352	103	0	0
実績(B)	455	65	352	39	0	0
差額(B)-(A)	△ 382	△ 318	0	△ 65	0	0
支出						
計画(A)	5,172	3,916	714	495	43	4
実績(B)	5,183	3,915	762	486	17	3
差額(B)-(A)	12	△ 1	48	△ 8	△ 25	△ 2
管理費等 [※]						
計画(A)	421	604	△ 154	△ 37	4	2
実績(B)	1,001	1,013	△ 83	67	2	2
差額(B)-(A)	580	409	71	104	△ 2	△ 1
支払利息						
計画(A)	3,913	2,929	516	428	38	2
実績(B)	3,727	2,838	493	380	15	1
差額(B)-(A)	△ 186	△ 92	△ 23	△ 48	△ 23	△ 1
無利子貸付金						
計画(A)	838	382	352	103	0	0
実績(B)	455	65	352	39	0	0
差額(B)-(A)	△ 382	△ 318	0	△ 65	0	0
収支差						
計画(A)	15,610	12,967	1,560	1,034	14	35
実績(B)	16,561	13,926	1,639	934	12	51
差額(B)-(A)	950	958	79	△ 101	△ 3	16
未償還残高(平成29年度期首) ^{注1)}						
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務						
計画(A)	340,347	250,053	52,604	36,083	1,486	121
実績(B)	331,825	243,756	51,553	34,902	1,557	56
差額(B)-(A)	△ 8,523	△ 6,297	△ 1,051	△ 1,181	71	△ 64
債務残高(平成29年度期首)						
計画(A)	284,479	213,122	41,330	28,878	1,028	121
実績(B)	276,027	206,825	40,279	27,762	1,105	56
差額(B)-(A)	△ 8,452	△ 6,297	△ 1,051	△ 1,117	78	△ 64
有利子借入金						
計画(A)	281,922	212,166	39,756	28,853	1,028	121
実績(B)	273,471	205,868	38,705	27,736	1,105	56
差額(B)-(A)	△ 8,452	△ 6,297	△ 1,051	△ 1,117	78	△ 64
社会資本借入金						
計画(A)	1,600	0	1,574	26	0	0
実績(B)	1,600	0	1,574	26	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
無利子借入金						
計画(A)	957	957	0	0	0	0
実績(B)	957	957	0	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
出資金						
計画(A)	55,868	36,931	11,274	7,205	458	0
実績(B)	55,798	36,931	11,274	7,140	452	0
差額(B)-(A)	△ 71	0	0	△ 65	△ 6	0
特定更新等工事に係る債務						
計画(A)	1,937	1,020	651	266	-	-
実績(B)	276	141	129	6	-	-
差額(B)-(A)	△ 1,661	△ 879	△ 522	△ 260	-	-
債務残高(平成29年度期首)						
計画(A)	1,937	1,020	651	266	-	-
実績(B)	276	141	129	6	-	-
差額(B)-(A)	△ 1,661	△ 879	△ 522	△ 260	-	-
有利子借入金						
計画(A)	1,937	1,020	651	266	-	-
実績(B)	276	141	129	6	-	-
差額(B)-(A)	△ 1,661	△ 879	△ 522	△ 260	-	-
未償還残高の総額						
計画(A)	342,284	251,073	53,255	36,349	1,486	121
実績(B)	332,101	243,897	51,682	34,908	1,557	56
差額(B)-(A)	△ 10,183	△ 7,177	△ 1,573	△ 1,441	71	△ 64
債務残高(平成29年度期首)						
計画(A)	286,416	214,142	41,981	29,145	1,028	121
実績(B)	276,303	206,966	40,408	27,768	1,105	56
差額(B)-(A)	△ 10,113	△ 7,177	△ 1,573	△ 1,377	78	△ 64
有利子借入金						
計画(A)	283,859	213,186	40,407	29,119	1,028	121
実績(B)	273,747	206,009	38,834	27,742	1,105	56
差額(B)-(A)	△ 10,113	△ 7,177	△ 1,573	△ 1,377	78	△ 64
社会資本借入金						
計画(A)	1,600	0	1,574	26	0	0
実績(B)	1,600	0	1,574	26	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
無利子借入金						
計画(A)	957	957	0	0	0	0
実績(B)	957	957	0	0	0	0
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0
出資金						
計画(A)	55,868	36,931	11,274	7,205	458	0
実績(B)	55,798	36,931	11,274	7,140	452	0
差額(B)-(A)	△ 71	0	0	△ 65	△ 6	0

注1)平成29年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法施行令(以下「機構法施行令」という)第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法(以下「機構法」という)第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

平成28年度(2016年度) 債務返済計画と実績の対比

[高速道路会社6社]

[単位:億円(消費税込み)]

	合計	全国路線網						首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都市圏)	一の路線
		東日本高速道路株 中日本高速道路株 西日本高速道路株 北九州高速道路株	東日本高速道路株	中日本高速道路株	西日本高速道路株	北九州高速道路株	首都高速道路株	阪神高速道路株	阪神高速道路株	中日本高速道路株 西日本高速道路株	
新たな資産形成に係らない部分	収入(料金収入)										
	計画(A)	26,756	21,975	7,781	6,413	7,159	623	2,757	1,886	77	60
	実績(B)	28,325	23,469	8,460	6,778	7,554	677	2,910	1,823	48	76
	差額(B)-(A)	1,569	1,493	679	366	396	53	153	△ 64	△ 29	15
	支出(計画管理費)										
	計画(A)	6,964	5,614	2,120	1,540	1,773	181	845	464	20	21
	実績(B)	7,099	5,733	2,082	1,626	1,837	188	871	449	19	28
	差額(B)-(A)	135	119	△ 39	86	65	7	25	△ 15	△ 1	7
	貸付料支払い										
	計画(A)	19,792	16,361	5,661	4,872	5,386	443	1,912	1,422	57	39
実績(B)	21,132	17,635	6,262	5,174	5,710	489	2,037	1,377	29	53	
差額(B)-(A)	1,340	1,273	601	302	324	47	126	△ 45	△ 28	14	
新たな資産形成に係る部分	収入										
	計画(A)	22,563	19,588	6,239	7,210	5,934	205	2,103	813	2	57
	実績(B)	15,364	12,692	3,987	4,753	3,876	76	2,142	497	2	31
	差額(B)-(A)	△ 7,199	△ 6,896	△ 2,252	△ 2,457	△ 2,058	△ 129	39	△ 316	△ 1	△ 26
	有利子借入金										
	計画(A)	21,725	19,205	6,215	7,201	5,585	205	1,751	710	2	57
	実績(B)	14,909	12,627	3,980	4,750	3,821	76	1,790	459	2	31
	差額(B)-(A)	△ 6,816	△ 6,578	△ 2,235	△ 2,451	△ 1,763	△ 129	39	△ 251	△ 1	△ 26
	無利子借入金等										
	計画(A)	838	382	24	9	350	0	352	103	0	0
	実績(B)	455	65	7	3	55	0	352	39	0	0
	差額(B)-(A)	△ 382	△ 318	△ 17	△ 6	△ 295	0	0	△ 65	0	0
	支出										
	計画(A)	21,649	18,674	6,118	6,261	6,070	225	2,103	813	2	57
	実績(B)	12,823	10,275	3,371	3,471	3,354	79	2,113	403	2	31
	差額(B)-(A)	△ 8,826	△ 8,399	△ 2,747	△ 2,790	△ 2,716	△ 146	9	△ 410	△ 1	△ 26
	新設・改築費等										
	計画(A)	13,786	12,079	3,937	4,632	3,504	7	1,277	430	0	0
	実績(B)	9,291	7,459	2,349	2,770	2,336	4	1,590	242	0	0
	差額(B)-(A)	△ 4,495	△ 4,620	△ 1,588	△ 1,862	△ 1,167	△ 3	313	△ 189	0	0
	修繕費等										
	計画(A)	3,693	3,088	1,133	704	1,161	90	381	165	2	57
	実績(B)	2,882	2,428	957	606	792	72	287	135	2	31
	差額(B)-(A)	△ 811	△ 660	△ 176	△ 98	△ 369	△ 17	△ 94	△ 30	△ 1	△ 26
	更新費等										
	計画(A)	1,886	1,223	477	307	429	9	446	217	0	0
	実績(B)	554	291	51	91	147	2	236	26	0	0
	差額(B)-(A)	△ 1,332	△ 931	△ 427	△ 216	△ 282	△ 7	△ 210	△ 191	0	0
	災害復旧費										
	計画(A)	2,285	2,285	570	618	976	120	0	0	0	0
実績(B)	97	97	14	3	78	1	0	0	0	0	
差額(B)-(A)	△ 2,188	△ 2,188	△ 556	△ 615	△ 898	△ 119	0	0	0	0	
債務残高(平成28年度期首)											
計画(A)	24,576	18,571	6,183	5,900	6,444	44	4,031	1,923	0	51	
実績(B)	23,801	18,571	6,183	5,900	6,444	44	4,052	1,162	0	16	
差額(B)-(A)	△ 775	0	0	0	0	0	21	△ 761	0	△ 35	
機構への引き渡し債務											
計画(A)	18,734	11,303	2,911	3,410	4,744	239	4,712	2,710	2	7	
実績(B)	9,296	4,679	1,321	1,892	1,394	72	3,923	664	1	30	
差額(B)-(A)	△ 9,438	△ 6,624	△ 1,590	△ 1,518	△ 3,350	△ 167	△ 790	△ 2,046	△ 1	23	
有利子借入金											
計画(A)	16,300	10,961	2,911	3,410	4,402	239	3,403	1,927	2	7	
実績(B)	7,802	4,679	1,321	1,892	1,394	72	2,613	479	1	30	
差額(B)-(A)	△ 8,498	△ 6,282	△ 1,590	△ 1,518	△ 3,008	△ 167	△ 790	△ 1,448	△ 1	23	
特定更新等工事に係る債務											
計画(A)	1,607	1,079	477	145	447	9	334	194	-	-	
実績(B)	258	135	15	42	79	1	120	3	-	-	
差額(B)-(A)	△ 1,349	△ 943	△ 463	△ 104	△ 369	△ 8	△ 214	△ 192	-	-	
その他の債務											
計画(A)	14,693	9,882	2,434	3,264	3,955	230	3,069	1,733	2	7	
実績(B)	7,544	4,544	1,307	1,850	1,316	71	2,493	476	1	30	
差額(B)-(A)	△ 7,149	△ 5,339	△ 1,127	△ 1,414	△ 2,639	△ 159	△ 575	△ 1,257	△ 1	23	
社会資本借入金											
計画(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
実績(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
差額(B)-(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無利子借入金											
計画(A)	2,434	342	0	0	342	0	1,309	782	0	0	
実績(B)	1,494	0	0	0	0	0	1,309	185	0	0	
差額(B)-(A)	△ 939	△ 342	0	0	△ 342	0	0	△ 597	0	0	
債務残高(平成29年度期首)											
計画(A)	28,405	26,856	9,512	9,700	7,635	10	1,422	26	0	101	
実績(B)	29,869	26,584	8,849	8,761	8,926	48	2,272	996	0	17	
差額(B)-(A)	1,465	△ 272	△ 663	△ 939	1,292	38	850	969	0	△ 83	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。
注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 債務返済計画と実績の対比

【全国路線網】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成28年度期首)				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	25,313,794	25,313,794	0	
債務残高(平成28年度期首)	21,620,704	21,620,704	0	
有利子借入金	21,507,673	21,507,673	0	
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	113,031	113,031	0	
出資金	3,693,090	3,693,090	0	
特定更新等工事に係る債務	1,531	1,531	0	
債務残高(平成28年度期首)	1,531	1,531	0	
有利子借入金	1,531	1,531	0	
会社からの引受け債務				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	1,022,429	454,361	△ 568,067	
有利子借入金	988,234	454,361	△ 533,872	・新設・改築事業において、新名神高速道路(城陽JCT・IC～八幡京田辺JCT・IC)の開通時期を見直したこと等による減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成28年度に引き渡すこととしていることによる乖離
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	34,195	0	△ 34,195	
特定更新等工事に係る債務	107,853	13,537	△ 94,316	
有利子借入金	107,853	13,537	△ 94,316	
特定更新等工事に係る債務	107,853	13,537	△ 94,316	・事業実施に向けた詳細調査の結果をもとに補修方法の見直しを行ったこと、工事規制の集約化を図るために交通規制の調整を行ったこと等に伴い工程を見直したことによる減
その他の債務	0	0	0	
特定更新等工事に係る債務				
債務返済開始前の引受け債務に係る消費税相当額	△ 7,990	△ 1,003	6,988	
債務返済開始前の支払利息相当額	629	15	△ 614	
収入				
貸付料	1,636,148	1,763,494	127,346	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増 ・出資金等において、H28熊本地震災害復旧事業の工程を見直したこと等による減
占用料等※	13,925	14,139	214	
出資金等※	38,244	6,450	△ 31,794	
支出				
管理費等※	60,417	101,297	40,880	・管理費等において、貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減 ・無利子貸付金において、H28熊本地震災害復旧事業の工程を見直したこと等による減
支払利息	292,946	283,779	△ 9,167	
無利子貸付金	38,244	6,450	△ 31,794	
収支差				
	1,296,710	1,392,557	95,847	
未償還残高(平成29年度期首)				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	25,005,317	24,375,598	△ 629,719	
債務残高(平成29年度期首)	21,312,227	20,682,508	△ 629,719	
有利子借入金	21,216,557	20,586,838	△ 629,719	・引受け債務の減、貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	95,670	95,670	0	
出資金	3,693,090	3,693,090	0	
特定更新等工事に係る債務	102,022	14,079	△ 87,943	
債務残高(平成29年度期首)	102,022	14,079	△ 87,943	
有利子借入金	102,022	14,079	△ 87,943	・引受け債務の減等
未償還残高の総額				
債務残高(平成29年度期首)	21,414,249	20,696,587	△ 717,662	
有利子借入金	21,318,579	20,600,917	△ 717,662	
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	95,670	95,670	0	
出資金	3,693,090	3,693,090	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【全国路線網】

(高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線等)[東日本高速道路株]

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 規た らな な資 産 形 成 分 成	収入(料金収入)	778,089	845,979	67,890	
	支出(計画管理費)	212,015	208,150	△ 3,865	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	貸付料支払い	566,074	626,183	60,109	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	623,922	398,691	△ 225,231	
	有利子借入金	621,528	398,020	△ 223,508	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	無利子借入金等	2,394	671	△ 1,723	
	支出	611,773	337,069	△ 274,704	
	新設・改築費等	393,680	234,856	△ 158,824	・関係機関との協議調整等による新設・改築費等の減 ・工程を見直したこと等による修繕費等及び更新費等の減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成28年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	修繕費等	113,322	95,682	△ 17,640	
	更新費等	47,745	5,095	△ 42,650	
	災害復旧費	57,026	1,435	△ 55,591	
	債務残高(平成28年度期首)	618,320	618,320	0	
	機構への引き渡し債務	291,077	132,112	△ 158,965	
	有利子借入金	291,077	132,112	△ 158,965	
	特定更新等工事に係る債務	47,716	1,450	△ 46,266	・特定更新等工事及び修繕事業において、東北自動車道の橋梁修繕工事等の工程を見直したこと等による減
	その他の債務	243,361	130,662	△ 112,699	
	社会資本借入金	0	0	0	・新設・改築事業において、本線供用開始後の残事業を翌年度に繰り越したこと等による減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成28年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	無利子借入金	0	0	0	
債務残高(平成29年度期首)	951,165	884,899	△ 66,265		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

(高速自動車国道中央自動車道富士吉田線等)[中日本高速道路株]

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 規た らな な資 産 形 成 分 成	収入(料金収入)	641,255	677,818	36,563	
	支出(計画管理費)	154,039	162,613	8,574	・点検結果等に基づく補修の増等による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	貸付料支払い	487,216	517,367	30,151	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	720,972	475,322	△ 245,650	
	有利子借入金	720,084	475,012	△ 245,072	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	無利子借入金等	888	310	△ 578	
	支出	626,143	347,114	△ 279,029	
	新設・改築費等	463,166	277,013	△ 186,153	・関係機関との協議調整等による新設・改築費等の減 ・工程を見直したこと等による修繕費等及び更新費等の減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成28年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	修繕費等	70,398	60,618	△ 9,780	
	更新費等	30,733	9,138	△ 21,595	
	災害復旧費	61,846	345	△ 61,501	
	債務残高(平成28年度期首)	589,991	589,991	0	
	機構への引き渡し債務	340,965	189,196	△ 151,769	
	有利子借入金	340,965	189,196	△ 151,769	
	特定更新等工事に係る債務	14,537	4,172	△ 10,365	・特定更新等工事及び修繕事業において、中央自動車道の床版取替工事等の工程を見直したこと等による減
	その他の債務	326,428	185,024	△ 141,404	
	社会資本借入金	0	0	0	・新設・改築事業において、本線供用開始後の残工事を翌年度に繰り越したこと等による減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成28年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	無利子借入金	0	0	0	
債務残高(平成29年度期首)	969,998	876,117	△ 93,881		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

(高速自動車国道中央自動車道西宮線等)(西日本高速道路株)

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 た ら な 資 産 形 成	収入(料金収入)	715,852	755,413	39,561	
	支出(計画管理費)	177,258	183,740	6,482	・点検結果等に基づく補修の増等による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	貸付料支払い	538,594	570,996	32,402	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	593,423	387,616	△ 205,807	
	有利子借入金	558,461	382,146	△ 176,315	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	無利子借入金等	34,962	5,470	△ 29,492	
	支出	607,020	335,429	△ 271,591	
	新設・改築費等	350,354	233,624	△ 116,730	・関係機関との協議調整等による新設・改築費等の減 ・工程を見直したこと等による修繕費等及び更新費等の減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成28年度に引き渡すこととしていること等による乖離
	修繕費等	116,116	79,236	△ 36,880	
	更新費等	42,925	14,747	△ 28,178	
	災害復旧費	97,625	7,821	△ 89,804	
	債務残高(平成28年度期首)	644,409	644,409	0	
	機構への引き渡し債務	474,376	139,415	△ 334,961	
	有利子借入金	440,181	139,415	△ 300,766	・特定更新等工事及び修繕事業において、中国自動車道の床版取替工事等の工程を見直したこと等による減 ・新設・改築事業において、新名神高速道路(城陽JCT・IC～八幡京田辺JCT・IC)の開通時期を見直したこと等による減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成28年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	特定更新等工事に係る債務	44,721	7,861	△ 36,860	
	その他の債務	395,460	131,553	△ 263,907	
	社会資本借入金	0	0	0	・無利子借入金において、H28熊本地震災害復旧事業の工程を見直したこと等による減
	無利子借入金	34,195	0	△ 34,195	
債務残高(平成29年度期首)	763,456	892,611	129,155		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

(一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))等)(本州四国連絡高速道路株)

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 た ら な 資 産 形 成	収入(料金収入)	62,345	67,652	5,307	
	支出(計画管理費)	18,081	18,781	700	・点検結果等に基づく補修の増による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	貸付料支払い	44,264	48,948	4,684	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	20,461	7,568	△ 12,893	
	有利子借入金	20,461	7,568	△ 12,893	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	22,462	7,859	△ 14,603	
	新設・改築費等	669	404	△ 265	・工程を見直したこと等による修繕費等及び更新費等の減修繕費等及び更新費等の減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成28年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	修繕費等	8,956	7,229	△ 1,727	
	更新費等	860	161	△ 699	
	災害復旧費	11,977	64	△ 11,913	
	債務残高(平成28年度期首)	4,375	4,375	0	
	機構への引き渡し債務	23,864	7,176	△ 16,688	
	有利子借入金	23,864	7,176	△ 16,688	・特定更新等工事及び修繕事業において、神戸淡路鳴門自動車道の橋梁修繕工事等の工程を見直したこと等による減 ・災害復旧費において、計画上、全額を平成28年度に引き渡すこととしていることによる乖離
	特定更新等工事に係る債務	879	53	△ 826	
	その他の債務	22,985	7,122	△ 15,863	
	社会資本借入金	0	0	0	
	無利子借入金	0	0	0	
債務残高(平成29年度期首)	972	4,766	3,794		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【全国路線網】

〔東日本高速道路株、中日本高速道路株、西日本高速道路株、本州四国連絡高速道路株〕

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)
に新 係た らな な資 産 形 成 部 分	収入(料金収入)	2,197,541	2,346,862	149,321
	支出(計画管理費)	561,393	573,283	11,890
	貸付料支払い	1,636,148	1,763,494	127,346
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	1,958,778	1,269,196	△ 689,582
	有利子借入金	1,920,534	1,262,746	△ 657,788
	無利子借入金等	38,244	6,450	△ 31,794
	支出	1,867,398	1,027,471	△ 839,927
	新設・改築費等	1,207,869	745,897	△ 461,972
	修繕費等	308,792	242,766	△ 66,026
	更新費等	122,263	29,141	△ 93,122
	災害復旧費	228,474	9,666	△ 218,808
	債務残高(平成28年度期首)	1,857,095	1,857,095	0
	機構への引き渡し債務	1,130,282	467,898	△ 662,384
	有利子借入金	1,096,087	467,898	△ 628,189
	特定更新等工事に係る債務	107,853	13,537	△ 94,316
	その他の債務	988,234	454,361	△ 533,873
	社会資本借入金	0	0	0
	無利子借入金	34,195	0	△ 34,195
債務残高(平成29年度期首)	2,685,591	2,658,393	△ 27,197	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 債務返済計画と実績の対比

【首都高速道路に係る地域路線網】

【高速道路機構】

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成28年度期首)				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	5,074,312	5,034,676	△ 39,637	
債務残高(平成28年度期首)	3,982,082	3,942,446	△ 39,637	
有利子借入金	3,795,015	3,755,378	△ 39,637	
社会資本借入金	187,067	187,067	0	・前年度までの引受け債務の減等
出資金	1,092,230	1,092,230	0	
特定更新等工事に係る債務	33,790	1,782	△ 32,008	
債務残高(平成28年度期首)	33,790	1,782	△ 32,008	
有利子借入金	33,790	1,782	△ 32,008	・前年度までの引受け債務の減等
会社からの引受け債務				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	437,808	380,279	△ 57,529	
有利子借入金	306,865	249,336	△ 57,529	
社会資本借入金	0	0	0	・新設・改築事業において、本線供用開始後の残事業を翌年度に繰り越したこと等による減
無利子借入金	130,943	130,943	0	
特定更新等工事に係る債務	33,432	12,001	△ 21,431	
有利子借入金	33,432	12,001	△ 21,431	
特定更新等工事に係る債務	33,432	12,001	△ 21,431	・事業実施に向けた詳細調査の結果をもとに補修方法の見直しを行ったこと等に伴い工程を見直したことによる減
その他の債務	0	0	0	
特定更新等工事に係る債務				
債務返済開始前の引受け債務に係る消費税相当額	△ 2,476	△ 889	1,587	
債務返済開始前の支払利息相当額	319	19	△ 300	
収入				
貸付料	191,190	203,748	12,558	
占用料等 [※]	970	1,135	165	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
出資金等 [※]	35,218	35,218	0	
支出				
管理費等 [※]	△ 15,361	△ 8,283	7,078	
支払利息	51,561	49,272	△ 2,289	・管理費等において、貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増
無利子貸付金	35,218	35,218	0	・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
収支差				
	155,960	163,894	7,934	
未償還残高(平成29年度期首)^{注2)}				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	5,260,435	5,155,335	△ 105,100	
債務残高(平成29年度期首)	4,132,987	4,027,887	△ 105,100	
有利子借入金	3,975,604	3,870,504	△ 105,100	
社会資本借入金	157,383	157,383	0	・引受け債務の減、貸付料の増等
出資金	1,127,448	1,127,448	0	
特定更新等工事に係る債務	65,065	12,912	△ 52,153	
債務残高(平成29年度期首)	65,065	12,912	△ 52,153	
有利子借入金	65,065	12,912	△ 52,153	・引受け債務の減等
未償還残高の総額				
債務残高(平成29年度期首)	4,198,052	4,040,799	△ 157,253	
有利子借入金	4,040,669	3,883,416	△ 157,253	
社会資本借入金	157,383	157,383	0	
出資金	1,127,448	1,127,448	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成29年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【首都高速道路に係る地域路線網】
 【首都高速道路株】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 たな 資 産 形 成	収入(料金収入)	275,706	291,021	15,315	
	支出(計画管理費)	84,516	87,065	2,549	・点検結果等に基づく補修の増等による支出の増
	貸付料支払い	191,190	203,748	12,558	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	210,324	214,226	3,902	
	有利子借入金	175,106	179,008	3,902	・資産形成に係る支出増加に伴う有利子借入額の増
	無利子借入金等	35,218	35,218	0	
	支出	210,324	211,262	938	
	新設・改築費等	127,666	159,002	31,336	・新設・改築事業において、工程を見直した工事を実施したこと等による増 ・工程を見直したこと等による修繕費等及び更新費等の減
	修繕費等	38,088	28,665	△ 9,423	
	更新費等	44,570	23,595	△ 20,975	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務残高(平成28年度期首)	403,100	405,212	2,112	
	機構への引き渡し債務	471,240	392,280	△ 78,960	
	有利子借入金	340,297	261,337	△ 78,960	
	特定更新等工事に係る債務	33,432	12,001	△ 21,431	・特定更新等工事及び修繕事業において、首都高速3号渋谷線の橋梁修繕工事等の工程を見直したこと等による減
	その他の債務	306,865	249,336	△ 57,529	
	社会資本借入金	0	0	0	・新設・改築事業において、本線供用開始後の残事業を翌年度に繰り越したこと等による減
無利子借入金	130,943	130,943	0		
債務残高(平成29年度期首)	142,184	227,158	84,974		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 債務返済計画と実績の対比

【阪神高速道路(阪神圏)に係る地域路線網】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成28年度期首)				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	3,528,166	3,532,086	3,920	
債務残高(平成28年度期首)	2,818,015	2,821,935	3,920	
有利子借入金	2,814,625	2,818,546	3,920	
社会資本借入金	3,389	3,389	0	・前年度までの占用料等の減等による債務残高の増
出資金	710,151	710,151	0	
特定更新等工事に係る債務	8,454	383	△ 8,071	
債務残高(平成28年度期首)	8,454	383	△ 8,071	
有利子借入金	8,454	383	△ 8,071	・前年度までの引受け債務の減等
会社からの引受け債務				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	251,509	66,113	△ 185,396	
有利子借入金	173,275	47,614	△ 125,661	・新設・改築事業において、大和川線(鉄砲～三宅西)の開通時期を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0	・修繕事業において、工程を見直したこと等による減
無利子借入金	78,234	18,499	△ 59,735	
特定更新等工事に係る債務	19,442	255	△ 19,187	
有利子借入金	19,442	255	△ 19,187	
特定更新等工事に係る債務	19,442	255	△ 19,187	・事業実施に向けた詳細調査の結果をもとに補修方法の見直しを行ったこと、工事規制の集約化を図るために交通規制の調整を行ったこと等に伴い工程を見直したことによる減
その他の債務	0	0	0	
特定更新等工事に係る債務				
債務返済開始前の引受け債務に係る消費税相当額	△ 1,440	△ 19	1,421	
債務返済開始前の支払利息相当額	152	5	△ 147	
収入				
貸付料	142,222	137,736	△ 4,486	・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減
占用料等 [※]	356	384	28	・工程を見直したこと等による出資金等の減
出資金等 [※]	10,326	3,876	△ 6,450	
支出				
管理費等 [※]	△ 3,656	6,698	10,354	・管理費等において、引受け債務の減に伴う納付消費税の増
支払利息	42,792	38,038	△ 4,754	・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
無利子貸付金	10,326	3,876	△ 6,450	
収支差	103,442	93,383	△ 10,059	
未償還残高(平成29年度期首)^{注2)}				
特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務	3,608,325	3,490,193	△ 118,132	
債務残高(平成29年度期首)	2,887,848	2,776,166	△ 111,682	
有利子借入金	2,885,259	2,773,577	△ 111,682	
社会資本借入金	2,589	2,589	0	・引受け債務の減等
出資金	720,477	714,027	△ 6,450	
特定更新等工事に係る債務	26,607	624	△ 25,983	
債務残高(平成29年度期首)	26,607	624	△ 25,983	
有利子借入金	26,607	624	△ 25,983	・引受け債務の減等
未償還残高の総額				
債務残高(平成29年度期首)	2,914,455	2,776,790	△ 137,665	
有利子借入金	2,911,866	2,774,201	△ 137,665	
社会資本借入金	2,589	2,589	0	
出資金	720,477	714,027	△ 6,450	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成29年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【阪神高速道路(阪神圏)に係る地域路線網】
 【阪神高速道路株】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 規た らな な資 産形 成	収入(料金収入)	188,628	182,255	△ 6,373	
	支出(計画管理費)	46,407	44,898	△ 1,509	・クレジットカード手数料の減等による支出の減 ・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減
	貸付料支払い	142,222	137,736	△ 4,486	
新 たな 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	81,292	49,727	△ 31,565	
	有利子借入金	70,966	45,851	△ 25,115	・資産形成に係る支出減少に伴う借入額の減
	無利子借入金等	10,326	3,876	△ 6,450	
	支出	81,292	40,316	△ 40,976	
	新設・改築費等	43,049	24,173	△ 18,876	・大和川線の工程を見直したこと等による新設・改築費等の減 ・工程を見直したこと等による修繕費等及び更新費等の減
	修繕費等	16,513	13,499	△ 3,014	
	更新費等	21,730	2,644	△ 19,086	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務残高(平成28年度期首)	192,289	116,217	△ 76,072	
	機構への引き渡し債務	270,951	66,368	△ 204,582	
	有利子借入金	192,717	47,869	△ 144,847	
	特定更新等工事に係る債務	19,442	255	△ 19,187	・特定更新等工事及び修繕事業において、阪神高速11号池田線の橋梁修繕 工事等の工程を見直したこと等による減
	その他の債務	173,275	47,614	△ 125,661	
	社会資本借入金	0	0	0	・新設・改築事業において、大和川線(鉄砲～三宅西)の開通時期を見直した こと等による減
	無利子借入金	78,234	18,499	△ 59,735	
債務残高(平成29年度期首)	2,630	99,576	96,945		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 債務返済計画と実績の対比

【阪神高速道路(京都圏)に係る地域路線網】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成28年度期首)	149,787	156,776	6,989	
債務残高(平成28年度期首)	103,960	111,581	7,621	
有利子借入金	103,960	111,581	7,621	・前年度までの貸付料の減等による債務残高の増 ・コスト削減に伴う事業の見直しによる出資金の減
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	45,827	45,195	△ 632	
会社からの引受け債務	223	108	△ 115	
有利子借入金	223	108	△ 115	
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	5,685	2,885	△ 2,800	
貸付料	5,685	2,884	△ 2,801	・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減
占用料等 [※]	0	1	1	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	4,259	1,729	△ 2,530	
管理費等 [※]	412	207	△ 205	・管理費において、貸付料の減に伴う納付消費税の減 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	3,847	1,522	△ 2,325	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	1,427	1,155	△ 272	
未償還残高(平成29年度期首) ^{注2)}	148,583	155,728	7,146	
債務残高(平成29年度期首)	102,756	110,533	7,778	
有利子借入金	102,756	110,533	7,778	・貸付料の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	45,827	45,195	△ 632	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 平成29年度期首未償還残高には出資金及び社会資本借入金の期中変動分を考慮している。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【阪神高速道路(京都圏)に係る地域路線網】
 【阪神高速道路株】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 保た らな い資 産形 成分 隊	収入(料金収入)	7,650	4,773	△ 2,877	・クレジットカード手数料の減等による支出の減 ・料金収入が減算基準額を下回ったことによる貸付料の減
	支出(計画管理費)	1,965	1,855	△ 110	
	貸付料支払い	5,685	2,884	△ 2,801	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	223	151	△ 72	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	有利子借入金	223	151	△ 72	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	223	151	△ 73	・工程を見直したこと等による修繕費等の減
	新設・改築費等	0	0	0	
	修繕費等	223	151	△ 73	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務残高(平成28年度期首)	0	4	4	
	機構への引き渡し債務	223	108	△ 115	・修繕事業において、工程を見直したこと等による減
	有利子借入金	223	108	△ 115	
	社会資本借入金	0	0	0	
	無利子借入金	0	0	0	
	債務残高(平成29年度期首)	0	47	47	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成28年度期首)	1,886	951	△ 934	
債務残高(平成28年度期首)	1,886	951	△ 934	
有利子借入金	1,886	951	△ 934	・前年度までの引受け債務の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	143	250	107	
有利子借入金	143	250	107	・修繕事業において、点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による増
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	288	409	121	
貸付料	288	409	121	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等 [※]	0	0	0	
出資金等 [※]	0	0	0	
支出	38	22	△ 16	
管理費等 [※]	11	12	1	・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	27	10	△ 17	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	251	386	135	
未償還残高(平成29年度期首)	1,778	815	△ 963	
債務残高(平成29年度期首)	1,778	815	△ 963	
有利子借入金	1,778	815	△ 963	・貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))】
 【中日本高速道路株】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に新 保た らな な資 産形 成	収入(料金収入)	608	753	145	
	支出(計画管理費)	320	514	194	・点検結果等に基づく補修の増による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	貸付料支払い	288	409	121	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	143	247	104	
	有利子借入金	143	247	104	・資産形成に係る支出増加に伴う有利子借入額の増
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	143	247	104	
	新設・改築費等	0	0	0	・点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による修繕費等の増
	修繕費等	143	247	104	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務残高(平成28年度期首)	0	21	21	
	機構への引き渡し債務	143	250	107	
	有利子借入金	143	250	107	・修繕事業において、点検結果等により補修実施時期を見直したこと等による増
社会資本借入金	0	0	0		
無利子借入金	0	0	0		
債務残高(平成29年度期首)	0	19	19		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道31号(広島県道路)】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成28年度期首)	11,516	7,415	△ 4,101	
債務残高(平成28年度期首)	11,516	7,415	△ 4,101	
有利子借入金	11,516	7,415	△ 4,101	・前年度までの引受け債務の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	451	2,629	2,178	
有利子借入金	451	2,629	2,178	・修繕事業において、工程を見直したこと等による増
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	2,549	3,258	709	
貸付料	2,544	3,256	712	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等※	5	2	△ 3	
出資金等※	0	0	0	
支出	317	130	△ 187	
管理費等※	159	50	△ 109	・管理費等において、引受け債務の増に伴う納付消費税の減 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	158	80	△ 78	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	2,232	3,129	897	
未償還残高(平成29年度期首)	9,735	6,916	△ 2,819	
債務残高(平成29年度期首)	9,735	6,916	△ 2,819	
有利子借入金	9,735	6,916	△ 2,819	・貸付料の増等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道31号(広島呉道路)】
 【西日本高速道路株】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 係 ら な な 資 産 形 成 分 減	収入(料金収入)	3,688	4,474	786	・点検結果等に基づく補修の増等による支出の増 ・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	1,144	1,686	542	
	貸付料支払い	2,544	3,256	712	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	451	1,335	884	・資産形成に係る支出増加に伴う有利子借入額の増
	有利子借入金	451	1,335	884	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	451	1,335	884	・工程を見直したこと等による修繕費等の増
	新設・改築費等	0	0	0	
	修繕費等	451	1,335	884	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務残高(平成28年度期首)	0	1,394	1,394	
	機構への引き渡し債務	451	2,629	2,178	
	有利子借入金	451	2,629	2,178	・修繕事業において、工程を見直したこと等による増
	社会資本借入金	0	0	0	
	無利子借入金	0	0	0	
債務残高(平成29年度期首)	0	99	99		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 債務返済計画と実績の対比

【一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)】

〔高速道路機構〕

[単位:百万円(消費税込み)]

	計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
未償還残高(平成28年度期首)	1,435	192	△ 1,244	
債務残高(平成28年度期首)	1,435	192	△ 1,244	
有利子借入金	1,435	192	△ 1,244	・前年度までの引受け債務の減等
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
会社からの引受け債務	119	93	△ 26	
有利子借入金	119	93	△ 26	・修繕事業において、工程を見直したこと等による減
社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0	
収入	1,091	1,674	583	
貸付料	1,091	1,674	583	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
占用料等※	0	0	0	
出資金等※	0	0	0	
支出	78	118	40	
管理費等※	73	118	45	・管理費等において、貸付料の増及び引受け債務の減に伴う納付消費税の増 ・計画より低金利の資金調達等による支払利息の減
支払利息	5	0	△ 5	
無利子貸付金	0	0	0	
収支差	1,013	1,556	543	
未償還残高(平成29年度期首)	542	△ 1,271	△ 1,814	
債務残高(平成29年度期首)	542	△ 1,271	△ 1,814	
有利子借入金	542	△ 1,271	△ 1,814	・引受け債務の減、貸付料の増等 ・現在、交通安全対策を実施中であり、今後、会社から債務引受け(約140億円)を予定
社会資本借入金	0	0	0	
出資金	0	0	0	

注1)本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

※「占用料等」は機構法施行令第3条に定める占用料、連結料など、「出資金等」は国等からの出資金及び機構法第25条に定める災害復旧に要する補助金など、「管理費等」は機構管理費及び消費税である。

【一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)
〔西日本高速道路株〕】

[単位:百万円(消費税込み)]

		計画(A)	実績(B)	差額 (B)-(A)	差異の理由
に 新 係 ら な な 資 産 形 成 分 成	収入(料金収入)	1,749	2,367	618	・料金収入が加算基準額を上回ったことによる貸付料の増
	支出(計画管理費)	658	597	△ 61	
	貸付料支払い	1,091	1,674	583	
新 た な 資 産 形 成 に 係 る 部 分	収入	5,071	1,519	△ 3,552	・資産形成に係る支出減少に伴う有利子借入額の減
	有利子借入金	5,071	1,519	△ 3,552	
	無利子借入金等	0	0	0	
	支出	5,071	1,519	△ 3,552	・工程を見直したこと等による修繕費等の減
	新設・改築費等	0	0	0	
	修繕費等	5,071	1,519	△ 3,552	
	災害復旧費	0	0	0	
	債務残高(平成28年度期首)	5,110	201	△ 4,908	
	機構への引き渡し債務	119	93	△ 26	・修繕事業において、工程を見直したこと等による減
	有利子借入金	119	93	△ 26	
	社会資本借入金	0	0	0	
無利子借入金	0	0	0		
債務残高(平成29年度期首)	10,062	1,627	△ 8,434		

注1) 本文に記載のあるとおり、決算の金額とは一致しない。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

全国路線網に属する高速道路における東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)及び本州四国連絡高速道路(株)から徴収する貸付料を充てて返済を行う債務の額を高速道路会社ごとに試算した平成29年度(2017年度)期首の債務残高の計画と実績の対比

[単位:兆円]

	計画	実績	差額	差異の理由
東日本高速道路(株)	7.8	7.6	0.2	債務引受額の減 貸付料の増 等
中日本高速道路(株)	5.8	5.6	0.2	債務引受額の減 貸付料の増 等
西日本高速道路(株)	7.0	6.7	0.3	債務引受額の減 貸付料の増 等
本州四国連絡 高速道路(株)	0.8	0.8	0.0	債務引受額の減 貸付料の増 等
合計	21.4	20.7	0.7	債務引受額の減 貸付料の増 等

注)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

高速道路会社も含めた高速道路事業全体の債務残高及び債務返済状況

債務残高及び債務返済状況^{注1)}

[単位:兆円]

		計 画 (A)	実 績 (B)	差 額 (B) - (A)		
会 社	H28期首	2.3	2.2	△ 0.1		
	新たな資産形成	2.2	1.5	△ 0.7		
	引き渡し債務	特定更新等工事に係る債務	0.2	0.0	△ 0.1	
		その他の債務	1.5	0.8	△ 0.7	
	債務残高 ^{注2)}	2.8	2.9	0.1		
機 構	を特定 く更新 その他 の工事 に係る 債務	H28期首	28.5	28.5	△ 0.0	
		引受け債務	1.5	0.8	△ 0.7	
		債務返済	基礎収支 (貸付料-支払利息)	1.6	1.7	0.2
			その他収支	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.1
			債務返済 計	1.6	1.7	0.1
	債務残高	28.4	27.6	△ 0.8		
	特定 更新 等工 事に 係	H28期首	0.0	0.0	△ 0.0	
		引受け債務	0.2	0.0	△ 0.1	
		債務返済開始前の引受け債務に係る 消費税相当額	△ 0.0	△ 0.0	0.0	
		債務返済開始前の支払利息相当額	0.0	0.0	△ 0.0	
		債務残高	0.2	0.0	△ 0.2	
	機構 計	債務残高	28.6	27.6	△ 1.0	
	合 計	債務残高	31.4	30.5	△ 0.9	

出資金

H28期首	5.5	5.5	△ 0.0
H28増加分	0.0	0.0	△ 0.0
出資金累計額	5.6	5.6	△ 0.0

未償還残高

債務残高(会社+機構)+出資金	37.0	36.1	△ 0.9
-----------------	------	------	-------

注1) 債務返済計画ベースの数値である。

注2) 機構が出資金を財源として会社に貸し付けた無利子借入金分は機構の出資金と重複するため除いている。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度)高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・損益計算書)

[単位:億円]

	全国路線網	地域路線網			一の路線	損益計算書 計上額
		首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)		
経常費用						
道路資産貸付業務費	7,611.0	1,482.1	822.2	26.6	15.7	9,957.7
貸付原価	7,611.0	1,482.1	822.2	26.6	15.7	9,957.7
貸付道路資産減価償却費	7,214.6	1,351.5	791.3	25.8	15.2	9,398.7
固定資産除却損	356.9	125.6	29.1	0.7	0.4	512.9
その他	39.4	4.8	1.7	-	0.0	46.0
経営努力助成業務費	4.4	-	-	-	-	4.4
経営努力助成金	4.4	-	-	-	-	4.4
一般管理費	11.9	0.5	0.6	0.0	0.0	13.2
人件費	7.7	0.8	0.6	0.0	0.0	9.3
経費	4.2	△ 0.3	0.0	0.0	0.0	3.9
財務費用	2,836.1	493.9	379.2	15.1	0.8	3,725.3
支払利息	2,811.6	481.3	368.1	14.7	0.8	3,676.7
債券利息	2,705.6	454.1	349.5	13.9	0.7	3,524.0
債券発行差額償却費	59.6	11.4	8.3	0.3	0.0	79.8
支払利息	46.4	15.7	10.2	0.4	0.0	72.8
債券発行費	22.0	11.4	10.2	0.4	0.0	44.1
その他の財務費用	2.3	1.0	0.9	0.0	0.0	4.3
債券償還手数料	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
その他	2.1	0.9	0.8	0.0	0.0	4.0
道路資産取得関連費用	224.6	142.9	33.6	0.0	1.6	402.8
道路建設人件費償却費	89.7	69.5	15.4	0.0	0.9	175.6
道路建設経費償却費	94.4	45.1	10.6	0.0	0.7	151.0
道路建設金利償却費	40.3	28.2	7.5	0.0	0.0	76.1
雑損	9.8	△ 0.1	0.0	0.0	0.0	9.6
経常費用 合計	10,698.1	2,119.3	1,235.8	41.8	18.2	14,113.3
経常収益						
道路資産貸付料収入	16,328.6	1,886.5	1,275.3	26.7	49.4	19,566.6
占用料収入	8.4	9.9	3.8	0.0	0.0	22.2
連結料収入	23.4	0.0	0.0	-	-	23.5
その他収入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
補助金等収益	105.0	-	-	-	-	105.0
寄附金収益	1.9	0.0	-	-	-	2.0
資産見返負債戻入	68.6	3.6	1.1	-	0.0	73.4
資産見返補助金等戻入	38.9	0.2	-	-	-	39.1
資産見返寄附金戻入	29.6	3.4	1.1	-	0.0	34.2
財務収益	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受取利息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
雑益	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
経常収益 合計	16,536.3	1,900.3	1,280.2	26.7	49.5	19,793.1
経常利益又は経常損失(△)	5,838.1	△ 219.0	44.4	△ 15.0	31.2	5,679.8
臨時損失	3.2	0.5	13.0	0.4	0.0	17.3
高速道路利便増進事業引当金繰入	-	-	13.0	0.4	-	13.5
固定資産除却損	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
固定資産売却損	3.2	0.5	-	-	-	3.8
臨時利益	0.6	140.7	124.6	7.1	-	273.2
高速道路利便増進事業引当金戻入	-	140.7	124.6	7.1	-	272.6
固定資産売却益	0.6	-	-	-	-	0.6
当期純利益又は当期純損失(△)	5,835.5	△ 78.8	156.0	△ 8.3	31.2	5,935.7
当期総利益又は当期総損失(△)	5,835.5	△ 78.8	156.0	△ 8.3	31.2	5,935.7

注) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度)高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・損益計算書)(一の路線)

[単位:億円]

	一の路線		
	一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠道路))	一般国道31号 (広島県道路)	一般国道165号 及び一般国道166号 (南阪奈道路)
経常費用			
道路資産貸付業務費	0.6	10.4	4.5
貸付原価	0.6	10.4	4.5
貸付道路資産減価償却費	0.5	10.1	4.5
固定資産除却損	0.1	0.2	0.0
その他	0.0	0.0	0.0
経営努力助成業務費	-	-	-
経営努力助成金	-	-	-
一般管理費	0.0	0.0	0.0
人件費	0.0	0.0	0.0
経費	0.0	0.0	0.0
財務費用	0.0	0.7	-
支払利息	0.0	0.7	-
債券利息	0.0	0.7	-
債券発行差額償却費	0.0	0.0	-
支払利息	0.0	0.0	-
債券発行費	0.0	0.0	-
その他の財務費用	0.0	0.0	-
債券償還手数料	0.0	0.0	-
その他	0.0	0.0	-
道路資産取得関連費用	0.1	1.3	0.0
道路建設人件費償却費	0.0	0.7	0.0
道路建設経費償却費	0.0	0.6	0.0
道路建設金利償却費	0.0	0.0	0.0
雑損	0.0	0.0	0.0
経常費用 合計	0.9	12.6	4.7
経常収益			
道路資産貸付料収入	3.7	30.1	15.5
占用料収入	0.0	0.0	0.0
連結料収入	-	-	-
その他収入	0.0	0.0	0.0
補助金等収益	-	-	-
寄附金収益	-	-	-
資産見返負債戻入	0.0	0.0	0.0
資産見返補助金等戻入	-	-	-
資産見返寄附金戻入	0.0	0.0	0.0
財務収益	0.0	0.0	0.0
受取利息	0.0	0.0	0.0
雑益	0.0	0.0	0.0
経常収益 合計	3.7	30.2	15.5
経常利益又は経常損失(△)	2.8	17.6	10.8
臨時損失			
高速道路利便増進事業引当金繰入	0.0	0.0	0.0
固定資産除却損	0.0	0.0	0.0
固定資産売却損	-	-	-
臨時利益			
高速道路利便増進事業引当金戻入	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-
当期純利益又は当期純損失(△)	2.8	17.6	10.8
当期総利益又は当期総損失(△)	2.8	17.6	10.8

注) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度)高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・貸借対照表)

[単位:億円]

	全国路線網	地域路線網			一の路線	貸借対照表計上額
		首都高速道路	阪神高速道路(阪神圏)	阪神高速道路(京都圏)		
資産の部						
I 流動資産						
現金預金	1,177.0	135.9	91.9	1.9	3.5	1,410.4
道路資産貸付料等未収入金	2,655.9	284.9	118.5	4.7	17.4	3,081.5
未収入金	15.1	2.4	0.4	0.0	0.0	18.0
短期貸付金	58.1	148.3	-	-	-	206.4
貯蔵品	31.2	0.0	0.0	0.1	0.0	31.3
前払金	73.2	0.0	0.0	0.0	0.0	73.3
前払費用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
流動資産 合計	4,010.8	571.7	210.9	6.7	21.0	4,821.2
II 固定資産						
1 有形固定資産						
建物	3,737.6	856.4	221.5	31.6	9.7	4,857.0
減価償却累計額	△ 1,261.1	△ 211.2	△ 68.5	△ 7.9	△ 4.0	△ 1,552.9
構築物	295,545.5	55,739.6	30,169.2	1,230.9	581.1	383,266.6
減価償却累計額	△ 71,044.1	△ 13,051.4	△ 8,319.3	△ 197.9	△ 178.6	△ 92,791.5
機械装置	11,559.7	2,546.2	943.8	45.2	45.0	15,140.1
減価償却累計額	△ 5,926.2	△ 1,206.8	△ 455.8	△ 26.8	△ 32.6	△ 7,648.4
工具器具備品	43.4	0.0	0.0	0.0	0.0	43.6
減価償却累計額	△ 28.2	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 28.2
土地	72,370.6	11,068.5	6,974.4	133.5	257.8	90,804.9
建設仮勘定	2,600.9	3.0	507.4	-	-	3,111.4
有形固定資産 合計	307,598.2	55,744.4	29,972.7	1,208.6	678.5	395,202.6
2 無形固定資産						
借地権	62.6	2,283.5	296.5	28.2	0.0	2,671.0
ソフトウェア	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
その他	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2
無形固定資産 合計	78.1	2,283.5	296.5	28.2	0.0	2,686.6
3 投資その他の資産						
長期貸付金	21.8	231.3	532.8	-	-	786.0
敷金保証金	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
投資その他の資産 合計	21.9	231.3	532.8	0.0	0.0	786.1
固定資産 合計	307,698.3	58,259.4	30,802.1	1,236.8	678.6	398,675.4
資産 合計	311,709.1	58,831.1	31,013.0	1,243.6	699.6	403,496.7
負債の部						
I 流動負債						
預り寄附金	73.0	-	-	-	-	73.0
預り補助金等	54.8	-	-	-	-	54.8
1年以内償還予定機構債	24,165.7	4,369.5	3,476.2	138.5	8.9	32,159.0
債券発行差額	△ 4.5	△ 0.9	△ 0.7	0.0	0.0	△ 6.3
1年以内返済予定長期借入金	799.6	719.1	305.6	12.1	0.2	1,836.7
未払金	1,421.1	△ 205.5	85.0	24.6	1.6	1,327.0
未払費用	540.3	96.3	74.3	2.9	0.1	714.1
預り金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
引当金	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
賞与引当金	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
流動負債 合計	27,050.7	4,978.5	3,940.5	178.2	10.9	36,159.1
II 固定負債						
資産見返負債	967.3	146.4	42.1	-	0.0	1,156.1
資産見返補助金等	436.5	5.5	-	-	-	442.0
資産見返寄附金	530.8	140.9	42.1	-	0.0	714.0
長期預り補助金等	14.4	-	-	-	-	14.4
長期預り寄附金	101.5	-	-	-	0.3	101.8
機構債	174,535.6	31,517.7	23,136.2	750.5	50.9	229,991.2
債券発行差額	△ 598.3	△ 127.4	△ 91.8	△ 3.6	△ 0.2	△ 821.5
長期借入金	5,356.0	4,275.1	1,112.9	44.3	1.7	10,790.2
長期未払金	4,731.5	-	-	-	-	4,731.5
長期未払費用	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
引当金	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
退職給付引当金	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
固定負債 合計	185,108.6	35,812.0	24,199.6	791.2	52.9	245,964.5
III 法令に基づく引当金等						
高速道路利便増進事業引当金	-	3,707.6	2,568.9	14.1	-	6,290.7
法令に基づく引当金等 合計	-	3,707.6	2,568.9	14.1	-	6,290.7
負債 合計	212,159.3	44,498.3	30,709.1	983.6	63.8	288,414.4
純資産の部						
I 資本金						
政府出資金	31,132.8	5,637.2	3,570.1	225.9	-	40,566.1
地方公共団体出資金	5,798.0	5,637.2	3,570.1	225.9	-	15,231.4
資本金 合計	36,930.9	11,274.4	7,140.2	451.9	-	55,797.6
II 資本剰余金						
資本剰余金	1.2	-	-	-	-	1.2
施行法第15条による積立金	12,237.4	2,996.9	△ 7,441.2	-	682.6	8,475.7
資本剰余金 合計	12,238.7	2,996.9	△ 7,441.2	-	682.6	8,477.0
III 利益剰余金						
積立金	44,544.6	140.2	448.9	△ 183.6	△ 78.1	44,871.9
当期末処分利益	5,835.5	△ 78.8	156.0	△ 8.3	31.2	5,935.7
利益剰余金 合計	50,380.1	61.4	604.9	△ 191.9	△ 46.8	50,807.6
純資産 合計	99,549.7	14,332.7	303.9	259.9	635.7	115,082.3
負債純資産 合計	311,709.1	58,831.1	31,013.0	1,243.6	699.6	403,496.7

注) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度)高速道路機構のセグメント情報(高速道路勘定・貸借対照表)(一の路線)

[単位:億円]

	一の路線		
	一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠道路))	一般国道31号 (広島呉道路)	一般国道165号 及び一般国道166号 (南阪奈道路)
資産の部			
I 流動資産			
現金預金	0.2	2.1	1.1
道路資産貸付料等未収入金	1.4	9.2	6.7
未収入金	0.0	0.0	0.0
短期貸付金	-	-	-
貯蔵品	0.0	0.0	0.0
前払金	0.0	0.0	0.0
前払費用	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0
流動資産 合計	1.7	11.4	7.8
II 固定資産			
1 有形固定資産			
建物	3.1	4.2	2.2
減価償却累計額	△ 1.4	△ 1.6	△ 0.8
構築物	14.9	357.2	209.0
減価償却累計額	△ 7.1	△ 114.1	△ 57.2
機械装置	18.7	10.7	15.5
減価償却累計額	△ 15.3	△ 5.9	△ 11.3
工具器具備品	0.0	0.0	0.0
減価償却累計額	0.0	0.0	0.0
土地	-	248.4	9.4
建設仮勘定	-	-	-
有形固定資産 合計	12.8	498.9	166.7
2 無形固定資産			
借地権	-	0.0	-
ソフトウェア	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0
無形固定資産 合計	0.0	0.0	0.0
3 投資その他の資産			
長期貸付金	-	-	-
敷金保証金	0.0	0.0	0.0
投資その他の資産 合計	0.0	0.0	0.0
固定資産 合計	12.8	498.9	166.7
資産 合計	14.6	510.4	174.5
負債の部			
I 流動負債			
預り寄附金	-	-	-
預り補助金等	-	-	-
1年以内償還予定機構債	0.9	8.0	-
債券発行差額	0.0	0.0	-
1年以内返済予定長期借入金	0.0	0.1	-
未払金	0.1	0.3	1.1
未払費用	0.0	0.1	0.0
預り金	0.0	0.0	0.0
引当金	0.0	0.0	0.0
賞与引当金	0.0	0.0	0.0
流動負債 合計	1.0	8.6	1.1
II 固定負債			
資産見返負債	0.1	0.0	0.0
資産見返補助金等	-	-	-
資産見返寄附金	0.1	0.0	0.0
長期預り補助金等	-	-	-
長期預り寄附金	0.0	0.1	0.0
機構債	7.3	72.5	△ 14.4
債券発行差額	0.0	△ 0.1	-
長期借入金	0.1	1.6	-
長期未払金	-	-	-
長期未払費用	0.0	0.0	-
引当金	0.0	0.0	0.0
退職給付引当金	0.0	0.0	0.0
固定負債 合計	7.6	74.0	△ 14.3
III 法令に基づく引当金等			
高速道路利便増進事業引当金	-	-	-
法令に基づく引当金等 合計	-	-	-
負債 合計	8.7	82.7	△ 13.1
純資産の部			
I 資本金			
政府出資金	-	-	-
地方公共団体出資金	-	-	-
資本金 合計	-	-	-
II 資本剰余金			
資本剰余金	-	-	-
施行法第15条による積立金	△ 8.9	258.1	71.2
資本剰余金 合計	△ 8.9	258.1	71.2
III 利益剰余金			
積立金	12.0	151.8	105.7
当期未処分利益	2.8	17.6	10.8
利益剰余金 合計	14.8	169.5	116.5
純資産 合計	5.8	427.6	187.7
負債純資産 合計	14.6	510.4	174.5

注) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度)高速道路機構のセグメント情報(損益計算書)
(全国路線網の高速道路会社所管分内訳)

[単位:億円]

	東日本高速道路㈱ 所管分	中日本高速道路㈱ 所管分	西日本高速道路㈱ 所管分	本州四国連絡 高速道路㈱所管分	合計
経常費用					
道路資産貸付業務費	2,636.5	2,250.4	2,348.4	375.5	7,611.0
貸付原価	2,636.5	2,250.4	2,348.4	375.5	7,611.0
貸付道路資産減価償却費	2,497.1	2,123.2	2,226.1	368.0	7,214.6
固定資産除却損	130.1	101.7	118.0	6.9	356.9
その他	9.2	25.4	4.2	0.4	39.4
経営努力助成業務費	2.4	-	2.0	-	4.4
経営努力助成金	2.4	-	2.0	-	4.4
一般管理費	4.3	3.4	3.9	0.3	11.9
人件費	2.7	2.2	2.5	0.2	7.7
経費	1.5	1.1	1.3	0.1	4.2
財務費用	968.2	863.8	909.8	94.0	2,836.1
支払利息	959.7	856.9	901.7	93.2	2,811.6
債券利息	907.1	835.7	872.1	90.5	2,705.6
債券発行差額償却費	20.4	17.2	19.9	1.9	59.6
支払利息	32.0	3.8	9.7	0.8	46.4
債券発行費	7.7	6.1	7.3	0.7	22.0
その他の財務費用	0.7	0.7	0.7	0.0	2.3
債券償還手数料	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
その他	0.7	0.7	0.6	0.0	2.1
道路資産取得関連費用	65.2	71.5	86.3	1.3	224.6
道路建設人件費償却費	25.6	29.6	33.6	0.8	89.7
道路建設経費償却費	26.7	31.6	35.5	0.5	94.4
道路建設金利償却費	12.8	10.1	17.2	0.0	40.3
雑損	8.6	△ 3.4	1.4	3.2	9.8
経常費用 合計	3,685.5	3,185.8	3,352.1	474.5	10,698.1
経常収益					
道路資産貸付料収入	5,797.9	4,790.4	5,287.0	453.2	16,328.6
占用料収入	3.2	1.7	2.5	0.7	8.4
連結料収入	7.1	9.6	6.2	0.5	23.4
その他収入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
補助金等収益	34.9	39.0	30.9	-	105.0
寄附金収益	1.4	0.5	-	-	1.9
資産見返負債戻入	46.9	11.9	9.5	0.1	68.6
資産見返補助金等戻入	38.9	-	-	-	38.9
資産見返寄附金戻入	7.9	11.9	9.5	0.1	29.6
財務収益	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受取利息	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
雑益	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
経常収益 合計	5,891.8	4,853.3	5,336.3	454.7	16,536.3
経常利益又は経常損失(△)	2,206.3	1,667.4	1,984.2	△ 19.8	5,838.1
臨時損失	0.0	0.3	2.9	0.0	3.2
高速道路利便増進事業引当金繰入	-	-	-	-	-
固定資産除却損	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
固定資産売却損	-	0.3	2.8	-	3.2
臨時利益	0.4	0.2	-	-	0.6
高速道路利便増進事業引当金戻入	-	-	-	-	-
固定資産売却益	0.4	0.2	-	-	0.6
当期純利益又は当期純損失(△)	2,206.7	1,667.3	1,981.3	△ 19.8	5,835.5
当期総利益又は当期総損失(△)	2,206.7	1,667.3	1,981.3	△ 19.8	5,835.5

注)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度)高速道路機構のセグメント情報(貸借対照表)
(全国路線網の高速道路会社所管分内訳)

[単位:億円]

	東日本高速道路株式会社 所管分	中日本高速道路株式会社 所管分	西日本高速道路株式会社 所管分	本州四国連絡 高速道路株式会社 所管分	合計
資産の部					
I 流動資産					
現金預金	417.9	345.3	381.1	32.6	1,177.0
道路資産貸付料等未収入金	1,080.6	711.2	779.8	84.1	2,655.9
未収入金	5.9	4.5	4.4	0.1	15.1
短期貸付金	0.8	3.5	53.7	-	58.1
貯蔵品	4.0	1.1	26.0	0.0	31.2
前払金	56.7	1.3	15.0	0.0	73.2
前払費用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
流動資産 合計	1,566.1	1,067.2	1,260.3	117.0	4,010.8
II 固定資産					
1 有形固定資産					
建物	1,364.8	1,104.5	1,157.4	110.7	3,737.6
減価償却累計額	△ 493.8	△ 340.7	△ 380.6	△ 45.8	△ 1,261.1
構築物	98,589.5	82,427.4	90,105.4	24,422.9	295,545.5
減価償却累計額	△ 25,768.0	△ 18,186.6	△ 23,019.7	△ 4,069.6	△ 71,044.1
機械装置	3,578.6	3,926.9	3,673.1	380.9	11,559.7
減価償却累計額	△ 2,034.8	△ 1,685.5	△ 2,014.8	△ 190.9	△ 5,926.2
工具器具備品	21.1	19.3	2.8	0.1	43.4
減価償却累計額	△ 13.8	△ 11.9	△ 2.2	△ 0.1	△ 28.2
土地	21,153.4	24,677.9	24,309.8	2,229.3	72,370.6
建設仮勘定	1,117.8	1,207.9	275.2	-	2,600.9
有形固定資産 合計	97,514.8	93,139.1	94,106.5	22,837.6	307,598.2
2 無形固定資産					
借地権	18.9	17.8	10.4	15.4	62.6
ソフトウェア	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3
その他	3.2	6.8	5.1	0.0	15.2
無形固定資産 合計	22.2	24.7	15.6	15.5	78.1
3 投資その他の資産					
長期貸付金	11.4	4.5	5.8	-	21.8
敷金保証金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
投資その他の資産 合計	11.4	4.5	5.9	0.0	21.9
固定資産 合計	97,548.5	93,168.4	94,128.1	22,853.1	307,698.3
資産 合計	99,114.7	94,235.7	95,388.4	22,970.2	311,709.1
負債の部					
I 流動負債					
預り寄附金	56.9	1.2	14.8	-	73.0
預り補助金等	-	2.2	52.6	-	54.8
1年以内償還予定機構債	8,545.8	6,773.8	7,993.9	852.1	24,165.7
債券発行差額	△ 1.6	△ 1.2	△ 1.5	△ 0.1	△ 4.5
1年以内返済予定長期借入金	221.4	175.5	207.1	195.4	799.6
未払金	537.1	593.7	266.2	23.9	1,421.1
未払費用	189.7	157.7	173.8	18.8	540.3
預り金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
引当金	0.1	0.1	0.1	0.0	0.4
賞与引当金	0.1	0.1	0.1	0.0	0.4
流動負債 合計	9,549.7	7,703.3	8,707.3	1,090.3	27,050.7
II 固定負債					
資産見返負債	563.8	247.5	154.1	1.8	967.3
資産見返補助金等	436.5	-	-	-	436.5
資産見返寄附金	127.3	247.5	154.1	1.8	530.8
長期預り補助金等	8.9	2.1	3.3	-	14.4
長期預り寄附金	37.0	30.6	33.8	-	101.5
機構債	61,720.8	48,923.1	57,734.7	6,156.9	174,535.6
債券発行差額	△ 211.5	△ 167.7	△ 197.9	△ 21.1	△ 598.3
長期借入金	1,617.0	1,281.7	1,512.6	944.6	5,356.0
長期未払金	4,731.5	-	-	-	4,731.5
長期未払費用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
引当金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
退職給付引当金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
固定負債 合計	68,467.8	50,317.5	59,240.8	7,082.3	185,108.6
III 法令に基づく引当金等					
高速道路利便増進事業引当金	-	-	-	-	-
法令に基づく引当金等 合計	-	-	-	-	-
負債 合計	78,017.5	58,020.9	67,948.2	8,172.6	212,159.3
貸借差額調整勘定	4,973.3	△ 5,285.2	△ 4,390.2	4,702.1	-
純資産の部					
I 資本金					
政府出資金	7,668.0	5,104.5	6,776.0	11,584.1	31,132.8
地方公共団体出資金	-	-	-	5,798.0	5,798.0
資本金 合計	7,668.0	5,104.5	6,776.0	17,382.2	36,930.9
II 資本剰余金					
資本剰余金	0.7	0.0	0.4	-	1.2
施行法第15条による積立金	△ 6,270.5	16,583.3	8,528.7	△ 6,604.0	12,237.4
資本剰余金 合計	△ 6,269.8	16,583.4	8,529.1	△ 6,604.0	12,238.7
III 利益剰余金					
積立金	12,518.9	18,144.7	14,543.8	△ 662.9	44,544.6
当期未処分利益	2,206.7	1,667.3	1,981.3	△ 19.8	5,835.5
利益剰余金 合計	14,725.6	19,812.0	16,525.2	△ 682.7	50,380.1
純資産 合計	16,123.8	41,500.0	31,830.4	10,095.3	99,549.7
負債純資産 合計	99,114.7	94,235.7	95,388.4	22,970.2	311,709.1

注1) 政府出資金は、各高速道路会社の貸付料で返済する債務を試算した際に、高速道路機構設立時における各高速道路会社の政府出資金と有利子債務の割合を同一と仮定して算出した試算値である。
注2) 負債について各会社から徴収する貸付料を充てて返済を行う債務の額を各会社ごとに試算した平成29年度期首の債務額を基に区分したことによる所要の調整を「貸借差額調整勘定」として表現している。
注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 高速道路会社連結損益計算書一覧

[単位:億円(消費税抜き)]

東日本高速道路㈱		中日本高速道路㈱		西日本高速道路㈱		本州四国連絡高速道路㈱		首都高速道路㈱		阪神高速道路㈱	
1 営業収益		1 営業収益		1 営業収益		1 営業収益		1 営業収益		1 営業収益	
営業収益	10,345 10,345	営業収益	9,075 9,075	営業収益	9,352 9,352	営業収益	762 762	営業収益	6,610 6,610	営業収益	2,496 2,496
2 営業費用		2 営業費用		2 営業費用		2 営業費用		2 営業費用		2 営業費用	
道路資産賃借料	5,797	道路資産賃借料	4,794	道路資産賃借料	5,332	道路資産賃借料	453	道路資産賃借料	1,886	道路資産賃借料	1,302
高速道路等事業管理費及び売上原価	3,445	高速道路等事業管理費及び売上原価	3,408	高速道路等事業管理費及び売上原価	3,129	高速道路等事業管理費及び売上原価	258	高速道路等事業管理費及び売上原価	4,562	高速道路等事業管理費及び売上原価	1,125
販売費及び一般管理費	911 10,155	販売費及び一般管理費	809 9,012	販売費及び一般管理費	796 9,257	販売費及び一般管理費	39 751	販売費及び一般管理費	106 6,555	販売費及び一般管理費	53 2,481
営業利益	190	営業利益	63	営業利益	94	営業利益	10	営業利益	55	営業利益	15
1 営業外収益		1 営業外収益		1 営業外収益		1 営業外収益		1 営業外収益		1 営業外収益	
受取利息	0	受取利息	0	受取利息	0	受取利息	0	受取利息	0	受取利息	0
持分法による投資利益	14	土地物件賃付料	2	受取配当金	0	有価証券利息	0	土地物件賃付料	0	土地物件賃付料	0
土地物件賃付料	4	負のれん償却額	3	負のれん償却額	4	土地物件賃付料	0	違約金収入	0	原因者負担収入	0
その他	12 32	持分法による投資利益	4	持分法による投資利益	2	負のれん償却額	1	還付加算金	1	回数券付替サービス前受金取崩益	0
2 営業外費用		原因者負担収入	1	土地物件賃付料	5	雑収入	2 4	その他	2 4	持分法による投資利益	0
支払利息	0	その他	3 15	その他	9 21	2 営業外費用		2 営業外費用		その他	0 2
損害賠償金	0	2 営業外費用		2 営業外費用		支払利息	0	支払利息	0	2 営業外費用	
控除対象外消費税	0	支払利息	0	支払利息	0	雑損失	0 0	リース解約損	0	支払利息	0
その他	0 1	物品売却損	0	損害賠償金	0	経常利益	14	回数券ETC付替払戻費用	0	偽造ハイウェイカード損失	0
経常利益	220	その他	0 0	たな卸資産処分損	0	1 特別利益		その他	0 1	その他	0 0
1 特別利益		経常利益	78	その他	0 2	2 特別損失		経常利益	59	1 特別利益	18
固定資産売却益	0	1 特別利益		経常利益	114	固定資産売却費	0 0	1 特別利益		2 特別損失	
その他	0 0	固定資産売却益	0	1 特別利益		税金等調整前当期純利益	5	固定資産受増益	4 4	2 特別損失	
2 特別損失		2 特別損失		固定資産売却損	3	法人税、住民税及び事業税	15	2 特別損失		固定資産売却損	0
固定資産除却損	2	固定資産売却損	0 1	投資有価証券売却益	0	過年度法人税等	0	臨時損失	1	固定資産除却費	0
減損損失	1	固定資産除却損	0	保険解約返戻金	0	法人税等調整額	△ 15	減損損失	1	たな卸資産処分損	0
その他	0 4	固定資産除却損	2	その他	0 5	当期純利益	25	貸倒損失	3 6	事務所移転費用	0
税金等調整前当期純利益	217	投資有価証券売却損	0	2 特別損失		親会社株主に帰属する当期純利益	25	税金等調整前当期純利益	57	減損損失	0 1
法人税、住民税及び事業税	81	その他	0 3	固定資産売却損	0	法人税、住民税及び事業税		法人税、住民税及び事業税	21	法人税等調整額	△ 46
法人税等調整額	△ 106 △ 25	税金等調整前当期純利益	76	固定資産除却損	0	親会社株主に帰属する当期純利益		法人税等調整額	△ 46	当期純利益	82
当期純利益	242	法人税、住民税及び事業税	35	退職給付制度改定損	0	非支配株主に帰属する当期純利益		当期純利益	82	法人税、住民税及び事業税	9
親会社株主に帰属する当期純利益	242	法人税等調整額	△ 72 △ 36	その他	0 1	親会社株主に帰属する当期純利益		非支配株主に帰属する当期純利益	0	法人税等調整額	△ 25 △ 15
		当期純利益	113	税金等調整前当期純利益	118			親会社株主に帰属する当期純利益	82	当期純利益	32
		非支配株主に帰属する当期純利益	0	法人税、住民税及び事業税	48					非支配株主に帰属する当期純利益	1
		親会社株主に帰属する当期純利益	112	法人税等調整額	△ 90 △ 41					親会社株主に帰属する当期純利益	30
				当期純利益	159						
				非支配株主に帰属する当期純損失	△ 0						
				親会社株式に帰属する当期純利益	159						

注)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 高速道路会社連結貸借対照表一覧

[単位:億円(消費税抜き)]

東日本高速道路株		中日高速道路株		西日本高速道路株		本州四国連絡高速道路株		首都高速道路株		阪神高速道路株	
I 流動資産	11,846	I 流動資産	11,252	I 流動資産	11,613	I 流動資産	319	I 流動資産	3,941	I 流動資産	1,702
現金及び預金	1,021	現金及び預金	1,084	現金及び預金	1,384	現金及び預金	174	現金及び預金	1,432	現金及び預金	142
高速道路事業営業未収入金	1,047	高速道路事業営業未収入金	1,037	高速道路事業営業未収入金	750	未収入金	68	高速道路事業営業未収入金	293	高速道路事業営業未収入金	341
未収入金	120	未収入金	332	短期貸付金	100	有価証券	29	未収入金	72	未収入金	67
有価証券	722	仕掛道路資産	8,409	有価証券	570	たな卸資産	44	たな卸資産	1,920	たな卸資産	90
仕掛道路資産	8,343	たな卸資産	30	仕掛道路資産	8,252	短期貸付金	0	受託業務前払金	172	有価証券	1,014
その他のたな卸資産	38	繰延税金資産	30	その他	555	繰延税金資産	2	前払金	26	仕掛道路資産	2
受託業務前払金	109	その他	327	貸倒引当金	△ 0	その他	1	繰延税金資産	10	原材料及び貯蔵品	2
繰延税金資産	20	貸倒引当金	△ 0			貸倒引当金	△ 0	その他	15	受託業務前払金	17
その他	421							貸倒引当金	△ 1	繰延税金資産	13
貸倒引当金	△ 0									その他	11
										貸倒引当金	△ 0
II 固定資産	2,962	II 固定資産	2,914	II 固定資産	2,759	II 固定資産	250	II 固定資産	712	II 固定資産	497
有形固定資産	2,362	有形固定資産	2,617	有形固定資産	2,404	有形固定資産	220	有形固定資産	613	有形固定資産	422
建物	406	建物	412	建物及び構築物	750	建物及び構築物	65	建物	85	建物及び構築物	160
構築物	400	構築物	441	機械装置及び運搬具	622	機械及び運搬具	48	構築物	188	機械装置及び運搬具	162
機械及び装置	498	機械及び装置	391	土地	855	土地	92	機械及び装置	186	土地	37
車両運搬具	73	車両運搬具	70	その他	175	リース資産	1	車両運搬具	16	リース資産	38
工具、器具及び備品	48	工具、器具及び備品	44	無形固定資産	96	その他	11	工具、器具及び備品	12	建設仮勘定	17
土地	871	土地	1,204	投資その他の資産	258	無形固定資産	4	土地	77	その他	5
リース資産	36	リース資産	19	長期前払費用	24	投資その他の資産	25	リース資産	2	無形固定資産	15
建設仮勘定	26	建設仮勘定	31	退職給付に係る資産	11	投資その他の資産	2	建設仮勘定	42	ソフトウェア	15
無形固定資産	116	無形固定資産	91	その他	225	長期未収入金	0	無形固定資産	21	その他	0
投資その他の資産	484	投資その他の資産	205	貸倒引当金	△ 2	繰延税金資産	20	投資その他の資産	77	投資その他の資産	59
投資有価証券	268	投資有価証券	58			繰延税金資産	4	投資有価証券	1	投資有価証券	8
長期前払費用	18	繰延税金資産	97			繰延税金資産	△ 0	敷金	11	繰延税金資産	40
退職給付に係る資産	1	退職給付に係る資産	2					繰延税金資産	61	その他	△ 10
繰延税金資産	163	その他	51					その他	2	貸倒引当金	△ 0
その他	33	貸倒引当金	△ 5								
貸倒引当金	△ 0										
III 繰延資産	10	III 繰延資産	16	III 繰延資産	12						
道路建設関係債発行費	10	道路建設関係債発行費	16								
資産合計	14,819	資産合計	14,183	資産合計	14,385	資産合計	570	資産合計	4,653	資産合計	2,200
I 流動負債	2,395	I 流動負債	1,661	I 流動負債	2,375	I 流動負債	135	I 流動負債	1,407	I 流動負債	362
高速道路事業営業未払金	1,661	高速道路事業営業未払金	1,068	支払手形及び買掛金	166	未払金	105	高速道路事業営業未払金	704	高速道路事業営業未払金	224
1年内返済予定の長期借入金	0	1年内返済予定の長期借入金	1	高速道路事業営業未払金	1,732	短期借入金	6	短期借入金	1	未払金	65
リース債務	13	未払金	281	1年内返済予定の長期借入金	0	1年内返済予定の長期借入金	0	1年内返済予定の長期借入金	175	リース債務	4
未払金	375	未払法人税等	37	未払法人税等	50	リース債務	0	リース債務	1	未払法人税等	10
未払法人税等	70	賞与引当金	32	受託業務前受金	50	未払法人税等	5	未払金	271	未払法人税等	10
預り金	23	その他	240	前受金	0	前受金	6	未払法人税等	16	受託業務前受金	8
受託業務前受金	126			賞与引当金	36	賞与引当金	4	預り金	3	前受金	0
前受金	4			回数を拡大引当金	0	その他	7	受託業務前受金	184	賞与引当金	14
賞与引当金	58			その他	336			前受金	0	その他	22
その他	60							賞与引当金	14		
								その他	33		
II 固定負債	10,409	II 固定負債	10,453	II 固定負債	10,211	II 固定負債	250	II 固定負債	2,768	II 固定負債	1,453
道路建設関係債	6,431	道路建設関係債	8,168	道路建設関係債	4,900	長期借入金	51	道路建設関係債	1,240	道路建設関係債	434
道路建設関係長期借入金	2,668	道路建設関係長期借入金	1,020	道路建設関係長期借入金	4,075	リース債務	1	道路建設関係長期借入金	931	道路建設関係長期借入金	672
長期借入金	0	長期借入金	7	長期借入金	0	長期未払金	3	その他の長期借入金	104	リース債務	32
リース債務	27	役員退職慰労引当金	2	役員退職慰労引当金	3	退職給付に係る負債	172	リース債務	3	役員退職慰労引当金	1
受入保証金	96	ETCマイルンサービス引当金	83	ETCマイルンサービス引当金	91	役員退職慰労引当金	0	役員退職慰労引当金	1	ETCマイルンサービス引当金	0
ETCマイルンサービス引当金	94	退職給付に係る負債	886	退職給付に係る負債	921	ETCマイルンサービス引当金	5	退職給付に係る負債	482	退職給付に係る負債	305
その他の引当金	6	その他	285	その他	218	負のれん	9	その他	3	その他	5
退職給付に係る負債	1,047					その他	5				
負のれん	33										
その他	3										
負債合計	12,804	負債合計	12,115	負債合計	12,587	負債合計	386	負債合計	4,173	負債合計	1,816
I 株主資本	2,192	I 株主資本	2,258	I 株主資本	1,937	I 株主資本	209	I 株主資本	558	I 株主資本	450
資本金	525	資本金	650	資本金	475	資本金	40	資本金	135	資本金	100
資本剰余金	587	資本剰余金	722	資本剰余金	554	資本剰余金	40	資本剰余金	135	資本剰余金	100
利益剰余金	1,079	利益剰余金	886	利益剰余金	907	利益剰余金	129	利益剰余金	288	利益剰余金	250
II その他の包括利益累計額	△ 177	II その他の包括利益累計額	△ 204	II その他の包括利益累計額	△ 140	II その他の包括利益累計額	△ 24	II その他の包括利益累計額	△ 82	II その他の包括利益累計額	△ 71
その他有価証券評価差額金	△ 0	その他有価証券評価差額金	0	その他有価証券評価差額金	△ 0	退職給付に係る調整累計額	△ 24	退職給付に係る調整累計額	△ 82	その他有価証券評価差額金	△ 0
退職給付に係る調整累計額	△ 177	退職給付に係る調整累計額	△ 205	為替換算調整勘定	△ 140					退職給付に係る調整累計額	△ 71
		III 非支配株主持分	13	III 非支配株主持分	1			III 非支配株主持分	4	III 非支配株主持分	5
純資産合計	2,015	純資産合計	2,067	純資産合計	1,798	純資産合計	184	純資産合計	479	純資産合計	384
負債・純資産合計	14,819	負債・純資産合計	14,183	負債・純資産合計	14,385	負債・純資産合計	570	負債・純資産合計	4,653	負債・純資産合計	2,200

平成28年度(2016年度) 高速道路機構と高速道路会社の資産と債務の状況

< 高速道路機構 >

[単位: 億円(消費税抜き)]

項目	高速道路機構	全国路線網					地域路線網			一の路線		
		内訳(試算値)					首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)			
		東日本高速道路(株) 中日本高速道路(株) 西日本高速道路(株) 本州四国連絡高速道路(株)	東日本 高速道路(株)	中日本 高速道路(株)	西日本 高速道路(株)	本州四国連絡 高速道路(株)	首都 高速道路(株)	阪神 高速道路(株)	阪神 高速道路(株)	中日本高速道路(株) 西日本高速道路(株)	中日本 高速道路(株)	西日本 高速道路(株)
道路資産	394,777	305,074	96,419	91,956	93,847	22,853	58,025	29,762	1,237	679	13	666
建設仮勘定	3,111	2,601	1,118	1,208	275	0	3	507	0	0	0	0
合計	397,888	307,675	97,537	93,164	94,122	22,853	58,028	30,269	1,237	679	13	666
借入金	12,627	6,156	1,839	1,457	1,720	1,140	4,994	1,419	57	2	0	2
債券	261,322	197,640	69,892	55,400	65,378	6,970	36,064	26,490	1,055	74	8	66
長期未払金	4,754	4,754	4,754	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	278,704	208,549	76,485	56,857	67,098	8,110	41,058	27,909	1,112	76	8	68

< 高速道路会社 >

[単位: 億円(消費税抜き)]

項目	高速道路機構	全国路線網					地域路線網			一の路線		
		内訳					首都高速道路	阪神高速道路 (阪神圏)	阪神高速道路 (京都圏)			
		東日本高速道路(株) 中日本高速道路(株) 西日本高速道路(株) 本州四国連絡高速道路(株)	東日本 高速道路(株)	中日本 高速道路(株)	西日本 高速道路(株)	本州四国連絡 高速道路(株)	首都 高速道路(株)	阪神 高速道路(株)	阪神 高速道路(株)	中日本高速道路(株) 西日本高速道路(株)	中日本 高速道路(株)	西日本 高速道路(株)
仕掛道路資産	—	25,103	8,368	8,427	8,273	35	1,913	990	0	17	0	17
借入金	—	7,807	2,668	1,022	4,066	51	1,079	673	0	8	0	8
債券	—	19,488	6,431	8,168	4,889	—	1,240	435	0	10	0	10
合計	—	27,295	9,099	9,190	8,955	51	2,319	1,108	0	18	0	18

注1) 本表は、高速道路に係る道路資産に関する高速道路機構と高速道路会社の資産・債務の状況(決算値ベース)を示しており、料金の徴収施設等高速道路会社固有の資産に関するものは含まない。

なお、各項目の「(機構分)」については、高速道路機構の金額を各セグメントにも内訳として記載している。

注2) 「借入金(会社分)」及び「債券(会社分)」は、協定に基づき高速道路会社が高速道路機構へ引渡すこととなるが、債務引受限度額を超過した場合、その超過分については高速道路機構へ引き渡されない。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

高速道路機構と高速道路会社の債務の状況の推移

[単位:億円]

項目	高速道路機構	高速道路会社							合計
		東日本 高速道路(株)	中日本 高速道路(株)	西日本 高速道路(株)	本州四国連絡 高速道路(株)	首都 高速道路(株)	阪神 高速道路(株)	高速道路 会社計	
機構発足時	382,179	1,263	2,694	882	4	2,145	693	7,680	389,859
平成17年度	372,858	1,957	3,715	1,170	17	2,536	851	10,246	383,104
平成18年度	361,125	2,850	5,935	2,272	18	3,534	1,299	15,908	377,033
平成19年度	352,236	3,221	7,875	2,498	20	2,932	1,543	18,089	370,325
平成20年度	313,801	3,942	9,279	3,429	38	3,676	1,642	22,006	335,807
平成21年度	312,870	4,142	11,019	3,101	37	2,587	2,041	22,927	335,797
平成22年度	306,799	4,043	12,580	3,194	33	2,878	1,742	24,470	331,269
平成23年度	303,244	3,344	15,462	3,497	36	3,701	1,644	27,684	330,928
平成24年度	307,982	3,745	7,059	4,497	52	3,359	2,103	20,815	328,797
平成25年度	299,828	4,046	9,625	4,548	47	4,447	1,085	23,798	323,626
平成26年度	293,925	4,198	9,972	4,408	47	3,480	1,333	23,438	317,363
平成27年度	288,153	6,414	6,037	6,454	47	4,057	1,294	24,303	312,456
平成28年度	278,704	9,099	9,190	8,973	51	2,319	1,108	30,740	309,443

注1) 本表は、高速道路に係る道路資産に関する高速道路機構と高速道路会社の債務の状況(決算値ベース)を示したものである。

注2) 全国路線網・地域路線網・一の路線すべての合計である。

注3) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-1 【東日本高速道路㈱】

[単位: 億円]

路線名	道路名	供用延長 (km)	開通年度	開通率 (%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価	
高速自動車国道	高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線	道央自動車道	443	S46-H24	100	9,555.5	70.4	10.3	9,615.6	209.4	2,367.6	7,248.0	12,982.9
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内創路線	札幌自動車道				1,831.5	13.8	2.2	1,843.2	41.6	479.8	1,363.3	2,644.8
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内創路線、高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内北見線	道東自動車道	244	S46-	91	4,307.5	19.0	2.7	4,323.8	91.3	885.1	3,438.6	4,689.8
	高速自動車国道東北縦貫自動車道弘前線	東京外環自動車道	698	S47-H5	100	3,248.4	4.5	0.7	3,252.1	57.0	758.0	2,494.0	4,189.3
		東北自動車道				11,894.9	243.8	20.1	12,118.5	309.4	3,274.9	8,843.6	20,508.7
	高速自動車国道東北縦貫自動車道八戸線	八戸自動車道	97	S61-H15	100	1,728.5	9.2	3.6	1,734.1	40.6	452.1	1,282.0	2,480.8
		青森自動車道				477.4	0.7	0.2	477.9	7.3	109.8	368.1	498.8
	高速自動車国道東北横断自動車道釜石秋田線	釜石自動車道	134	H3-14	100	298.5	0.1	0.0	298.6	5.0	70.6	228.0	317.5
		秋田自動車道				2,544.3	9.1	1.0	2,552.4	46.8	624.7	1,927.7	3,276.4
	高速自動車国道東北横断自動車道酒田線	山形自動車道	137	S56-H13	100	3,563.4	9.4	2.7	3,570.0	67.2	849.7	2,720.3	4,372.1
	高速自動車国道東北横断自動車道いわき新潟線	磐越自動車道	213	H2-9	100	5,798.1	26.1	7.3	5,816.9	110.8	1,385.8	4,431.0	7,252.4
	高速自動車国道日本海沿岸東北自動車道	日本海東北自動車道	76	H13-21	100	2,733.8	23.2	1.6	2,755.5	52.6	595.7	2,159.7	3,019.8
		秋田自動車道				412.8	2.3	0.1	415.0	7.6	113.0	302.0	448.2
	高速自動車国道東北中央自動車道相馬尾花沢線	東北中央自動車道	27	H14-	53	817.9	0.3	0.3	817.9	13.1	180.1	637.7	869.8
	高速自動車国道関越自動車道新潟線	関越自動車道	246	S46-	96	9,620.0	113.5	11.4	9,722.2	176.0	2,026.2	7,695.9	14,379.1
	高速自動車国道関越自動車道上越線	上信越自動車道	203	H4-11	100	7,958.5	39.4	6.8	7,991.1	143.3	1,817.6	6,173.5	9,720.5
	高速自動車国道常磐自動車道	東京外環自動車道	313	S56-H26	100	1,756.9	1.3	0.4	1,757.7	35.4	451.7	1,306.0	2,235.8
		常磐自動車道				8,565.3	64.3	12.5	8,617.1	186.3	1,759.0	6,858.1	11,759.9
	高速自動車国道東関東自動車道千葉富津線	館山自動車道	55	H7-19	100	1,730.1	7.2	0.9	1,736.3	27.9	347.3	1,389.0	2,005.9
	高速自動車国道東関東自動車道水戸線	東京外環自動車道	87	S46-	61	583.0	0.4	0.0	583.4	12.8	153.9	429.5	583.4
		東関東自動車道				3,656.1	22.3	1.8	3,676.6	72.0	806.1	2,870.5	5,547.7
	高速自動車国道北関東自動車道	北関東自動車道	135	H11-22	100	5,496.8	45.6	7.3	5,535.1	93.9	934.1	4,601.0	5,777.8
	高速自動車国道中央自動車道長野線 (安曇野市から千曲市まで(安曇野ICを含まない。))	長野自動車道	43	H4	100	1,761.6	5.5	0.7	1,766.4	33.0	404.0	1,362.3	2,302.7
高速自動車国道北陸自動車道(新潟市から富山県下新川郡朝日町まで(朝日ICを含まない。))	日本海東北自動車道・北陸自動車道	205	S53-H9	100	7,142.5	168.2	14.6	7,296.2	150.2	1,735.1	5,561.0	10,501.9	
高速自動車国道成田国際空港線	新空港自動車道	4	S53	100	56.9	1.2	0.3	57.9	1.5	18.0	39.8	105.5	

平成28年度(2016年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-1 【東日本高速道路㈱】

[単位: 億円]

路線名	道路名	供用延長 (km)	開通年度	開通率 (%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一般国道1号(横浜新道)、 一般国道16号(横浜新道)	横浜新道	11.3	S34-49	100	1,285.8	2.5	7.0	1,281.3	13.8	194.5	1,086.8	1,671.7
一般国道6号 (東水戸道路)	東水戸道路	10.2	H8-11	100	53.6	0.6	0.2	54.0	1.6	27.7	26.3	84.3
一般国道6号 (仙台東部道路)	仙台東部道路	24.8	H5-13	100	672.9	28.5	1.1	700.3	14.6	151.5	548.8	859.0
一般国道6号 (仙台南部道路)	仙台南部道路	12.2	S55-H13	100	163.6	0.3	0.0	163.9	3.0	12.5	151.3	163.9
一般国道7号 (秋田外環状道路)	秋田自動車道	9.5	H9	100	22.9	1.9	0.1	24.7	0.5	12.7	12.0	48.3
一般国道7号 (雫石能代道路)	秋田自動車道	17.1	H4-13	100	28.5	1.1	0.2	29.4	0.7	20.1	9.2	37.7
一般国道13号 (米沢南陽道路)	米沢南陽道路	8.8	H9	100	27.5	0.0	0.0	27.5	0.8	13.8	13.7	45.7
一般国道13号 (湯沢横手道路)	湯沢横手道路	14.5	H6-9	100	25.4	2.6	0.1	27.9	0.7	15.5	12.3	77.1
一般国道14号(京葉道路)、 一般国道16号(京葉道路)	京葉道路	36.7	S35-55	100	2,984.4	13.7	1.8	2,996.4	39.6	532.4	2,463.9	4,091.5
一般国道16号 (横浜横須賀道路)	横浜横須賀道路	36.9	S54-H20	100	3,755.0	3.6	1.2	3,757.3	34.8	427.1	3,330.2	4,580.0
一般国道45号 (三陸横貫自動車道(仙塩道路))	三陸自動車道 (仙塩道路)	7.8	H8	100	73.4	1.9	0.2	75.1	3.4	20.4	54.6	94.4
一般国道45号 (百石道路)	百石道路	6.1	H6	100	13.6	0.0	0.0	13.7	0.2	6.3	7.4	25.4
一般国道47号 (仙台北部道路)	仙台北部道路	13.5	H14-H25	100	88.7	3.4	0.0	92.0	3.4	32.9	59.1	99.7
一般国道126号 (千葉東金道路)	千葉東金道路・圏央道	32.2	S53-H9	100	679.6	3.1	0.5	682.2	11.9	152.2	529.9	955.1
一般国道127号 (富津館山道路)	富津館山道路	19.2	H10-16	100	67.0	2.8	0.0	69.8	2.6	45.2	24.5	97.1
一般国道233号 (深川・習志野自動車道(深川沼田道路))	深川習志野自動車道	4.4	H10	100	10.0	1.7	0.1	11.6	0.2	6.0	5.5	20.2
一般国道235号 (日高自動車道(苦葉道路))	日高自動車道	4.0	H9	100	7.5	0.1	0.0	7.7	0.1	3.8	3.8	11.6
一般国道409号 (東京湾横断・木更津東金道路)	東京湾アクアライン 東京湾アクアライン連絡道	22.2	H7-9	100	10,296.0	15.0	9.7	10,301.3	240.9	2,996.5	7,304.8	12,522.8
一般国道468号 (東京湾横断・木更津東金道路)	圏央道 (東金JCT~木更津JCT)	50.0	H18-25	100	400.9	2.9	0.2	403.6	14.9	75.9	327.7	407.4
一般国道466号 (第三京浜道路)	第三京浜道路	16.6	S39-40	100	1,721.9	17.7	0.3	1,739.3	18.6	239.5	1,499.8	2,584.6
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (横浜市から藤沢市まで及びあきる野市から山武市まで(あきる野ICを含む。))	圏央道 (あきる野~大栄JCT)	150.6	H7-	85	3,162.6	131.4	4.2	3,289.7	82.8	573.9	2,715.7	3,507.3
総計		3,869	—	—	123,738.4	1,144.1	139.1	124,743.4	2,497.1	28,324.5	96,418.9	165,250.5

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したものの。(機構設立時に、当該道路を建設するとした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するとした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したものの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-2【中日本高速道路㈱】

[単位:億円]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道富士吉田線	中央自動車道	94	S42-	94	7,255.1	44.6	8.0	7,291.7	90.9	1,152.2	6,139.5	9,824.7
	高速自動車国道中央自動車道西宮線 (大月市から東近江市まで(八日市ICを含む。))	中央自動車道	360	S39-57	100	6,871.1	127.2	9.6	6,988.6	144.7	1,591.1	5,397.4	11,122.7
		名神高速道路				2,200.4	31.2	7.0	2,224.6	53.8	607.2	1,617.3	4,084.4
	高速自動車国道中央自動車道長野線 (岡谷市から安曇野市まで(安曇野ICを含む。))	長野自動車道	33	S60-63	100	1,105.1	7.3	0.4	1,112.0	20.9	240.1	871.8	1,574.2
	高速自動車国道第一東海自動車道	東名高速道路	347	S43-44	100	18,836.1	155.3	24.3	18,967.1	275.7	3,548.6	15,418.4	28,168.9
	高速自動車国道東海北陸自動車道	東海北陸自動車道	185	S60-H20	100	9,682.7	33.5	11.3	9,704.8	184.1	2,110.1	7,594.7	10,977.9
	高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線	新東名高速道路・伊勢湾岸自動車道(豊田東JCT~東海)	232	H9-	81	33,095.1	28.0	41.0	33,082.1	626.6	3,609.9	29,472.2	33,415.3
	高速自動車国道中部横断自動車道	中部横断自動車道	26	H13-	55	717.9	612.5	1.7	1,328.8	12.8	138.8	1,190.0	1,352.8
	高速自動車国道北陸自動車道 (富山県下新川郡朝日町から米原市まで(朝日ICを含む。))	北陸自動車道	282	S47-58	100	6,815.4	98.1	34.9	6,878.6	159.4	1,743.6	5,135.0	11,349.9
	高速自動車国道近畿自動車道伊勢線	伊勢自動車道	69	S50-	85	1,700.4	10.9	1.7	1,709.6	34.1	423.3	1,286.3	2,353.3
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋亀山線	東名阪自動車道・名古屋第二環状自動車道	98	S45-H22	100	7,075.9	41.6	5.3	7,112.2	168.3	1,764.5	5,347.6	9,369.9
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線 (愛知県海部郡飛鳥村から甲賀市まで(甲賀土山ICを含まない。))	伊勢湾岸自動車道(飛鳥~四日市JCT)・新名神高速道路	37	H11-	58	5,410.4	407.7	2.8	5,815.3	104.0	1,101.4	4,713.9	6,091.8
	高速自動車国道近畿自動車道尾鷲多気線	紀勢自動車道	34	H17-24	100	1,175.3	0.3	1.3	1,174.2	24.6	198.2	975.9	1,174.4
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線 (小浜市から敦賀市まで(小浜ICを含まない。))	舞鶴若狭自動車道	39	H26	100	1,336.6	12.9	0.9	1,348.6	34.2	94.6	1,253.9	1,350.0
高速自動車国道以外	一般国道1号(新湘南バイパス)	新湘南バイパス	8.7	S62-	61	435.7	5.8	0.0	441.5	10.7	120.3	321.1	623.4
	一般国道1号(西湘バイパス)	西湘バイパス	14.5	S45-46	100	823.4	2.0	0.2	825.2	20.7	221.8	603.4	1,349.3
	一般国道138号(東富士五湖道路)	東富士五湖道路	18.0	S61-63	100	294.1	1.7	0.0	295.9	5.3	68.9	227.0	450.8
	一般国道271号(小田原厚木道路)	小田原厚木道路	31.7	S43	100	897.3	9.7	2.1	904.9	15.2	215.6	689.2	1,542.5
	一般国道302号(伊勢湾岸道路)	伊勢湾岸自動車道(東海~飛鳥)	6.1	S59-H9	100	2,381.3	2.1	0.1	2,383.3	59.3	681.5	1,701.7	2,963.5
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (茅ヶ崎市から海老名市門沢橋まで及び海老名市中新田からあきる野市まで(あきる野ICを含まない。))	圏央道(茅ヶ崎JCT~寒川北、海老名~あきる野)	44.0	H19-26	100	1,493.2	9.5	1.0	1,501.7	48.7	226.4	1,275.3	1,508.4
	一般国道475号(東海環状自動車道) (豊田市から四日市市まで)	東海環状自動車道	80.4	H16-	54	1,064.9	31.9	3.2	1,093.5	28.2	370.6	722.9	1,111.2
	計(全国路線網)		2,039	—	—	110,668.5	1,674.9	157.9	112,185.5	2,123.2	20,229.8	91,955.6	141,760.2

1-2【中日本高速道路㈱】

	道路名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
路線一線	一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))	中部縦貫自動車道(安房峠道路)	5.6	H9	100	35.4	2.0	0.5	36.8	0.5	23.9	12.8	60.9
総計			2,045	—	—	110,704.0	1,676.9	158.5	112,222.4	2,123.7	20,253.8	91,968.5	141,821.2

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設するした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設するした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したものの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-3 【西日本高速道路株】

[単位:億円]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道西宮線(東近江市から西宮市まで(八日市ICを含まない。))	名神高速道路	105	S38-H15	100	8,698.5	55.8	18.7	8,735.5	123.3	1,486.7	7,248.7	11,613.7
	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線	西名阪自動車道 近畿自動車道	56	S43-62	100	1,571.0 3,680.6	5.5 4.8	0.3 0.2	1,576.2 3,685.2	26.2 78.1	281.2 833.6	1,295.0 2,851.5	2,290.3 5,226.0
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(甲賀市から神戸市まで(甲賀土山ICを含む。))	新名神高速道路	28	H19-	26	2,780.3	4.2	1.3	2,783.2	51.3	470.7	2,312.4	2,785.1
	高速自動車国道近畿自動車道松原那智勝浦線	阪和自動車道	110	S49-H19	100	5,125.6	115.3	3.4	5,237.5	100.5	1,102.3	4,135.1	6,732.0
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(三木市から小浜市まで(小浜ICを含む。))	舞鶴若狹自動車道	123	S61-H23	100	3,382.1	10.6	2.6	3,390.1	66.3	758.2	2,631.8	4,221.4
	高速自動車国道中国縦貫自動車道	中国自動車道	543	S44-57	100	11,373.8	141.9	13.5	11,502.3	229.2	2,748.8	8,753.4	18,921.8
	高速自動車国道山陽自動車道吹田山口線、高速自動車国道山陽自動車道宇部下関線	山陽自動車道	445	S56-H12	100	18,301.3	138.5	59.1	18,380.7	341.1	4,025.0	14,355.7	24,220.8
	高速自動車国道中国横断自動車道姫路鳥取線	播磨自動車道	13	H14-	52	462.1	0.8	0.1	462.8	8.4	111.1	351.7	489.0
	高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線	岡山自動車道 米子自動車道	107	H元-8	100	1,437.1 2,048.0	6.6 7.0	2.6 1.3	1,441.0 2,053.8	26.1 39.8	315.1 490.8	1,125.9 1,563.0	1,685.0 2,630.9
	高速自動車国道中国横断自動車道尾道松江線	松江自動車道 山陰自動車道	26	H12-14	100	356.5 1,064.5	0.3 2.2	0.1 0.2	356.8 1,066.4	7.0 20.5	84.9 210.7	271.8 855.6	374.9 1,106.4
	高速自動車国道山陰自動車道鳥取益田線	山陰自動車道	18	H18-21	100								
	高速自動車国道中国横断自動車道広島浜田線	広島自動車道 浜田自動車道	71	S59-H3	100	598.7 889.6	0.9 2.3	0.0 0.2	599.7 891.7	12.7 17.1	160.2 209.6	439.4 682.1	909.5 1,237.8
	高速自動車国道四国縦貫自動車道	徳島自動車道	237	S59-H16	100	3,472.0	8.1	1.5	3,478.6	60.5	647.8	2,830.7	3,999.6
	高速自動車国道四国縦貫自動車道、高速自動車国道四国横断自動車道愛南大洲線	松山自動車道				5,061.5	18.3	2.7	5,077.1	89.5	1,156.9	3,920.1	6,142.6
	高速自動車国道四国横断自動車道阿南四万十線	高松自動車道 高知自動車道	209	S62-	98	3,962.9 4,475.3	20.7 17.8	12.9 4.3	3,970.7 4,488.7	73.2 85.5	900.5 1,022.7	3,070.2 3,465.9	4,800.1 5,323.8
	高速自動車国道九州縦貫自動車道鹿児島線	九州自動車道	345	S46-H7	100	9,748.1	90.0	19.4	9,818.7	195.2	2,281.5	7,537.2	14,718.4
	高速自動車国道九州縦貫自動車道宮崎線	宮崎自動車道	83	S50-56	100	1,189.8	12.2	0.6	1,201.4	28.4	340.5	860.8	2,075.5
	高速自動車国道九州横断自動車道長崎大分線	長崎自動車道 大分自動車道	257	S57-H15	100	3,885.6 4,721.0	22.5 43.5	2.9 5.4	3,905.2 4,759.1	72.0 83.2	871.6 1,023.2	3,033.5 3,735.9	5,400.0 6,058.1
	高速自動車国道東九州自動車道	東九州自動車道	205	H11-28	100	6,230.9	284.4	8.9	6,506.3	127.5	1,007.8	5,498.5	6,761.9
	高速自動車国道関西国際空港線	関西空港自動車道	7	H6	100	661.9	1.1	0.0	663.0	9.6	117.7	545.3	800.8
	高速自動車国道関門自動車道	関門橋	9	S48	100	612.5	65.6	0.5	677.6	23.8	260.2	417.3	1,397.7
	高速自動車国道沖縄自動車道	沖縄自動車道	57	S50-62	100	1,622.2	34.4	1.5	1,655.1	28.4	325.8	1,329.2	2,536.7
	高速自動車国道以外	一般国道1号(京滋バイパス)、一般国道478号(京滋バイパス)	京滋バイパス	23.9	S63-H15	100	1,793.7	3.8	1.1	1,796.4	33.0	409.8	1,386.5
一般国道1号(第二京阪道路)		第二京阪道路	28.3	H14-21	100	2,421.3	1.7	0.0	2,423.1	44.5	379.6	2,043.5	2,453.2
一般国道2号(第二神明道路)		第二神明道路	29.9	S44-H10	100	1,673.9	8.5	0.3	1,682.1	21.6	279.5	1,402.5	2,233.2
一般国道2号(広島岩国道路)		広島岩国道路	16.2	S61-H2	100	825.2	1.1	0.0	826.3	10.5	131.5	694.7	1,061.3
一般国道3号(南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))		南九州自動車道(八代日奈久道路)	12.0	H10-13	100	24.9	0.6	0.0	25.5	0.7	17.8	7.6	41.9
一般国道3号(南九州西回り自動車道(市来~鹿児島))		南九州自動車道(鹿児島道路)	21.3	H9-14	100	40.1	2.0	0.1	42.0	1.0	24.6	17.3	64.0
一般国道9号(安来道路)		山陰道(安来道路)	19.1	H9-12	100	46.5	0.5	0.0	47.1	1.5	33.0	14.0	72.7
一般国道9号(江津道路)		山陰道(江津道路)	14.5	H15	100	29.2	0.7	0.0	30.0	0.6	14.8	15.1	33.5
一般国道10号(権田道路)		権田道路	10.3	H2	100	221.4	8.4	0.0	229.8	5.5	42.7	187.1	288.0

平成28年度(2016年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-3 【西日本高速道路株】

[単位:億円]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一般国道10号(宇佐別府道路)	宇佐別府道路	22.7	H4-6	100	181.0	1.5	0.0	182.5	3.9	49.6	132.8	264.1
一般国道10号(日出バイパス)	日出バイパス	9.0	H13	100	23.3	1.0	0.4	23.8	0.6	16.4	7.4	32.5
一般国道10号(延岡南道路)	延岡南道路	3.7	H元	100	83.0	0.2	0.0	83.2	2.0	20.6	62.6	110.1
一般国道10号(隼人道路)	隼人道路	7.3	H3	100	124.3	0.8	0.3	124.8	2.3	29.3	95.4	165.1
一般国道11号(高松東道路)	高松自動車道	15.6	H9-12	100	86.1	1.4	0.2	87.3	2.7	49.8	37.5	133.9
一般国道24号(京奈和自動車道(京奈道路))	京奈和自動車道(京奈道路)	17.0	S63-H12	100	614.0	26.0	8.5	631.5	9.2	108.9	522.6	783.9
一般国道34号(長崎バイパス)	長崎バイパス	15.1	S42-H2	100	413.7	1.7	0.3	415.1	6.6	78.3	336.8	597.7
一般国道42号(湯浅御坊道路)	湯浅御坊道路	19.4	H6-7	100	154.9	2.3	0.1	157.0	3.7	58.6	98.4	218.6
一般国道196号(今治・小松自動車道(今治小松道路))	今治小松自動車道	13.0	H11-13	100	26.5	2.6	0.3	28.8	0.6	18.0	10.7	41.3
一般国道478号(京都縦貫自動車道)	京都縦貫自動車道	41.1	S62-H25	100	1,218.9	3.3	0.5	1,221.7	27.2	203.3	1,018.3	1,441.2
一般国道481号(関西国際空港連絡橋)	関西国際空港連絡橋	4.6	H21	100	379.4	0.1	0.0	379.5	10.8	89.4	290.0	379.8
一般国道497号(西九州自動車道(武雄佐世保道路))	西九州自動車道(武雄佐世保道路)	22.0	S62-H元	100	443.4	3.2	0.2	446.4	9.7	111.2	335.1	648.6
一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路))	西九州自動車道(佐世保道路)	7.8	H10-21	100	19.2	0.4	0.0	19.6	0.8	9.2	10.3	25.0
計(全国路線網)		3,428	—	—	118,259.4	1,189.4	178.7	119,270.1	2,226.1	25,423.5	93,846.6	157,799.7

1-3 【西日本高速道路株】

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一般国道31号(広島呉道路)	広島呉道路	15.9	S49-H8	100	598.1	22.9	0.2	620.7	10.1	121.7	498.9	889.4
一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)	南阪奈道路	12.3	H15	100	235.5	0.7	0.0	236.2	4.5	69.5	166.7	246.6
総計		3,456	—	—	119,093.1	1,213.1	179.1	120,127.1	2,240.9	25,614.7	94,512.3	158,935.8

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設とした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設とした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したもの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-4 【本州四国連絡高速道路株】

[単位:億円]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))	神戸淡路鳴門自動車道	89.0	S60-H10	100	13,947.3	22.4	9.9	13,959.9	184.5	2,189.0	11,770.9	16,212.8
一般国道30号(本州四国連絡道路(児島・坂出ルート))	瀬戸中央自動車道	37.3	S63	100	6,393.9	30.6	1.3	6,423.2	98.7	1,097.6	5,325.6	8,297.3
一般国道317号(本州四国連絡道路(尾道・今治ルート))	西瀬戸自動車道	46.6	S54-H11	100	6,770.1	10.7	4.4	6,776.4	84.7	1,019.9	5,756.5	7,785.4
総計		172.9	—	—	27,111.4	63.9	15.7	27,159.6	368.0	4,306.5	22,853.1	32,295.6

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したもの。(機構設立時に、当該道路を建設とした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設とした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却分を控除したもの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 営業中高速道路の路線別資産額

1-5 【首都高速道路(株)】

[単位:億円]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
都道首都高速1号線等	高速1号上野線・高速都心環状線・高速1号羽田線等	318.9	S37-	94	69,121.3	3,571.5	198.4	72,494.4	1,351.5	14,469.5	58,024.8	90,555.1

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したものの。(機構設立時に、当該道路を建設とした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設とした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却部分を控除したものの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-6 【阪神高速道路(株)】

[単位:億円]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	期首資産額	当期増加額	当期減少額	当期末資産額	当期償却額	減価償却累計額	差引当期末簿価	再調達原価
大阪府道高速大阪池田線等	1号環状線・11号池田線等	250.5	S39-	88	37,842.1	783.3	19.9	38,605.5	791.3	8,843.7	29,761.8	50,137.9
京都市道高速道路1号線等	新十条通等	10.1	H19-H22	100	1,470.7	0.9	2.0	1,469.6	25.8	232.7	1,236.8	1,469.7
総計		260.6	—	—	39,312.8	784.3	21.9	40,075.2	817.2	9,076.4	30,998.7	51,607.7

注1)「開通率」は高速道路会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「再調達原価」は、機構設立時の道路資産額を決定する際に原価を改めて計算したものの。(機構設立時に、当該道路を建設とした場合の価額)

なお、機構設立後の当該道路に係る資産取得については、その取得価額を加算し、処分については、その資産の取得時期に基づき、建設とした場合の価額又は取得価額を減算してある。

注3)「期首資産額」は「再調達原価」を基に、供用時に遡って減価償却部分を控除したものの。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 高速道路の収支率(試算値)

[単位:億円(消費税抜き)]

	料金収入(A)	費用			収支率 (D) / (A) × 100
		管理費(B)	金利(C)	計 (D) = (B) + (C)	
全国路線網	22,891.2	6,466.4	2,786.8	9,253.3	40.4%
東日本高速道路(株)所管分	8,225.9	2,317.1	948.7	3,265.9	39.7%
中日本高速道路(株)所管分	6,642.8	1,873.8	845.7	2,719.5	40.9%
西日本高速道路(株)所管分	7,380.4	2,086.1	899.1	2,985.2	40.4%
本州四国連絡高速道路(株)所管分	642.0	189.3	93.2	282.6	44.0%
地域路線網					
首都高速道路	2,694.6	799.8	480.9	1,280.7	47.5%
阪神高速道路 (阪神圏)	1,687.5	415.6	359.4	775.0	45.9%
阪神高速道路 (京都圏)	44.4	17.3	14.7	32.1	72.2%
一の路線					
一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠 道路))	7.3	5.2	0.0	5.3	72.9%
一般国道31号 (広島呉道路)	43.5	18.0	0.7	18.7	43.1%
一般国道165号及び一般国 道166号 (南阪奈道路)	22.4	6.0	0.0	6.0	26.7%
計	27,391.2	7,728.6	3,642.7	11,371.4	—

注1)「料金収入」は高速道路会社の料金収入、「管理費」は高速道路会社の管理費、

「金利」は高速道路機構の支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)全国路線網の西日本高速道路(株)所管分の料金収入(A)、管理費(B)には関門トンネル分を含まない。

注3)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-1【東日本高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
高速自動車国道	高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線	道央自動車道	443	S46-H24	100	114	415.5	203.0	212.4
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線	札幌自動車道	244	S46-	91	63	180.8	92.4	88.4
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線、高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内北見線	道東自動車道							
	高速自動車国道東北縦貫自動車道弘前線	東京外環自動車道・東北自動車道	698	S47-H5	100	413	1,999.4	460.4	1,538.9
	高速自動車国道東北縦貫自動車道八戸線	八戸自動車道・青森自動車道	97	S61-H15	100	11	46.1	34.3	11.8
	高速自動車国道東北横断自動車道釜石秋田線	釜石自動車道・秋田自動車道	134	H3-14	100	18	76.5	44.5	31.9
	高速自動車国道東北横断自動車道酒田線	山形自動車道	137	S56-H13	100	25	80.9	42.8	38.0
	高速自動車国道東北横断自動車道いわき新潟線	磐越自動車道	213	H2-9	100	23	160.9	83.2	77.6
	高速自動車国道日本海沿岸東北自動車道	日本海東北自動車道・秋田自動車道	76	H13-21	100	31	56.7	40.1	16.6
	高速自動車国道東北中央自動車道相馬尾花沢線	東北中央自動車道	27	H14-	53	5	7.8	6.1	1.6
	高速自動車国道関越自動車道新潟線	関越自動車道・東京外環自動車道	246	S46-	96	210	925.8	238.7	687.1
	高速自動車国道関越自動車道上越線	上信越自動車道	203	H4-11	100	62	374.6	135.5	239.1
	高速自動車国道常磐自動車道	東京外環自動車道・常磐自動車道	313	S56-H26	100	259	900.2	195.9	704.3
	高速自動車国道東関東自動車道千葉富津線	館山自動車道	55	H7-19	100	78	132.4	34.0	98.4
	高速自動車国道東関東自動車道水戸線	東京外環自動車道・東関東自動車道	87	S46-	61	203	468.5	87.8	380.7
	高速自動車国道北関東自動車道	北関東自動車道	135	H11-22	100	76	294.6	67.4	227.1
	高速自動車国道中央自動車道長野線(安曇野市から千曲市まで(安曇野ICを含まない。))	長野自動車道	43	H4	100	7	86.8	23.9	62.8
	高速自動車国道北陸自動車道(新潟市から富山県下新川郡朝日町まで(朝日ICを含まない。))	日本海東北自動車道・北陸自動車道	205	S53-H9	100	52	323.9	119.4	204.4
	高速自動車国道成田国際空港線	新空港自動車道	4	S53	100	6	5.1	2.4	2.6
高速自動車国道以外	一般国道1号(横浜新道)、一般国道16号(横浜新道)	横浜新道	11.3	S34-49	100	128	138.9	25.3	113.6
	一般国道6号(東水戸道路)	東水戸道路	10.2	H8-11	100	15	13.8	6.1	7.7
	一般国道6号(仙台東部道路)	仙台東部道路	24.8	H5-13	100	70	90.0	21.5	68.4
	一般国道6号(仙台南部道路)	仙台南部道路	12.2	S55-H13	100	29	29.9	8.5	21.4
	一般国道7号(秋田外環状道路)	秋田自動車道	9.5	H9	100	6	7.0	4.1	2.8
	一般国道7号(琴丘能代道路)	秋田自動車道	17.1	H4-13	100	4	6.6	5.0	1.6
	一般国道13号(米沢南陽道路)	米沢南陽道路	8.8	H9	100	4	3.6	2.4	1.1
	一般国道13号(湯沢横手道路)	湯沢横手道路	14.5	H6-9	100	6	7.0	4.3	2.6
	一般国道14号(京葉道路)、一般国道16号(京葉道路)	京葉道路	36.7	S35-55	100	281	252.1	54.5	197.5
	一般国道16号(横浜横須賀道路)	横浜横須賀道路	36.9	S54-H20	100	106	188.5	47.6	140.9
	一般国道45号(三陸縦貫自動車道(仙塩道路))	三陸自動車道(仙塩道路)	7.8	H8	100	45	27.2	6.8	20.3
	一般国道45号(百石道路)	百石道路	6.1	H6	100	5	2.5	1.8	0.6
	一般国道47号(仙台北部道路)	仙台北部道路	13.5	H14-H25	100	20	26.8	6.7	20.1
	一般国道126号(千葉東金道路)	千葉東金道路・圏央道	32.2	S53-H9	100	69	75.1	22.7	52.3
	一般国道127号(富津館山道路)	富津館山道路	19.2	H10-16	100	14	21.9	9.7	12.1
	一般国道233号(深川・留萌自動車道(深川沼田道路))	深川留萌自動車道	4.4	H10	100	2	0.9	2.4	△ 1.5
	一般国道235号(日高自動車道(苫東道路))	日高自動車道	4.0	H9	100	6	2.8	1.3	1.4
	一般国道409号(東京湾横断・木更津東金道路)	東京湾アクアライン・東京湾アクアライン連絡道	22.2	H7-9	100	95	196.0	59.7	136.2
	一般国道468号(東京湾横断・木更津東金道路)	圏央道	50.0	H18-25	100				
	一般国道466号(第三京浜道路)	第三京浜道路	16.6	S39-40	100	142	114.7	30.6	84.0
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)(横浜市から藤沢市まで及びあきる野市から山武市まで(あきる野ICを含む。))	圏央道	150.6	H7-	85	157	482.5	82.4	400.0	
総計			3,869	—	—	2,863	8,225.9	2,317.1	5,908.8

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。
 注2)「交通量」は原則として各路線ごとの支払料金所における通行台数をカウントしている。
 注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。
 注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-2【中日本高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長 (km)	開通 年度	開通率 (%)	交通量 (千台/日)	料金収入 (A)	管理費 (B)	営業収支差 (A)-(B)
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道富士吉田線	中央自動車道・東京外環自動車道	94	S42-	94	174	421.5	118.6	302.9
	高速自動車国道中央自動車道西宮線 (大月市から東近江市まで(八日市ICを含む。))	中央自動車道・名神高速道路	360	S39-57	100	175	969.9	304.7	665.1
	高速自動車国道中央自動車道長野線 (岡谷市から安曇野市まで(安曇野ICを含む。))	長野自動車道	33	S60-63	100	39	102.6	33.1	69.5
	高速自動車国道第一東海自動車道	東名高速道路	347	S43-44	100	408	1,683.1	438.0	1,245.0
	高速自動車国道東海北陸自動車道	東海北陸自動車道	185	S60-H20	100	55	219.5	111.5	108.0
	高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線	新東名高速道路・伊勢湾岸自動車道(豊田東JCT~東海)	232	H9-	81	175	952.9	202.6	750.2
	高速自動車国道中部横断自動車道	中部横断自動車道	26	H13-	55	3	4.6	6.7	△ 2.0
	高速自動車国道北陸自動車道 (富山県下新川郡朝日町から米原市まで(朝日ICを含む。))	北陸自動車道	282	S47-58	100	106	557.1	223.5	333.6
	高速自動車国道近畿自動車道伊勢線	伊勢自動車道・名古屋第二環状自動車道	69	S50-	85	34	134.5	40.4	94.0
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋亀山線	東名阪自動車道・名古屋第二環状自動車道	98	S45-H22	100	267	578.9	162.3	416.6
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線 (愛知県海部郡飛島村から甲賀市まで(甲賀土山ICを含まない。))	伊勢湾岸自動車道(飛島~四日市JCT)・新名神高速道路	37	H11-	58	59	163.2	33.3	129.9
	高速自動車国道近畿自動車道尾鷲多気線	紀勢自動車道	34	H17-24	100	5	22.0	8.7	13.2
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(小浜市から敦賀市まで(小浜ICを含まない。))	舞鶴若狭自動車道	39	H26	100	2	18.7	10.4	8.2
高速自動車国道以外	一般国道1号(新湘南バイパス)	新湘南バイパス	8.7	S62-	61	49	33.6	10.8	22.7
	一般国道1号(西湘バイパス)	西湘バイパス	14.5	S45-46	100	45	32.5	12.5	19.9
	一般国道138号(東富士五湖道路)	東富士五湖道路	18.0	S61-63	100	16	28.4	9.7	18.6
	一般国道271号(小田原厚木道路)	小田原厚木道路	31.7	S43	100	71	74.8	27.8	46.9
	一般国道302号(伊勢湾岸道路)	伊勢湾岸自動車道	6.1	S59-H9	100	99	239.2	27.5	211.7
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (茅ヶ崎市から海老名市市門沢橋まで及び海老名市中新田からあきる野市まで(あきる野ICを含まない。))	圏央道	44.0	H19-26	100	98	271.7	50.7	220.9
	一般国道475号(東海環状自動車道) (豊田市から四日市市まで)	東海環状自動車道	80.4	H16-	54	56	133.1	40.0	93.0
	計(全国路線網)		2,039	-	-	1,934	6,642.8	1,873.8	4,768.9
一の路線	一般国道158号 (中部縦貫自動車道(安房峠道路))	中部縦貫自動車道 (安房峠道路)	5.6	H9	100	3	7.3	5.2	2.0
総計		2,045	-	-	1,938	6,650.1	1,879.1	4,771.0	

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「交通量」は原則として各路線ごとの支払料金所における通行台数をカウントしている。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-3 【西日本高速道路網】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道西宮線(東近江市から西宮市まで(八日市ICを含まない。))	名神高速道路	105	S38-H15	100	175	690.3	165.2	525.0
	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線	西名阪自動車道・近畿自動車道	56	S43-62	100	308	427.2	90.2	337.0
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(甲賀市から神戸市まで(甲賀土山ICを含む。))	新名神高速道路	28	H19-	26	12	105.0	21.0	84.0
	高速自動車国道近畿自動車道松原那智勝浦線	阪和自動車道	110	S49-H19	100	198	383.0	106.2	276.7
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(三木市から小浜市まで(小浜ICを含む。))	舞鶴若狭自動車道	123	S61-H23	100	24	110.1	51.1	58.9
	高速自動車国道中国縦貫自動車道	中国自動車道	543	S44-57	100	139	736.5	284.9	451.6
	高速自動車国道山陽自動車道吹田山口線、高速自動車国道山陽自動車道宇都下関線	山陽自動車道	445	S56-H12	100	243	1,189.5	334.5	855.0
	高速自動車国道中国横断自動車道姫路鳥取線	播磨自動車道	13	H14-	52				
	高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線	岡山自動車道・米子自動車道	107	H元-8	100	9	75.0	34.5	40.4
	高速自動車国道中国横断自動車道尾道松江線	松江自動車道・山陰自動車道	26	H12-14	100	15	35.0	13.4	21.6
	高速自動車国道山陰自動車道鳥取益田線	山陰自動車道	18	H18-21	100				
	高速自動車国道中国横断自動車道広島浜田線	広島自動車道・浜田自動車道	71	S59-H3	100	29	39.5	16.4	23.1
	高速自動車国道四国縦貫自動車道	徳島自動車道	237	S59-H16	100	61	288.2	104.7	183.5
	高速自動車国道四国縦貫自動車道、高速自動車国道四国横断自動車道愛南大洲線	松山自動車道							
	高速自動車国道四国横断自動車道阿南四万十線	高松自動車道・高知自動車道・徳島自動車道	209	S62-	98	98	288.3	106.2	182.1
	高速自動車国道九州縦貫自動車道鹿児島線	九州自動車道	345	S46-H7	100	246	1,046.1	245.4	800.7
	高速自動車国道九州縦貫自動車道宮崎線	宮崎自動車道	83	S50-56	100	17	75.4	15.9	59.5
	高速自動車国道九州横断自動車道長崎大分線	長崎自動車道・大分自動車道	257	S57-H15	100	111	461.3	130.0	331.3
	高速自動車国道東九州自動車道	東九州自動車道	205	H11-28	100	60	165.5	55.6	109.8
	高速自動車国道関西国際空港線	関西国際空港自動車道	7	H6	100	10	13.9	4.7	9.2
高速自動車国道関門自動車道	関門橋	9	S48	100	19	25.9	6.2	19.7	
高速自動車国道沖縄自動車道	沖縄自動車道	57	S50-62	100	103	145.4	43.2	102.1	
高速自動車国道以外	一般国道1号(京滋バイパス)、一般国道478号(京滋バイパス)	京滋バイパス	23.9	S63-H15	100	83	181.2	31.2	149.9
	一般国道1号(第二京阪道路)	第二京阪道路	28.3	H14-21	100	150	302.8	52.2	250.6
	一般国道2号(第二神明道路)	第二神明道路	29.9	S44-H10	100	191	101.0	33.3	67.6
	一般国道2号(広島岩国道路)	広島岩国道路	16.2	S61-H2	100	47	56.3	9.5	46.8
	一般国道3号(南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))	南九州自動車道(八代日奈久道路)	12.0	H10-13	100	5	6.2	2.6	3.6
	一般国道3号(南九州西回り自動車道(市来~鹿児島西))	南九州自動車道(鹿児島道路)	21.3	H9-14	100	26	22.7	5.7	17.0
	一般国道9号(安来道路)	山陰道(安来道路)	19.1	H9-12	100	13	24.5	9.2	15.3
	一般国道9号(江津道路)	山陰道(江津道路)	14.5	H15	100	3	3.8	2.8	0.9
	一般国道10号(椎田道路)	椎田道路	10.3	H2	100	15	18.1	3.3	14.8
	一般国道10号(宇佐別府道路)	宇佐別府道路	22.7	H4-6	100	13	26.5	7.1	19.3
	一般国道10号(日出バイパス)	日出バイパス	9.0	H13	100	5	4.3	1.3	3.0
	一般国道10号(延岡南道路)	延岡南道路	3.7	H元	100	12	9.8	2.0	7.8
	一般国道10号(隼人道路)	隼人道路	7.3	H3	100	19	13.2	3.0	10.1
	一般国道11号(高松東道路)	高松自動車道	15.6	H9-12	100	20	31.7	9.3	22.3
	一般国道24号(京奈和自動車道(京奈道路))	京奈和自動車道(京奈道路)	17.0	S63-H12	100	44	39.7	12.6	27.0
	一般国道34号(長崎バイパス)	長崎バイパス	15.1	S42-H2	100	41	28.4	7.3	21.0
	一般国道42号(湯浅御坊道路)	湯浅御坊道路	19.4	H6-7	100	23	35.1	11.8	23.2
	一般国道196号(今治・小松自動車道(今治小松道路))	今治小松自動車道	13.0	H11-13	100	7	7.4	4.4	2.9
	一般国道478号(京都縦貫自動車道)	京都縦貫自動車道	41.1	S62-H25	100	76	94.2	29.8	64.3
	一般国道481号(関西国際空港連絡橋)	関西国際空港連絡橋	4.6	H21	100	11	30.7	4.8	25.8
	一般国道497号(西九州自動車道(武雄佐世保道路))	西九州自動車道(武雄佐世保道路)	22.0	S62-H元	100	22	27.2	7.3	19.8
	一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路))	西九州自動車道(佐世保道路)	7.8	H10-21	100	29	12.6	4.5	8.0
	計(全国路線網)			3,428	—		2,733	7,380.4	2,086.1

平成28年度(2016年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-3 【西日本高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
一の路線	一般国道31号(広島呉道路)	広島呉道路	15.9	S49-H8	100	40	43.5	18.0	25.4
	一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)	南阪奈道路	12.3	H15	100	24	22.4	6.0	16.4
総計			3,456	-	-	2,796	7,446.4	2,110.2	5,336.2

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注2)「交通量」は原則として各路線ごとの支払料金所における通行台数をカウントしている。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)料金収入(A)、管理費(B)には関門トンネル分を含まない。

注5)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-4 【本州四国連絡高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
高速自動車国道以外	一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))	神戸淡路鳴門自動車道	89.0	S60-H10	100	25	338.1	83.2	254.8
	一般国道30号(本州四国連絡道路(児島・坂出ルート))	瀬戸中央自動車道	37.3	S63	100	22	189.3	50.4	138.9
	一般国道317号(本州四国連絡道路(尾道・今治ルート))	西瀬戸自動車道	46.6	S54-H11	100	7	114.4	55.5	58.9
総計			172.9	—	—	54	642.0	189.3	452.7

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)本州四国連絡高速道路㈱の交通量は県境断面交通量である。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 路線別営業収支差(高速道路会社情報の総括)

1-5 【首都高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
都道首都高速1号線 等	高速1号上野線・高速都心環状線・高速1号羽田線 等	318.9	S37-	94	983	2,694.6	799.8	1,894.8

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「交通量」は、首都高速道路1回の利用を「1台」として集計している。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-6 【阪神高速道路㈱】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	交通量(千台/日)	料金収入(A)	管理費(B)	営業収支差(A)-(B)
大阪府道高速大阪池田線 等	1号環状線・11号池田線 等	250.5	S39-	88	719	1,687.5	415.6	1,271.9
京都市道高速道路1号線 等	新十条通 等	10.1	H19-H22	100	34	44.4	17.3	27.0
計		260.6	—	—	753	1,732.0	433.0	1,298.9

注1)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注2)「交通量」は、阪神高速道路1回の利用を「1台」として集計している。

注3)「料金収入」は会社の料金収入、「管理費」は会社の管理費、営業収支差は料金収入から会社の管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-1 【東日本高速道路(株)】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道	高速自動車国道北海道縦貫自動車道函館名寄線	道央自動車道	443	S46-H24	100	212.4	34.1	7,248.0	74.9
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線	札幌自動車道						1,363.3	14.0
	高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内釧路線、高速自動車国道北海道横断自動車道黒松内北見線	道東自動車道	244	S46-	91	88.4	14.1	3,438.6	35.5
	高速自動車国道東北縦貫自動車道弘前線	東京外環自動車道	698	S47-H5	100	1,538.9	247.1	2,494.0	25.7
		東北自動車道						8,843.6	91.4
	高速自動車国道東北縦貫自動車道八戸線	八戸自動車道	97	S61-H15	100	11.8	1.8	1,282.0	13.2
		青森自動車道						368.1	3.8
	高速自動車国道東北横断自動車道釜石秋田線	釜石自動車道	134	H3-14	100	31.9	5.1	228.0	2.3
		秋田自動車道						1,927.7	19.9
	高速自動車国道東北横断自動車道酒田線	山形自動車道	137	S56-H13	100	38.0	6.1	2,720.3	28.1
	高速自動車国道東北横断自動車道いわき新潟線	磐越自動車道	213	H2-9	100	77.6	12.4	4,431.0	45.8
	高速自動車国道日本海沿岸東北自動車道	日本海東北自動車道	76	H13-21	100	16.6	2.6	2,159.7	22.3
		秋田自動車道						302.0	3.1
	高速自動車国道東北中央自動車道相馬尾花沢線	東北中央自動車道	27	H14-	53	1.6	0.2	637.7	6.5
	高速自動車国道関越自動車道新潟線	関越自動車道	246	S46-	96	687.1	110.3	7,695.9	79.5
	高速自動車国道関越自動車道上越線	上信越自動車道	203	H4-11	100	239.1	38.3	6,173.5	63.8
	高速自動車国道常磐自動車道	東京外環自動車道	313	S56-H26	100	704.3	113.1	1,306.0	13.5
		常磐自動車道						6,858.1	70.9
	高速自動車国道東関東自動車道千葉富津線	館山自動車道	55	H7-19	100	98.4	15.8	1,389.0	14.3
	高速自動車国道東関東自動車道水戸線	東京外環自動車道	87	S46-	61	380.7	61.1	429.5	4.4
東関東自動車道		2,870.5						29.6	
高速自動車国道北関東自動車道	北関東自動車道	135	H11-22	100	227.1	36.4	4,601.0	47.5	
高速自動車国道中央自動車道長野線(安曇野市から千曲市まで(安曇野ICを含まない。))	長野自動車道	43	H4	100	62.8	10.0	1,362.3	14.0	
高速自動車国道北陸自動車道(新潟市から富山県下新川郡朝日町まで(朝日ICを含まない。))	日本海東北自動車道・北陸自動車道	205	S53-H9	100	204.4	32.8	5,561.0	57.5	
高速自動車国道成田国際空港線	新空港自動車道	4	S53	100	2.6	0.4	39.8	0.4	

1-1 【東日本高速道路株】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道以外	一般国道1号(横浜新道)、 一般国道16号(横浜新道)	横浜新道	11.3	S34-49	100	113.6	18.2	1,086.8	11.2
	一般国道6号(東水戸道路)	東水戸道路	10.2	H8-11	100	7.7	1.2	26.3	0.2
	一般国道6号(仙台東部道路)	仙台東部道路	24.8	H5-13	100	68.4	10.9	548.8	5.6
	一般国道6号(仙台南部道路)	仙台南部道路	12.2	S55-H13	100	21.4	3.4	151.3	1.5
	一般国道7号(秋田外環状道路)	秋田自動車道	9.5	H9	100	2.8	0.4	12.0	0.1
	一般国道7号(琴丘能代道路)	秋田自動車道	17.1	H4-13	100	1.6	0.2	9.2	0.0
	一般国道13号(米沢南陽道路)	米沢南陽道路	8.8	H9	100	1.1	0.1	13.7	0.1
	一般国道13号(湯沢横手道路)	湯沢横手道路	14.5	H6-9	100	2.6	0.4	12.3	0.1
	一般国道14号(京葉道路)、 一般国道16号(京葉道路)	京葉道路	36.7	S35-55	100	197.5	31.7	2,463.9	25.4
	一般国道16号(横浜横須賀道路)	横浜横須賀道路	36.9	S54-H20	100	140.9	22.6	3,330.2	34.4
	一般国道45号 (三陸縦貫自動車道(仙塩道路))	三陸自動車道 (仙塩道路)	7.8	H8	100	20.3	3.2	54.6	0.5
	一般国道45号(百石道路)	百石道路	6.1	H6	100	0.6	0.1	7.4	0.0
	一般国道47号(仙台北部道路)	仙台北部道路	13.5	H14-H25	98	20.1	3.2	59.1	0.6
	一般国道126号(千葉東金道路)	千葉東金道路・圏央道	32.2	S53-H9	100	52.3	8.4	529.9	5.4
	一般国道127号(富津館山道路)	富津館山道路	19.2	H10-16	100	12.1	1.9	24.5	0.2
	一般国道233号 (深川・留萌自動車道(深川沼田道路))	深川留萌自動車道	4.4	H10	100	△ 1.5	△ 0.2	5.5	0.0
	一般国道235号(日高自動車道 (苫東道路))	日高自動車道	4.0	H9	100	1.4	0.2	3.8	0.0
	一般国道409号 (東京湾横断・木更津東金道路)	東京湾アクアライン	22.2	H7-9	100	136.2	21.8	7,304.8	27.1
		東京湾アクアライン連絡道						498.7	5.1
	一般国道468号(東京湾横断・木更津東金道路)	圏央道 (東金JCT～木更津JCT)	50.0	H18-25	100			327.7	3.3
一般国道466号(第三京浜道路)	第三京浜道路	16.6	S39-40	100	84.0	13.4	1,499.8	15.5	
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) (あきる野市から成田市まで(あきる野ICを含む。))	圏央道 (あきる野～大栄JCT)	150.6	H7-	85	400.0	64.2	2,715.7	28.0	
総計			3,869	—	—	5,908.8	948.7	96,418.9	948.7

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-2 【中日本高速道路株】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道富士吉田線	中央自動車道	94	S42-	94	302.9	53.7	6,139.5	56.4
	高速自動車国道中央自動車道西宮線(大月市から東近江市まで(八日市ICを含む。))	中央自動車道	360	S39-57	100	665.1	117.9	5,397.4	49.6
		名神高速道路						1,617.3	14.8
	高速自動車国道中央自動車道長野線(岡谷市から安曇野市まで(安曇野ICを含む。))	長野自動車道	33	S60-63	100	69.5	12.3	871.8	8.0
	高速自動車国道第一東海自動車道	東名高速道路	347	S43-44	100	1,245.0	220.7	15,418.4	141.8
	高速自動車国道東海北陸自動車道	東海北陸自動車道	185	S60-H20	100	108.0	19.1	7,594.7	69.8
	高速自動車国道第二東海自動車道横浜名古屋線	新東名高速道路・伊勢湾岸自動車道(豊田東JCT~東海)	232	H9-	81	750.2	133.0	29,472.2	271.0
	高速自動車国道中部横断自動車道	中部横断自動車道	26	H13-	55	△ 2.0	△ 0.3	1,190.0	10.9
	高速自動車国道北陸自動車道(富山県下新川郡朝日町から米原市まで(朝日ICを含む。))	北陸自動車道	282	S47-58	100	333.6	59.1	5,135.0	47.2
	高速自動車国道近畿自動車道伊勢線	伊勢自動車道	69	S50-	85	94.0	16.6	1,286.3	11.8
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋亀山線	東名阪自動車道・名古屋第二環状自動車道	98	S45-H22	100	416.6	73.8	5,347.6	49.1
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(愛知県海部郡飛島村から甲賀市まで(甲賀土山ICを含まない。))	伊勢湾岸自動車道(飛島~四日市JCT)・新名神高速道路	37	H11-	58	129.9	23.0	4,713.9	43.3
	高速自動車国道近畿自動車道尾鷲多気線	紀勢自動車道	34	H17-24	100	13.2	2.3	975.9	8.9
高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(小浜市から敦賀市まで(小浜ICを含まない。))	舞鶴若狭自動車道	39	H26	100	8.2	1.4	1,253.9	11.5	
高速自動車国道以外	一般国道1号(新湘南バイパス)	新湘南バイパス	8.7	S62-	61	22.7	4.0	321.1	2.9
	一般国道1号(西湘バイパス)	西湘バイパス	14.5	S45-46	100	19.9	3.5	603.4	5.5
	一般国道138号(東富士五湖道路)	東富士五湖道路	18.0	S61-63	100	18.6	3.3	227.0	2.0
	一般国道271号(小田原厚木道路)	小田原厚木道路	31.7	S43	100	46.9	8.3	689.2	6.3
	一般国道302号(伊勢湾岸道路)	伊勢湾岸自動車道(東海~飛島)	6.1	S59-H9	100	211.7	37.5	1,701.7	15.6
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)(茅ヶ崎市から海老名市門沢橋まで及び海老名市中新田からあきる野市まで(あきる野ICを含まない。))	圏央道(茅ヶ崎JCT~寒川北、海老名北~あきる野)	44.0	H19-26	100	220.9	39.1	1,275.3	11.7
	一般国道475号(東海環状自動車道)(豊田市から四日市市まで)	東海環状自動車道	80.4	H16-	54	93.0	16.5	722.9	6.6
計(全国路線網)			2,039	—	—	4,768.9	845.7	91,955.6	845.7

1-2 【中日本高速道路株】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
一の路線	一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路))	中部縦貫自動車道(安房峠道路)	5.6	H9	100	2.0	0.0	12.8	0.0
総計			2,045	—	—	4,771.0	845.8	91,968.5	845.8

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。
 注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。
 注3) 営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。
 注4) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-3 【西日本高速道路株】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道	高速自動車国道中央自動車道西宮線(東近江市から西宮市まで(八日市ICを含まない。))	名神高速道路	105	S38-H15	100	525.0	89.1	7,248.7	69.4
	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線	西名阪自動車道	56	S43-62	100	337.0	57.2	1,295.0	12.4
	近畿自動車道	2,851.5						27.3	
	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(甲賀市から神戸市まで(甲賀土山ICを含む。))	新名神高速道路	28	H19-	26	84.0	14.2	2,312.4	22.1
	高速自動車国道近畿自動車道松原那智勝浦線	阪和自動車道	110	S49-H19	100	276.7	47.0	4,135.1	39.6
	高速自動車国道近畿自動車道敦賀線(三木市から小浜市まで(小浜ICを含む。))	舞鶴若狭自動車道	123	S61-H23	100	58.9	10.0	2,631.8	25.2
	高速自動車国道中国縦貫自動車道	中国自動車道	543	S44-57	100	451.6	76.6	8,753.4	83.8
	高速自動車国道山陽自動車道吹田山口線、高速自動車国道山陽自動車道宇部下関線	山陽自動車道	445	S56-H12	100	855.0	145.2	14,355.7	137.5
	高速自動車国道中国横断自動車道姫路鳥取線	播磨自動車道						13	H14-
	高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線	岡山自動車道	107	H元-8	100	40.4	6.8	1,125.9	10.7
	米子自動車道	1,563.0						14.9	
	高速自動車国道中国横断自動車道尾道松江線	松江自動車道	26	H12-14	100	21.6	3.6	271.8	2.6
	山陰自動車道	855.6						8.1	
	高速自動車国道山陰自動車道鳥取益田線	山陰自動車道	18	H18-21	100				
	高速自動車国道中国横断自動車道広島浜田線	広島自動車道	71	S59-H3	100	23.1	3.9	439.4	4.2
	浜田自動車道	682.1						6.5	
	高速自動車国道四国縦貫自動車道	徳島自動車道	237	S59-H16	100	183.5	31.1	2,830.7	27.1
	高速自動車国道四国縦貫自動車道、高速自動車国道四国横断自動車道愛南大洲線	松山自動車道						3,920.1	37.5
	高速自動車国道四国横断自動車道阿南四万十線	高松自動車道	209	S62-	98	182.1	30.9	3,070.2	29.4
	高知自動車道	3,465.9						33.2	
	高速自動車国道九州縦貫自動車道鹿児島線	九州自動車道	345	S46-H7	100	800.7	135.9	7,537.2	72.2
	高速自動車国道九州縦貫自動車道宮崎線	宮崎自動車道	83	S50-56	100	59.5	10.1	860.8	8.2
	高速自動車国道九州横断自動車道長崎大分線	長崎自動車道	257	S57-H15	100	331.3	56.2	3,033.5	29.0
大分自動車道	3,735.9	35.7							
高速自動車国道東九州自動車道	東九州自動車道	205	H11-28	100	109.8	18.6	5,498.5	52.6	
高速自動車国道関西国際空港線	関西空港自動車道	7	H6	100	9.2	1.5	545.3	5.2	
高速自動車国道関門自動車道	関門橋	9	S48	100	19.7	3.3	417.3	3.9	
高速自動車国道沖縄自動車道	沖縄自動車道	57	S50-62	100	102.1	17.3	1,329.2	12.7	

平成28年度(2016年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-3 【西日本高速道路㈱】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道以外	一般国道1号(京滋バイパス)、一般国道478号(京滋バイパス)	京滋バイパス	23.9	S63-H15	100	149.9	25.4	1,386.5	13.2
	一般国道1号(第二京阪道路)	第二京阪道路	28.3	H14-21	100	250.6	42.5	2,043.5	19.5
	一般国道2号(第二神明道路)	第二神明道路	29.9	S44-H10	100	67.6	11.4	1,402.5	13.4
	一般国道2号(広島岩国道路)	広島岩国道路	16.2	S61-H2	100	46.8	7.9	694.7	6.6
	一般国道3号(南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))	南九州自動車道(八代日奈久道路)	12.0	H10-13	100	3.6	0.6	7.6	0.0
	一般国道3号(南九州西回り自動車道(市来~鹿児島西))	南九州自動車道(鹿児島道路)	21.3	H9-14	100	17.0	2.8	17.3	0.1
	一般国道9号(安来道路)	山陰道(安来道路)	19.1	H9-12	100	15.3	2.5	14.0	0.1
	一般国道9号(江津道路)	山陰道(江津道路)	14.5	H15	100	0.9	0.1	15.1	0.1
	一般国道10号(椎田道路)	椎田道路	10.3	H2	100	14.8	2.5	187.1	1.7
	一般国道10号(宇佐別府道路)	宇佐別府道路	22.7	H4-6	100	19.3	3.2	132.8	1.2
	一般国道10号(日出バイパス)	日出バイパス	9.0	H13	100	3.0	0.5	7.4	0.0
	一般国道10号(延岡南道路)	延岡南道路	3.7	H元	100	7.8	1.3	62.6	0.5
	一般国道10号(隼人道路)	隼人道路	7.3	H3	100	10.1	1.7	95.4	0.9
	一般国道11号(高松東道路)	高松自動車道	15.6	H9-12	100	22.3	3.7	37.5	0.3
	一般国道24号(京奈和自動車道(京奈道路))	京奈和自動車道(京奈道路)	17.0	S63-H12	100	27.0	4.5	522.6	5.0
	一般国道34号(長崎バイパス)	長崎バイパス	15.1	S42-H2	100	21.0	3.5	336.8	3.2
	一般国道42号(湯浅御坊道路)	湯浅御坊道路	19.4	H6-7	100	23.2	3.9	98.4	0.9
	一般国道196号(今治・小松自動車道(今治小松道路))	今治小松自動車道	13.0	H11-13	100	2.9	0.5	10.7	0.1
	一般国道478号(京都縦貫自動車道)	京都縦貫自動車道	41.1	S62-H25	100	64.3	10.9	1,018.3	9.7
	一般国道481号(関西国際空港連絡橋)	関西国際空港連絡橋	4.6	H21	100	25.8	4.3	290.0	2.7
一般国道497号(西九州自動車道(武雄佐世保道路))	西九州自動車道(武雄佐世保道路)	22.0	S62-H元	100	19.8	3.3	335.1	3.2	
一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路))	西九州自動車道(佐世保道路)	7.8	H10-21	100	8.0	1.3	10.3	0.0	
計(全国路線網)			3,428	—	—	5,294.2	899.1	93,846.6	899.1

1-3 【西日本高速道路㈱】

[単位: 億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
一の路線	一般国道31号(広島呉道路)	広島呉道路	15.9	S49-H8	100	25.4	0.7	498.9	0.7
	一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路)	南阪奈道路	12.3	H15	100	16.4	0.0	166.7	0.0
総計			3,456	—	—	5,336.2	899.8	94,512.3	899.8

- 注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。
 注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。従って、新直轄区間の延長は含まない。
 注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。
 注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 金利の路線別配賦(試算値)

1-4 【本州四国連絡高速道路株】

[単位:億円(消費税抜き)]

	路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
						営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
高速自動車国道以外	一般国道28号 (本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))	神戸淡路鳴門自動車道	89.0	S60-H10	100	254.8	52.5	11,770.9	48.0
	一般国道30号 (本州四国連絡道路(児島・坂出ルート))	瀬戸中央自動車道	37.3	S63	100	138.9	28.6	5,325.6	21.7
	一般国道317号 (本州四国連絡道路(尾道・今治ルート))	西瀬戸自動車道	46.6	S54-H11	100	58.9	12.1	5,756.5	23.4
計			172.9	—	—	452.7	93.2	22,853.1	93.2

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)路線ごとの「金利」は、本四高速道路の負担金利額をそれぞれ営業収支差、資産価額により按分して配賦したものである。

注3)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注4)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注5)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-5 【首都高速道路株】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
					営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
都道首都高速1号線 等	高速1号上野線・高速都心環状線・高速1号羽田線 等	318.9	S37-	94	1,894.8	480.9	58,024.8	480.9

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

1-6 【阪神高速道路株】

[単位:億円(消費税抜き)]

路線名	道路名	供用延長(km)	開通年度	開通率(%)	営業収支差に基づく配賦		資産価額に基づく配賦	
					営業収支差	金利(試算)	資産価額	金利(試算)
大阪府道高速大阪池田線 等	1号環状線・11号池田線 等	250.5	S39-	88	1,271.9	359.4	29,761.8	359.4
京都市道高速道路1号線 等	新十条通 等	10.1	H19-H22	100	27.0	14.7	1,236.8	14.7
計		260.6	—	—	1,298.9	374.1	30,998.7	374.1

注1)「金利」は高速道路機構支払金利(建設仮勘定分を除く)である。

注2)「開通率」は会社の事業許可延長に対する供用延長の比率である。

注3)営業収支差は料金収入から管理費を除いたものである。

注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

平成28年度(2016年度) 建設コストの計画と実績

債務引受限度額と会社から引き受けた債務との対比を下記に示します。

平成28年度に完了した事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、現地状況に合わせた工法の見直し、地元・関係機関等との協議による見直し、工事数量等の確定(精算)によるものです。

平成28年度に完了しなかった事業について、計画と実績に差が生じた主な理由は、新設・改築事業では附帯工事等の工事が平成29年度以降に残ったこと、利便増進事業(スマートIC)が平成29年度以降計画的に実施されること、修繕事業や特定更新等工事では工事発注の見直し等で機構への帰属を平成29年度以降としたこと、災害復旧事業では過去の実績をもとに、料金徴収期間満了までに必要となる額が債務引受限度額として計上されていることによるものです。

[単位:百万円(消費税込み)]

	道路名(区間名)	債務引受限度額(計画)(A)	債務引受額(実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成27年度まで(B)	平成28年度(C)	計(D)=(B)+(C)		
東日本高速道路株式会社	北関東自動車道 足利IC～岩舟JCT新設事業	66,680	61,135	5,251	66,387	△ 293	・差額は、工事等数量の精査等による減
	東北縦貫自動車道弘前線 福島JCT新設事業	9,532	0	7,530	7,530	△ 2,001	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用 ・平成28年度の債務引受額は、福島JCT供用に要した費用
	東関東自動車道水戸線 大栄JCT新設事業	4,848	3,695	1,041	4,736	△ 111	・差額は、工事等数量の精査等による減
	北陸自動車道 糸魚川IC～朝日IC改築事業	8,116	0	6,807	6,807	△ 1,308	・差額は、波浪対策の見直し及びその他数量の精査等による減
	東日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る高速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	41,370	17,866	5,054	22,920	△ 18,449	・差額は、施工中のスマートICに要する費用 ・平成28年度の債務引受額は、2箇所の供用及び3箇所の本完了に要した費用
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 五霞IC～つくば中央IC新設事業	43,802	19,402	15,964	35,367	△ 8,435	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用 ・平成28年度の債務引受額は、境古河IC～つくば中央IC間供用に要した費用
	北海道縦貫自動車道函館名寄線等 平成28年度修繕事業	115,691	—	88,927	88,927	△ 26,763	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用
	北海道縦貫自動車道函館名寄線等 災害復旧事業	86,487	29,133	83	29,216	△ 57,270	・差額は、平成29年度以降の災害対応に要する費用
	北海道縦貫自動車道函館名寄線等 平成28年度特定更新等工事	47,716	—	1,450	1,450	△ 46,265	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用
中日本高速道路株式会社	中部横断自動車道 六郷IC～増穂IC新設事業	78,894	887	68,633	69,520	△ 9,373	・差額は、財産整理等の残事業に要する費用 ・平成28年度の債務引受額は、六郷IC～増穂IC間供用に要した費用
	近畿自動車道名古屋神戸線 四日市JCT～新四日市JCT新設事業	57,225	0	45,379	45,379	△ 11,845	・差額は、財産整理等の残事業に要する費用 ・平成28年度の債務引受額は、四日市JCT～新四日市JCT間供用に要した費用
	一般国道475号(東海環状自動車道) 美濃関JCT改築事業	674	446	165	611	△ 62	・差額は、工事等数量の精査等による減
	中日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る高速道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	64,272	12,211	8,715	20,926	△ 43,345	・差額は、施工中のスマートICに要する費用 ・平成28年度の債務引受額は、6箇所の供用及び1箇所の本完了に要した費用
	一般国道475号(東海環状自動車道) 東員IC～新四日市JCT新設事業	3,145	0	2,294	2,294	△ 850	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用 ・平成28年度の債務引受額は、東員IC～新四日市JCT間供用に要した費用
	中央自動車道富士吉田線等 平成28年度修繕事業	65,252	—	59,504	59,504	△ 5,747	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用
	中央自動車道富士吉田線等 災害復旧事業	81,535	19,197	330	19,527	△ 62,007	・差額は、平成29年度以降の災害対応に要する費用
	中央自動車道富士吉田線等 平成28年度特定更新等工事	14,537	—	4,171	4,171	△ 10,365	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用
	一般国道158号(中部縦貫自動車道(安房峠道路)) 平成28年度修繕事業	715	—	249	249	△ 465	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する費用
西日本高速道路株式会社	東九州自動車道 行橋IC～みやこ豊津IC新設事業	50,573	39,109	10,994	50,104	△ 468	・差額は、工事等数量の精査等による減
	東九州自動車道 椎田南IC～宇佐IC新設事業	100,141	61,020	22,030	83,050	△ 17,090	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用 ・平成28年度の債務引受額は、椎田南IC～豊前IC間供用に要した費用
	中央自動車道西宮線 栗東湖南IC新設事業	1,663	943	6	949	△ 713	・差額は、設備配置の見直し及びその他数量の精査等による減

注1) 平成28年度(2016年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、□は、平成28年度に完了している新設・改築事業である。

注2) 端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3) 修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成28年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成27年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。

注4) 特定更新等工事に関する債務引受限度額(計画)は、平成28年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成27年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額の差額についてのコメント
			平成27年度 まで (B)	平成28年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
西日本 高速道路 路線	近畿自動車道松原那智勝浦線 和歌山JCT新設事業	12,945	0	10,334	10,334	△ 2,610	・差額は、附帯工事等の残事業に要する費用 ・平成28年度の債務引受額は、和歌山JCT供用に要した費用
	中国縦貫自動車道 小郡JCT新設事業	1,540	945	40	985	△ 554	・差額は、工事等数量の精査等による減
	四国縦貫自動車道 松山IC新設事業	1,396	969	47	1,017	△ 378	・差額は、工事等数量の精査等による減
	西日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る高速 道路利便増進事業に関する計画(スマートIC)	35,034	12,069	3,406	15,476	△ 19,557	・差額は、施工中のスマートICに要する費用 ・平成28年度の債務引受額は、3箇所の供用及び1箇所の本 完了に要した費用
	中国縦貫自動車道 勝央JCT新設事業	878	848	19	867	△ 10	・差額は、工事等数量の精査等による減
	中央自動車道西宮線等 平成28年度修繕事業	117,011	—	83,973	83,973	△ 33,037	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する 費用
	中央自動車道西宮線等 災害復旧事業	108,047	9,686	700	10,386	△ 97,660	・差額は、平成29年度以降の災害対応に要する費用
	中央自動車道西宮線等 平成28年度特定更新等工事	44,721	—	7,861	7,861	△ 36,859	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債 務引受する費用
	一般国道31号(広島呉道路) 平成28年度修繕事業	3,469	—	2,629	2,629	△ 839	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する 費用
	一般国道165号及び一般国道166号(南阪奈道路) 平成28年度修繕事業	204	—	92	92	△ 110	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する 費用
本州 四国 道路 路線	一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))等 平成28年度修繕事業	10,909	—	6,957	6,957	△ 3,951	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する 費用
	一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))等 災害復旧事業	12,390	314	164	479	△ 11,910	・差額は、平成29年度以降の災害対応に要する費用
	一般国道28号(本州四国連絡道路(神戸・鳴門ルート))等 平成28年度特定更新等工事	879	—	53	53	△ 825	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債 務引受する費用
首都 高速 道路 路線	横浜市道高速横浜環状北線 港北JCT～生麦JCT新設事業	431,543	16,230	343,330	359,560	△ 71,982	・差額は、附帯工事等および馬場出入口工事の残事業に要す る費用 ・平成28年度の債務引受額は、港北IC(下り)出口、港北IC入 口の切替、及び港北JCT～生麦JCT間供用に要した費用
	都道首都高速1号線等 平成28年度修繕事業	68,998	—	36,948	36,948	△ 32,049	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する 費用
	都道首都高速1号線等 平成28年度特定更新等工事	68,001	—	12,001	12,001	△ 55,999	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債 務引受する費用
阪神 高速 道路 路線	大阪府道高速大和川線 三宅JCT～三宅西新設事業	243,287	21,589	53,687	75,277	△ 168,009	・差額は、施工中の本線工事等に要する費用 ・平成28年度の債務引受額は、三宅JCT～鉄砲間供用に要した 費用
	大阪府道高速大阪池田線等 平成28年度修繕事業	19,691	—	12,425	12,425	△ 7,265	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する 費用
	大阪府道高速大阪池田線等 平成28年度特定更新等工事	28,159	—	255	255	△ 27,903	・差額は、特定更新等工事計画の見直しにより次年度以降に債 務引受する費用
	京都市道高速道路1号線等 平成28年度修繕事業	223	—	107	107	△ 115	・差額は、修繕計画の見直しにより次年度以降に債務引受する 費用

注1)平成28年度(2016年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めずべて記載している。なお、□は、平成28年度に完了している新設・改築事業である。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3)修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成28年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成27年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。

注4)特定更新等工事に関する債務引受限度額(計画)は、平成28年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成27年度までの債務引受額(実績)を控除している額である。

平成28年度(2016年度) 管理コストの計画と実績(高速道路会社情報の総括)

【管理コスト】

[単位:億円(消費税抜き)]

	実績(A)	計画(B)	(A)-(B)	(A)÷(B)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路株	1,918	1,950	△ 32	98.4%	1,756	一般管理費等の減
中日本高速道路株	1,512	1,429	83	105.8%	1,383	維持修繕費の増
西日本高速道路株	1,722	1,657	65	103.9%	1,637	維持修繕費の増
本州四国連絡高速道路株	173	167	6	103.6%	162	維持修繕費の増
首都高速道路株	799	781	18	102.3%	660	維持修繕費の増
阪神高速道路株	432	445	△ 13	97.1%	417	管理業務費及び一般管理費等の減

注1)実績(A)及び計画(B)は、下記参考のうち、「①維持修繕費」、「②管理業務費」、「③一般管理費等」を合計したものである。

注2)ETCマイレージ割引費用等は含まれていない。

注3)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

<参 考>

【①維持修繕費】

[単位:億円(消費税抜き)]

	実績(A)	計画(B)	(A)-(B)	(A)÷(B)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路株	902	856	46	105.4%	775	雪氷対策費用の増 等
中日本高速道路株	772	627	145	123.2%	672	点検結果等に基づく補修の増 等
西日本高速道路株	814	729	85	111.7%	772	点検結果等に基づく補修の増 等
本州四国連絡高速道路株	60	50	10	120.0%	54	点検結果等に基づく補修の増 等
首都高速道路株	407	366	41	111.2%	306	点検結果等に基づく補修の増 等
阪神高速道路株	199	184	15	108.2%	179	点検結果等に基づく補修の増 等

【②管理業務費】

[単位:億円(消費税抜き)]

	実績(A)	計画(B)	(A)-(B)	(A)÷(B)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路株	569	571	△ 2	99.6%	555	営繕施設補修費の減 等
中日本高速道路株	384	358	26	107.4%	378	ETC利用に応じたETCカードの手数料の増 等
西日本高速道路株	495	477	18	103.8%	492	ETC利用に応じたETCカードの手数料の増 等
本州四国連絡高速道路株	47	43	4	109.3%	45	ETC利用に応じたETCカードの手数料の増 等
首都高速道路株	213	216	△ 3	98.6%	198	ETC利用に応じたETCカードの手数料の減 等
阪神高速道路株	126	133	△ 7	94.7%	125	ETC利用に応じたETCカードの手数料の減 等

【③一般管理費等】

[単位:億円(消費税抜き)]

	実績(A)	計画(B)	(A)-(B)	(A)÷(B)	※参考 前年度実績	計画と実績に差異が生じた項目、主な理由等
東日本高速道路株	447	523	△ 76	85.5%	425	料金收受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減 等
中日本高速道路株	355	445	△ 90	79.8%	332	料金收受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減 等
西日本高速道路株	412	451	△ 39	91.4%	373	料金收受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減 等
本州四国連絡高速道路株	66	73	△ 7	90.4%	63	料金收受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減 等
首都高速道路株	177	199	△ 22	88.9%	154	料金收受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減 等
阪神高速道路株	107	128	△ 21	83.6%	111	料金收受機械等の更新サイクル見直しによる減価償却費の減 等

平成28年度(2016年度) アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【利用者視点】

会社	指標分類 ■総合顧客満足度(単位:ポイント)				会社コメント
	CS調査等で把握するお客様の満足度[5段階評価] (目標の下段の()内は中期目標※1)				
	27年度実績	28年度目標	28年度実績	29年度目標	
東日本 高速道路㈱	3.6ポイント	3.6ポイント	3.7ポイント <3.5ポイント>	<3.6ポイント> (<3.6ポイント>)	快適な路面を保つための舗装補修、付加車線設置等の渋滞対策及び各種交通安全対策等を継続的に取り組んだことにより目標を達成した。引き続き、お客様の声を利用者サービスに反映するなど、更なる向上を目指す。
中日本 高速道路㈱	3.6ポイント	3.6ポイント	3.7ポイント <3.6ポイント>	<3.6ポイント> (<3.6ポイント>)	快適な路面を保つための舗装補修、付加車線設置などの渋滞対策、工事の規制集約化による渋滞損失時間の減少、地域と連携した魅力ある休憩施設活動、お手洗いの美化などを継続して取組み目標を達成した。引き続き、お客様の声を利用者サービスに反映するなど、更なる向上を目指す。
西日本 高速道路㈱	3.6ポイント	3.6ポイント	3.6ポイント <3.5ポイント>	<3.6ポイント> (<3.6ポイント>)	快適な路面を保つための舗装補修、標識や路面標示などの各種交通安全対策や休憩施設のお手洗い改装等を、継続的に取り組んだことにより目標を達成した。引き続き、お客様の声を利用者サービスに反映するなど、更なる向上を目指す。
本州四国連絡 高速道路㈱	4.0ポイント	4.0ポイント	4.1ポイント	4.1ポイント (4.0ポイント)	快適な路面を保つための舗装補修、各種交通安全対策、異常気象時における道路情報の提供、休憩施設のリニューアルやトイレ改修などを継続的に実施したことにより、目標を達成した。引き続き、お客様の声を利用者サービスに反映するなど、更なる向上を目指す。
首都 高速道路㈱	3.5ポイント	3.5ポイント	3.4ポイント	3.5ポイント (3.5ポイント)	総合顧客満足度が3.4と目標を達成できなかったが、平成28年4月の料金改定の影響でお客様の目がより厳しくなったためであると推測される。ただし、民営化以降2番目に高い数値であり、総合顧客満足度は着実に上昇している。引き続き、お客様の声を各種サービスに反映するなど、更なる向上を目指す。
阪神 高速道路㈱	3.6ポイント	3.7ポイント	3.6ポイント	3.7ポイント (3.7ポイント)	お客様のご要望に対し道路案内標識等の表示改善やPA施設の改良を行ったり、CS向上に向けた取り組みを行ったが、目標を達成できなかった。引き続き、お客様の声を利用者サービスに反映するなど、更なる向上を目指す。

※1 中期目標の年次は、東日本高速道路㈱平成32年度、中日本高速道路㈱平成32年度、西日本高速道路㈱平成32年度、本州四国連絡高速道路㈱平成30年度、首都高速道路㈱平成29年度、阪神高速道路㈱平成31年度。

※2 東日本高速道路㈱、中日本高速道路㈱、西日本高速道路㈱における<>内の数字は、新調査方法(お客様の利用実態を踏まえて、調査方法の見直しを実施)による数値。

会社	指標分類 ■年間利用台数(単位:百万台)			会社コメント
	支払料金所における年間の通行台数			
	27年度実績	28年度実績	29年度目標	
東日本 高速道路㈱	1,026百万台	1,045百万台	1,056百万台	地域の特性にあった各種企画割引の実施等の高速道路の利用促進のための取組みや圏央道の新規供用の効果により利用台数は増加した。引き続き、多様な料金サービスの提供の取組等により、更なる高速道路の利用促進を図る。
中日本 高速道路㈱	692百万台	706百万台	713百万台	平成28年度は、新東名高速道路や圏央道の整備によるネットワーク効果の影響により利用台数が増加した。また、企画割引の販売数も増加傾向にある。引き続き、多様な料金サービスの提供の取組みにより、更なる高速道路の利用促進を図る。
西日本 高速道路㈱	981百万台	997百万台	1,008百万台	各種企画割引の取組み等の高速道路の利用促進に努めたこと等により利用台数は増加した。引き続き、多様な料金サービスの提供の取組等により、更なる高速道路の利用促進を図る。
本州四国連絡 高速道路㈱	41.9百万台	42.2百万台	42.3百万台	「ETC休日小型車上限1,000円」施策終了後の平成24年度より5年連続で過去最高を更新中。引き続き関係自治体と連携し、地域活性化と利用促進に努める。
首都 高速道路㈱	354百万台	359百万台	367百万台	景気の緩やかな回復基調の下、平成28年4月からの首都圏の新たな高速道路料金体系への移行に伴う利用の変化及び平成27年3月に全線開通した中央環状線の引き続きのネットワーク整備効果等により増加した。引き続き、多様なお客様サービスの提供の取組等により、更なる高速道路の利用促進を図る。
阪神 高速道路㈱	273百万台	275百万台	277百万台	関西圏の経済が緩やかな回復傾向にあることの影響等から、利用台数は増加した。引き続き、多様な料金サービスの提供の取組等により、更なる高速道路の利用促進を図る。

※ 首都高速道路㈱・阪神高速道路㈱は支払い料金所を複数回通過した場合でも「1台」として集計。

平成28年度(2016年度) アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

指標分類	■本線渋滞(渋滞損失時間、ピンポイント渋滞対策実施箇所)						
	渋滞損失時間(単位:万台・時) 渋滞が発生することによる利用者の年間損失時間※1 ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所) 1段目は新規着手箇所数、2段目の()内は対策実施箇所数、3段目の[]内は完了箇所数						
	渋滞損失時間			ピンポイント渋滞対策実施箇所			
会社	27年度実績	28年度実績	29年度目標	27年度実績	28年度実績	29年度目標※2	会社コメント
東日本 高速道路㈱	618 万台・時	604 万台・時	590 万台・時	0箇所 (2箇所) [0箇所]	3箇所 (5箇所) [0箇所]	1箇所	付加車線の設置、自発光式ペースメーカーによる速度回復対策等の渋滞緩和対策の実施に加え、平成27年10月の圏央道(関越道～東北道間)の開通による交通動向の変化等により、本線渋滞損失時間が減少した。また、関越道の高坂SA付近(上下線各1か所)及び、京葉道路の船橋～武石間(上り線1か所)でピンポイント渋滞対策に新たに着手した。引き続き、効率的かつ効果的な渋滞対策を行っていく。
中日本 高速道路㈱	1,057 万台・時	1,040 万台・時	1,029 万台・時	5箇所 (5箇所) [2箇所]	3箇所 (6箇所) [3箇所]	1箇所	ランプ部の暫定2車線運用(東名 海老名JCT 内回り)などの渋滞対策に加え、新東名(愛知県区間)の開通による交通動向の変化等により、本線渋滞損失時間が減少した。また、中央道 相模湖付近 下り線の付加車線設置、東名阪 四日市IC付近 上り線の暫定3車線運用のピンポイント渋滞対策に新たに着手した。引き続き、効率的かつ効果的な渋滞対策を行っていく。
西日本 高速道路㈱	526 万台・時	554 万台・時	518 万台・時	0箇所 (0箇所) [0箇所]	0箇所 (0箇所) [0箇所]	1箇所	・車線規制を伴う工事(舗装補修工事、構造物補修等)等の増加の影響などにより、本線渋滞損失時間が増加した。 ・熊本地震の復旧工事にもともない工事渋滞が増加した(復旧工事による増 +36万台・時)。引き続き、効率的かつ効果的な渋滞対策を行っていく。
本州四国連絡 高速道路㈱	4 万台・時	4 万台・時	4 万台・時	- (-) [-]	- (-) [-]	-	繁忙期間に渋滞予測情報の提供を行ったことに加え、シルバーウィークが無かったこともあり、繁忙期間中の渋滞損失時間は減少した。一方、スマートIC新設に伴う終日車線規制が3月の3連休と重複した結果、路上工事による渋滞が発生し、平成27年度と同じ結果となった。引き続き、効率的かつ効果的な渋滞対策を行っていく。
首都 高速道路㈱	2,190 万台・時	2,300 万台・時	2,280 万台・時	2箇所 (4箇所) [0箇所]	0箇所 (4箇所) [0箇所]	0箇所	「首都高 快適走行ビジョン」に基づき実施した各種渋滞対策により、渋滞削減効果が見られた箇所があったものの、交通量の増加の影響もあり、本線渋滞損失時間は増加した。引き続き、効率的かつ効果的な渋滞対策を行っていく。
阪神 高速道路㈱	919 万台・時	1,001 万台・時	907 万台・時	0箇所 (1箇所) [0箇所]	0箇所 (1箇所) [0箇所]	1箇所	平成27年度設置の速度回復誘導灯の渋滞緩和効果を向上させるための運用改善、住吉浜出口の2車線化、カラー舗装等による分合流の円滑化等を実施したものの、交通量の増加の影響が大きく、本線渋滞損失時間は増加した。引き続き、効率的かつ効果的な渋滞対策を行っていく。

※1 東日本高速道路㈱、中日本高速道路㈱、西日本高速道路㈱の数値は、1/1～12/31間の年間値。

※2 ピンポイント渋滞対策実施箇所における平成29年度の目標値は、新規着手箇所数について設定している。

指標分類	■路上工事(路上工事による渋滞損失時間、交通規制時間)						
	路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時) 路上工事に起因する渋滞が発生したことによる利用者の年間損失時間※1※2 交通規制時間(単位:時間/km) 上段は道路1kmあたりの路上工事に伴う交通規制時間、下段の()内は時間集中工事時間を除く時間※3						
	路上工事による渋滞損失時間			交通規制時間			
会社	27年度実績	28年度実績	29年度目標	27年度実績	28年度実績	29年度目標※4	会社コメント
東日本 高速道路㈱	16万台・時	14万台・時	14万台・時	83時間/km (83時間/km)	90時間/km (90時間/km)	90時間/km	渋滞が発生しない規制時間帯での工事の実施等の工夫を行った結果、工事渋滞損失時間については減少した。 工事規制の統合を考慮した発注計画の立案や工事工程の調整等により車線規制件数の削減に努めたが、現地調査による舗装補修延長の増加等に伴い、路上工事時間は増加した。引き続き、お客様への影響が最小限となるように、工事の集約等による取組みを行っていく。
中日本 高速道路㈱	188万台・時	173万台・時	173万台・時	118時間/km (113時間/km)	86時間/km (79時間/km)	86時間/km	路上工事における交通規制時間について、集中工事などにより工事の集約化を図ったことにより、渋滞損失時間、交通規制時間がともに減少した。引き続き、お客様への影響が最小限となるように、工事の集約等による取組みを行っていく。
西日本 高速道路㈱	62万台・時	104万台・時	68万台・時	105時間/km (90時間/km)	105時間/km (83時間/km)	105時間/km	路上工事による損失時間は集中工事に伴う渋滞は減少したが熊本地震の復旧工事の影響により増加した。 交通規制時間は熊本地震による規制があったものの複数工事の規制集約化などの時間削減への取組みを実施した結果、交通規制時間は平成27年度と同様となった。引き続き、お客様への影響が最小限となるように、工事の集約等による取組みを行っていく。
本州四国連絡 高速道路㈱	0万台・時	2万台・時	2万台・時	115時間/km (115時間/km)	123時間/km (123時間/km)	115時間/km	スマートIC新設に伴う終日車線規制が3月の3連休と重複した結果、路上工事による渋滞が発生した。 複数工事の規制を集約するなど、規制時間及び回数の削減に努めたため、路上工事時間が増加した。引き続き、お客様への影響が最小限となるように、工事の集約等による取組みを行っていく。
首都 高速道路㈱	125万台・時	147万台・時	136万台・時	214時間/km (212時間/km)	211時間/km (210時間/km)	220時間/km	補修工事が増加する一方で、同一作業帯内で複数工事を実施する工事調整を進めたこと、また、昼夜連続した集中工事長時間規制工事を実施したことにより、路上工事時間は平成27年度と同様である。引き続き、お客様への影響が最小限となるように、工事の集約等による取組みを行っていく。
阪神 高速道路㈱	24万台・時	21万台・時	21万台・時	170時間/km (147時間/km)	144時間/km (138時間/km)	144時間/km	規制の調整や、ホームページ・横断幕等による事前広報を行った結果、工事渋滞損失時間が前年度に対して減少した。フレッシュアップ工事や規制調整による工事の集約化等により、路上工事時間が平成27年度に対して減少した。引き続き、お客様への影響が最小限となるように、工事の集約等による取組みを行っていく。

※1 東日本高速道路㈱、中日本高速道路㈱、西日本高速道路㈱の数値は、1/1～12/31間の年間値。

※2 首都高速道路㈱、阪神高速道路㈱については、本線渋滞損失時間に全体の渋滞量(渋滞距離と渋滞時間を乗じたもの)に対する路上工事に起因する渋滞量の割合を乗じたもの。

※3 集中工事を除いた路上工事時間とは、お客様が迂回や時間・日程調整など回避行動をとることができるよう区間・期間を事前に広く広報した上で行う工事を除いた路上工事時間である。

※4 工事規制時間における平成29年度の目標値は、道路1kmあたりの路上工事に伴う交通規制時間について設定している。

平成28年度(2016年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

会社	指標分類 ■ 通行止め時間(単位:時間)						29年度目標	会社コメント
	雨、雪、事故、工事等に伴う年間の平均通行止め時間							
	27年度実績		28年度実績		29年度目標			
	主な要因		主な要因					
東日本 高速道路㈱	30時間	災害・悪天候	6	29時間	災害・悪天候	5	38時間	平成28年12月の北海道における大雪に起因する事故に伴う通行止めによる増加要因があったものの、工事による通行止めが減少したことにより、全体の通行止め時間が減少した。なお、平成29年度の目標設定にあたっては平成27・28年度の災害・悪天候が比較的少なかったため、平成26年度以前の実績を考慮している。引き続き、工事による通行止めを必要最小限に留める等、通行止め時間の減少に努める。
		事故・その他	4		事故・その他	6		
		工事	20		工事	18		
中日本 高速道路㈱	22時間	災害・悪天候	6	15時間	災害・悪天候	2	15時間	「安全性向上3ヶ年計画」の対策工事完了により、工事通行止めが減少したが、新規開通(中部横断道など)に伴い通行止めを実施したため、工事通行止めが多くの割合を占めた。引き続き、工事による通行止めを必要最小限に留める等、通行止め時間の減少に努める。
		事故・その他	1		事故・その他	2		
		工事	15		工事	11		
西日本 高速道路㈱	59時間	災害・悪天候	33	53時間	災害・悪天候	22	50時間	雪、風による通行止めが減ったため、通行止め時間は減少した。引き続き、工事による通行止めを必要最小限に留める等、通行止め時間の減少に努める。
		事故・その他	2		事故・その他	2		
		工事	24		工事	29		
本州四国連絡 高速道路㈱	13時間	災害・悪天候	12	4時間	災害・悪天候	2	13時間	台風等による通行止めの区間が短く、かつ長時間に至らなかったことから、通行止め時間は減少した。引き続き、工事による通行止めを必要最小限に留める等、通行止め時間の減少に努める。
		事故・その他	1		事故・その他	2		
		工事	0		工事	0		
首都 高速道路㈱	5時間	災害・悪天候	2	4時間	災害・悪天候	0	6時間	降雨・悪天候時における道路維持管理体制の強化により、前年度から約2割減少。横浜環状北線の新規供用等に伴い、必要な通行止め工事を実施したことにより、工事については増加した。なお、平成28年度の災害・悪天候の実績はほぼなかったが、平成29年度の目標設定にあたっては平成27年度以前の実績も考慮している。引き続き、工事による通行止めを必要最小限に留める等、通行止め時間の減少に努める。
		事故・その他	1		事故・その他	1		
		工事	2		工事	3		
阪神 高速道路㈱	25時間	災害・悪天候	4	10時間	災害・悪天候	0	10時間	自然災害による通行止めがほぼ生じなかったこと、工事による通行止めが半減したことにより、全体の通行止め時間は減少した。引き続き、工事による通行止めを必要最小限に留める等、通行止め時間の減少に努める。
		事故・その他	0		事故・その他	1		
		工事	21		工事	9		

※ 上下線別の通行止め時間に距離を乗じた年間のべ時間・距離を営業延長で除算したもの。

会社	指標分類 ■ ETC2.0利用率(単位:%)			会社コメント
	全通行台数(総入口交通量)に占めるETC2.0利用台数の割合			
	27年度実績	28年度実績	29年度目標	
東日本 高速道路㈱	1.5%	11.6%	16.5%	ETC2.0割引に加え、車載器購入助成キャンペーン等の効果により、利用率が増加した。引き続き、普及促進に向けて広報活動等を実施する。
中日本 高速道路㈱	1.7%	12.9%	16.3%	ETC2.0割引に加え、車載器購入助成キャンペーン等の効果により、利用率が増加した。引き続き、普及促進に向けて広報活動等を実施する。
西日本 高速道路㈱	1.0%	11.7%	15.1%	ETC2.0割引に加え、車載器購入助成キャンペーン等の効果により、利用率が増加した。引き続き、普及促進に向けて広報活動等を実施する。
本州四国連絡 高速道路㈱	1.1%	13.8%	19.0%	ETC2.0の利便性の向上により利用率が増加した。引き続き、普及促進に向けて広報活動等を実施する。
首都 高速道路㈱	2.5%	15.0%	20.0%	ETC2.0の利便性の向上に加え、車載器購入助成キャンペーン等の効果により、利用率が増加した。引き続き、普及促進に向けて広報活動等を実施する。
阪神 高速道路㈱	1.5%	12.0%	20.0%	ETC2.0の利便性の向上により利用率が増加した。引き続き、普及促進に向けて広報活動等を実施する。

※ 平成27年度実績は平成28年4月時点、平成28年度実績は平成29年3月時点の値。

平成28年度(2016年度) アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

会社	■企画割引(販売件数、実施件数)						会社コメント
	販売件数(単位:千件) 地域振興や観光振興を目的とした企画割引等の販売件数 実施件数(単位:件) 地域振興や観光振興を目的とした企画割引等の実施件数						
	販売件数			実施件数			
	27年度実績	28年度実績	29年度目標	27年度実績	28年度実績	29年度目標※	
東日本 高速道路㈱	76千件	108千件	127千件	13件 (7件)	14件 (7件)	(9件)	地域連携に重点を置いた周遊プランの実施に加え、認知向上に向けた広報活動などに伴い、販売件数、実施件数は増加した。引き続き、お客様が利用しやすい企画割引の提供に努める。
中日本 高速道路㈱	23千件	33千件	34千件	13件 (10件)	12件 (9件)	(10件)	各種企画割引の広報強化に努めたことにより平成27年度実績より販売件数は増加した。また、実施件数については、平成28年度は新たに観光施設と連携した企画割引を試行的に実施し実施件数の向上に努めたが、平成27年度は新東名開通や家康公顕彰記念のイベントがあったことより、全体で平成27年度に比べて1件減少した。引き続き、お客様が利用しやすい企画割引の提供に努める。
西日本 高速道路㈱	33千件	268千件	160千件	5件 (5件)	7件 (7件)	(7件)	販売件数については熊本地震により深刻な影響を受けた九州の観光支援企画の実施により、大幅に増加した。実施件数については山陰・瀬戸内・四国地域でのインバウンド向け企画等により、増加した。引き続き、お客様が利用しやすい企画割引の提供に努める。
本州四国連絡 高速道路㈱	—	—	—	1件 (1件)	1件 (1件)	(1件)	平成26年7月より、広島県、愛媛県等と協力して瀬戸内しまなみ海道の自転車通行料金が無料となる企画割引を実施しており、平成28年度も継続して実施した。引き続き地域と協力し、お客様が利用しやすい企画割引の提供に努める。
首都 高速道路㈱	0件	0件	10千件	0件 (0件)	0件 (0件)	(1件)	お客様が利用しやすい企画割引の提供に努める。
阪神 高速道路㈱	59千件	71千件	100千件	3件 (3件)	3件 (3件)	(3件)	実施件数は変わらないものの、従来の広報に加え、新たな広報媒体の展開等の認知向上によって、より多くのお客様に認知されてきていると考えられ、販売件数は増加した。引き続き、お客様が利用しやすい企画割引の提供に努める。

※ 実施件数の()については、観光振興や地域活性化を一層推進するため、複数の企画割引を合算した後の件数を示している。

【交通安全】

会社	■死傷事故率(単位:件/億台キロ)				会社コメント
	自動車走行車両1億台キロあたりの死傷事故件数※1 (目標の下段の()内は中期目標※2)				
	27年度実績	28年度目標	28年度実績	29年度目標	
東日本 高速道路㈱	4.9件/億台キロ	4.9件/億台キロ	4.7件/億台キロ	4.9件/億台キロ (4.9件/億台キロ)	車線逸脱防止のための凹凸路面標示や注意喚起看板等の交通安全対策を実施したこと等により死傷事故件数が平成27年度に比べ減少したことなどにより、目標を達成した。中期経営計画に掲げている平成29年度の目標達成に向け、引き続き安全対策の推進に努めていく。
中日本 高速道路㈱	6.7件/億台キロ	6.4件/億台キロ	6.8件/億台キロ	6.0件/億台キロ (5.0件/億台キロ)	車線逸脱防止のための凹凸路面標示や防護柵の改良、雨天時の走行環境の改善のための高機能舗装化、逆走防止対策等を実施したが死傷事故率は平成27年度に比べ微増し、目標は未達成となった。引き続き、積極的な安全対策の推進に努めていく。
西日本 高速道路㈱	7.6件/億台キロ	7.3件/億台キロ	6.9件/億台キロ	6.8件/億台キロ (6.8件/億台キロ)	事故多発箇所等において薄層舗装や凹凸路面標示、注意喚起標識等の交通安全対策を実施したことにより死傷事故件数の削減が図られ、平成27年度に比べて減少し、目標を達成した。引き続き、積極的な安全対策の推進に努めていく。
本州四国連絡 高速道路㈱	5.0件/億台キロ	5.7件/億台キロ	4.7件/億台キロ	5.6件/億台キロ (5.7件/億台キロ)	走行性の改善を図るため舗装改良に努めたこと、工事交通規制での注意喚起の改善、路上障害物等の通報による道路情報板への掲出や、交通管理隊による落下物処理、車両制限令取締隊による積載不良車両への是正指導等、交通事故予防に努め、目標を達成した。行動計画に掲げている目標を基本として設定した平成29年度の目標の達成に向け、引き続き、安全対策の推進に努めていく。
首都 高速道路㈱	14.3件/億台キロ	15.5件/億台キロ	12.1件/億台キロ	15.0件/億台キロ (15.0件/億台キロ)	事故多発地点において、事故の要因分析を行った上で効果的な安全対策を立案し、追突や合流の注意を促す看板の設置、カーブ区間に注意喚起カラー舗装を舗装するなど安全対策を行ったことで平成27年度に比べ死傷事故件数が減少し、目標を達成した。中期経営計画に掲げている平成29年度の目標達成に向け、引き続き、安全対策の推進に努めていく。
阪神 高速道路㈱	21.8件/億台キロ	21.5件/億台キロ	20.8件/億台キロ	20.6件/億台キロ (20.0件/億台キロ)	交通量増加に伴う渋滞の増加影響を受けて車両同士の追突事故等は増加しているものの、従前より実施しているカーブ対策の推進により、平成27年度に比べ死傷事故件数が減少し、目標を達成した。引き続き、積極的な安全対策の推進に努めていく。

※1 数値は、1/1～12/31間の年間値。

※2 中期目標の年次は、東日本高速道路㈱平成32年度、中日本高速道路㈱平成32年度、西日本高速道路㈱平成32年度、本州四国連絡高速道路㈱平成30年度、首都高速道路㈱平成29年度、阪神高速道路㈱平成33年度。

平成28年度(2016年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

指標分類	■車限令違反取締(取締実施回数、引込み台数、措置命令数、即時告発件数)			
	高速道路上で実施した車限令違反車両取締			
	1段目は取締実施回数(単位:回)、2段目の()内は引込み台数(単位:台)、3段目の<>内は措置命令件数、4段目の[]内は即時告発件数(単位:件)			
会社	27年度実績	28年度実績	29年度目標※	会社コメント
東日本 高速道路株式会社	1,532回 (13,163台) <1,805件> [2件]	1,495回 (13,535台) <2,199件> [3件]	1,530回	警察や運輸局等の関係機関との合同取締や効果的な取締箇所の選定などの取組みにより、取締実施回数は減少したが、引き込み台数は増加した。引き続き、重量超過等の違反車両の取締に積極的に取り組んでいく。
中日本 高速道路株式会社	1,003回 (17,018台) <2,023件> [7件]	1,062回 (18,505台) <2,222件> [11件]	1,062回	IC等の違反傾向を分析し、違反車両の多いICについて取締を強化するなど更なる効果的な取締を実施したことにより、取締実施回数及び引き込み台数は増加した。引き続き、重量超過等の違反車両の取締に積極的に取り組んでいく。
西日本 高速道路株式会社	1,687回 (7,312台) <1,199件> [4件]	1,469回 (7,928台) <1,075件> [1件]	1,690回	熊本地震が発生し、現地での復旧作業支援を行うために1か月以上取締を休止したため取締回数が減少した。車限令の人員を増員し、体制強化を図るとともに取締の面では、通常のIC入口やTBでの取り締まりの他に、近隣休憩施設でも同時に取り締まりを行う方法や隣接ICなどでの同時取り締まりを行った結果、引き込み台数は増加した。引き続き、重量超過等の違反車両の取締に積極的に取り組んでいく。
本州四国連絡 高速道路株式会社	99回 (991台) <79件> [0件]	168回 (1,689台) <158件> [0件]	150回	平成27年度に車両制限令取締隊を設置し、同年下半年から本格的に取締を開始した。平成28年度は年間を通し取締を実施すると共に、他機関との合同取締等を実施した。また、軸重計を増設し、悪質な違反者に対する指導警告書の送付や講習会を開催し、是正指導を行った。取締実施回数及び引き込み台数は増加した。平成29年度は、より効果的に違反車両を捕捉する取締方法の工夫により取締の強化を図ることとする。
首都 高速道路株式会社	708回 (1,030台) <371件> [0件]	662回 (1,071台) <280件> [1件]	600回	取締実施回数は減少したが、国道事務所や警察等の関係機関との合同取締、軸重計データを活用した効果的な取締箇所の選定などの取組みにより、引き込み台数は増加した。首都高速道路で初めての即時告発を1件実施した。平成29年度は、より効果的に違反車両を捕捉する取締方法の工夫により取締の強化を図ることとする。
阪神 高速道路株式会社	2,801回 (1,217台) <582件> [0件]	2,784回 (1,111台) <500件> [0件]	2,800回	取締実施回数は平成27年度と同程度であったが、警察との合同取締や他社、国道事務所と効果的な取締を実施した。違反者講習会の開催、各種啓発活動を継続実施した結果、引き込み対象が減少した。引き続き、重量超過等の違反車両の取締に積極的に取り組んでいく。

※ 車限令取締違反における平成29年度の目標値は、取締実施回数について設定している。

指標分類	■逆走(逆走事故件数、逆走事案件数)※1						
	逆走事故件数(単位:件) 逆走による事故発生件数※2						
	逆走事案件数(単位:件) 交通事故または車両確保に至った逆走事案件数						
会社	逆走事故件数			逆走事案件数			会社コメント
	27年度実績	28年度実績	29年度目標	27年度実績	28年度実績	29年度目標	
東日本 高速道路株式会社	9件	5件	4件	74件	76件	55件	IC・休憩施設等における大型矢印路面標示や注意喚起看板の視認性向上等の逆走事案削減の取組みを実施し逆走事案の削減を図ったことにより、逆走事案件数は増加したものの、逆走事故件数は減少した。引き続き、逆走事故・事案件数の減少を目指し、更なる逆走対策を実施していく。
中日本 高速道路株式会社	10件	9件	6件	47件	33件	27件	IC、休憩施設等における大型矢印路面標示や注意喚起看板の視認性向上、合流部におけるラバーボール設置によるUターン防止対策の強化、SA・PAでの注意喚起などの逆走対策を実施したことにより、逆走事案件数、逆走事故件数ともに減少した。引き続き、逆走事故・事案件数の減少を目指し、更なる逆走対策を実施していく。
西日本 高速道路株式会社	18件	21件	20件	99件	91件	75件	IC・休憩施設等における大型矢印路面標示や注意喚起看板の視認性向上等の逆走事案削減の取組みを実施し逆走事案件数は減少したものの、事故件数は増加した。引き続き、逆走事故・事案件数の減少を目指し、更なる逆走対策を実施していく。
本州四国連絡 高速道路株式会社	0件	4件	3件	6件	5件	4件	従前より進めてきた道路上での対策やIC・休憩施設等における広報活動により逆走事案は若干減少したが、逆走事故件数は増加した。引き続き、逆走事故・事案件数の減少を目指し、更なる逆走対策を実施していく。
首都 高速道路株式会社	3件	2件	2件	11件	5件	4件	注意喚起を促すチラシの配布等によるソフト対策に加え、出口では、大型注意喚起看板や横断幕、路面文字等を実施、入口やJCT合流部では、高輝度矢印板やラバーボール設置等を実施したことにより、事故件数、事案件数ともに減少した。引き続き、逆走事故・事案件数の減少を目指し、更なる逆走対策を実施していく。
阪神 高速道路株式会社	2件	4件	2件	5件	11件	7件	平成28年の事故件数は増加し、事案件数も増加した。うち、高齢者(65歳以上)による逆走事案が半数以上である傾向は平成27年度と同様であった。なお、平成28年度から実施した全国統一対策のうち出口部の対策はほぼ完了した。引き続き、逆走事故・事案件数の減少を目指し、更なる逆走対策を実施していく。

※1 数値は、1/1～12/31間の年間値。

※2 逆走事故件数については、平成32年度末にゼロとすることを目標としている。

平成28年度(2016年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

指標分類 会社	■人等の立入事案件数(単位:件)				会社コメント
	歩行者、自転車、原動機付自転車等が高速道路に立入り、保護した事案件数				
	27年度実績	28年度実績	29年度目標		
東日本 高速道路㈱	974件	934件	890件		立入事案発生箇所が多い箇所を中心に、高速道路出入口部に進入禁止看板や立入抑制ポール等の対策を実施したことにより平成27年度より件数は減少した。引き続き、要因分析を実施し、事案件数の減少を目指す。
中日本 高速道路㈱	740件	833件	792件		立入事案発生箇所での看板、ラバーポール等の設置や路面標示等の対策を実施したが、20代や原付による立入が多発するなどしたため平成27年度より件数は増加した。引き続き、要因分析を実施し、事案件数の減少を目指す。
西日本 高速道路㈱	948件	1,028件	820件		立入事案発生箇所が多い箇所を中心に、看板、ラバーポール等の設置や路面標示等の対策を実施したが、歩行者・原付の立入が増えたことから全体の件数が平成27年度より増加した。引き続き、要因分析を実施し、事案件数の減少を目指す。
本州四国連絡 高速道路㈱	106件	101件	100件		立入発生施設への注意標識設置等の対策を実施したが、平成27年度と同等の件数となった。引き続き、要因分析を実施し、事案件数の減少を目指す。
首都 高速道路㈱	440件	492件	440件		大型注意喚起看板や横断幕、路面文字等のハード対策を行った結果、自転車の立入は減少したものの、歩行者、原付の立入は増えたことから、全体の件数は平成27年度より増加した。引き続き、要因分析を実施し、事案件数の減少を目指す。
阪神 高速道路㈱	307件	317件	310件		出口・入口部における注意喚起看板や路面標示の設置等、過年度からの着実な誤進入対策の取り組みが効果を上げ、対策を実施した出口・入口では減少したものの、これまで発生件数が少なく未対策だった入口で増加し、平成27年度より件数は増加した。引き続き、要因分析を実施し、事案件数の減少を目指す。

指標分類 会社	■ガソリンスタンドの空白区間(単位:区間)					会社コメント
	隣接するガソリンスタンド間が100kmを超える区間数(下段の()内はうち会社を跨ぐ空白区間数)					
	27年度実績		28年度実績		29年度目標	
	150km超区間	100km超区間	150km超区間	100km超区間	150km超区間	
東日本 高速道路㈱	11区間 (0区間)	42区間 (0区間)	7区間 (0区間)	36区間 (0区間)	0区間 (0区間)	道東道 十勝清水ICにおける、現行の料金制度を利用した路外給油のご案内、および磐越道 新津ICにおける路外給油サービスの実施により、4区間の150kmを超えるガソリンスタンド空白区間が解消となった。平成29年度は150km超区間の解消を目指す。
中日本 高速道路㈱	5区間 (4区間)	10区間 (4区間)	4区間 (4区間)	8区間 (4区間)	0区間 (0区間)	東海北陸道 福光ICにおいて、「路外給油サービス社会実験」を開始し、東海北陸道～北陸道の100km超区間、150km超区間が解消した。平成29年度は150km超区間の解消を目指す。
西日本 高速道路㈱	4区間 (4区間)	29区間 (16区間)	4区間 (4区間)	33区間 (16区間)	0区間 (0区間)	東九州自動車道の全線開通により、100km超区間が新たに4区間増加したが、解消に向け工事着手。平成29年度は150km超区間の解消を目指す。
本州四国連絡 高速道路㈱	—	12区間 (12区間)	—	12区間 (12区間)	—	淡路SAに設置されているガソリンスタンドにより、ガソリンスタンドの空白150km超区間は解消している。
首都 高速道路㈱	—	—	—	—	—	—
阪神 高速道路㈱	—	—	—	—	—	—

※1 区間数は、方向(上下線別)にそれぞれ算出。

※2 中日本高速道路㈱と西日本高速道路㈱に跨る区間は100km超及び150km超で4箇所、西日本高速道路㈱と本四高速道路㈱に跨る区間は100km超で12箇所存在する。

※3 ガソリンスタンドの空白区間が150km超の区間については、平成29年度までにゼロとすることを目標としている。

平成28年度(2016年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【道路保全】

指標分類 会社	■快適走行路面率(単位:%)				会社コメント
	快適に走行できる舗装路面の車線延長比率				
	27年度実績	28年度目標	28年度実績	29年度目標	
東日本 高速道路㈱	97%	96%	97%	96%	路面のわだち掘れやひび割れ等の調査や現地調査等に基づき、要補修箇所約541km・車線の舗装を補修し、目標を達成した。引き続き、計画的に舗装補修を実施していく。
中日本 高速道路㈱	96%	95%	97%	95%	路面わだち掘れやひび割れ等の調査結果や日常点検結果に基づき、要補修箇所約221km・車線の舗装を補修し、目標を達成した。引き続き、計画的に舗装補修を実施していく。
西日本 高速道路㈱	97%	97%	97%	98%	路面のわだち掘れやひび割れ等の調査・点検結果を踏まえ、要補修箇所約190km・車線の舗装を補修し、目標を達成した。引き続き、計画的に舗装補修を実施していく。
本州四国連絡 高速道路㈱	92%	90%	95%	95%	舗装点検車による機器点検により、舗装路面状況を適切に把握のうえ、要補修箇所約14km・車線の舗装を補修し、目標を達成した。引き続き、計画的に舗装補修を実施していく。
首都 高速道路㈱	97%	97%	97%	97%	高速上の巡回点検、舗装点検車による機器点検により、舗装路面状況を適切に把握し、要補修箇所については、保全情報管理システムを活用して、優先順位をつけ計画的に舗装補修を約55km・車線実施し、目標を達成した。引き続き、計画的に舗装補修を実施していく。
阪神 高速道路㈱	97%	97%	97%	97%	3号神戸線におけるフレッシュアップ工事や4号湾岸線、5号湾岸線などにおける車線規制工事による舗装補修を約10km・車線実施し、目標を達成した。引き続き、計画的に舗装補修を実施していく。

指標分類 会社	■橋梁の点検率(単位:%)						会社コメント
	省令に基づく点検の実施率【累計】						
	27年度実績		28年度実績		29年度目標		
橋単位	径間単位	橋単位	径間単位	橋単位	径間単位		
東日本 高速道路㈱	28%	—	52%	—	70%	—	平成26・27・28年度の橋梁の点検は全8,389橋のうち4,351橋を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
中日本 高速道路㈱	29%	—	52%	—	76%	—	平成26・27・28年度の橋梁の点検は全5,567橋のうち2,890橋を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
西日本 高速道路㈱	48%	—	64%	—	83%	—	平成26・27・28年度の橋梁の点検は全8,210橋のうち5,227橋を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
本州四国連絡 高速道路㈱	49%	—	67%	—	84%	—	平成26・27・28年度の橋梁の点検は全470橋のうち313橋を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
首都 高速道路㈱	21%	48%	50%	68%	75%	84%	平成26・27・28年度の橋梁の点検は全118橋のうち59橋を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
阪神 高速道路㈱	53%	48%	66%	73%	83%	92%	平成26・27・28年度の橋梁の点検は全318橋のうち211橋を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。

※1 径間とは、高架橋及び橋等に係る支点(橋脚または橋台)間をいう。

※2 管理施設数に対する平成26年度から当該年度までの点検数の比率。(平成26年12月31日時点基準としている。)

平成28年度(2016年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

指標分類 会社	■トンネルの点検率(単位:%) 省令に基づく点検の実施率【累計】			会社コメント
	27年度実績	28年度実績	29年度目標	
東日本 高速道路㈱	40%	62%	65%	平成26・27・28年度のトンネルの点検は全516箇所のうち320箇所を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
中日本 高速道路㈱	27%	57%	68%	平成26・27・28年度のトンネルの点検は全376箇所のうち213箇所を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
西日本 高速道路㈱	58%	72%	83%	平成26・27・28年度のトンネルの点検は全869箇所のうち625箇所を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
本州四国連絡 高速道路㈱	37%	59%	78%	平成26・27・28年度のトンネルの点検は全27箇所のうち16箇所を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
首都 高速道路㈱	31%	44%	67%	平成26・27・28年度のトンネルの点検は全64箇所のうち28箇所を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
阪神 高速道路㈱	27%	70%	95%	平成26・27・28年度のトンネルの点検は全37箇所のうち26箇所を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。

※1 管理施設数に対する平成26年度から当該年度までの点検数の比率。(平成26年12月31日時点を基準としている。)

指標分類 会社	■道路附属物等の点検率(単位:%) 省令に基づく点検の実施率【累計】			会社コメント
	27年度実績	28年度実績	29年度目標	
東日本 高速道路㈱	57%	72%	80%	平成26・27・28年度の道路附属物等の点検は全3,476施設のうち2,509施設を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
中日本 高速道路㈱	37%	59%	76%	平成26・27・28年度の道路附属物等の点検は全2,464施設のうち1,454施設を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
西日本 高速道路㈱	47%	66%	82%	平成26・27・28年度の道路附属物等の点検は全3,077施設のうち2,030施設を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
本州四国連絡 高速道路㈱	51%	73%	88%	平成26・27・28年度の道路附属物等の点検は全160施設のうち116施設を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
首都 高速道路㈱	40%	63%	82%	平成26・27・28年度の道路附属物等の点検は全1,303施設のうち823施設を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。
阪神 高速道路㈱	78%	92%	98%	平成26・27・28年度の道路附属物等の点検は全1,163施設のうち1,075施設を実施した。引き続き、計画的に点検を実施していく。

※1 管理施設数に対する平成26年度から当該年度までの点検数の比率。(平成26年12月31日時点を基準としている。)

平成28年度(2016年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

指標分類 会社	■橋梁の耐震補強完了率(単位:%) 15m以上の橋梁数に占める耐震性能2を有する橋梁数の割合 ※1			会社コメント
	27年度実績	28年度実績	29年度目標	
東日本 高速道路㈱	79%	79%	79%	速やかな機能回復が可能な性能を示す耐震性能2を満足する橋梁は、全5,895橋のうち4,639橋。引き続き、橋梁個別の耐震設計及び関係機関との協議等を行い、計画的に対策を実施していく。
中日本 高速道路㈱	88%	88%	88%	速やかな機能回復が可能な性能を示す耐震性能2を満足する橋梁は、全4,281橋のうち3,768橋。引き続き、橋梁個別の耐震設計及び関係機関との協議等を行い、計画的に対策を実施していく。
西日本 高速道路㈱	59%	59%	59%	速やかな機能回復が可能な性能を示す耐震性能2を満足する橋梁は、全6,121橋のうち3,584橋。引き続き、橋梁個別の耐震設計及び関係機関との協議等を行い、計画的に対策を実施していく。
本州四国連絡 高速道路㈱	44%	45%	45%	速やかな機能回復が可能な性能を示す耐震性能2を満足する橋梁は、全396橋のうち179橋。引き続き、橋梁個別の耐震設計及び関係機関との協議等を行い、計画的に対策を実施していく。
首都 高速道路㈱	98%	98%	98%	速やかな機能回復が可能な性能を示す耐震性能2を満足する橋梁は、全120橋のうち117橋。引き続き、橋梁個別の耐震設計及び関係機関との協議等を行い、計画的に対策を実施していく。
阪神 高速道路㈱	90%	90%	91%	速やかな機能回復が可能な性能を示す耐震性能2を満足する橋梁は、全269橋のうち242橋。引き続き、橋梁個別の耐震設計及び関係機関との協議等を行い、計画的に対策を実施していく。

※1 兵庫県南部地震と同程度の地震においても軽微な損傷に留まり、速やかな機能回復が可能な耐震対策が完了した橋梁。

※道路保全分野については「橋梁」、「トンネル」、「道路附属物等」の補修状況に関わる指標について、現在検討中

【地域との連携】

指標分類 会社	■一般道からSA等への歩行者出入口設置数(単位:箇所) 一般道からSA等への歩行者出入口が設置されているSA等の数			会社コメント
	27年度実績	28年度実績	29年度目標	
東日本 高速道路㈱	53箇所	68箇所	84箇所	平成28年度は東北道鏡石PA、東北道津軽SAなど15箇所 で出入口を新設した。平成29年度は常磐道四倉PA等で出入口を設置する予定。
中日本 高速道路㈱	124箇所	126箇所	127箇所	平成28年度は東名高速道路海老名SA ^① 、東海北陸自動車道城端SAで出入口を新設した。なお、民営化直後から、一般道側からのお客様を受け入れるべく「ぶらっとパーク」を順次整備しており、現状において出入口設置可能なエリアは整備を完了している。平成29年度は駒門PA ^② で出入口を設置する予定。
西日本 高速道路㈱	66箇所	67箇所	68箇所	平成28年度は岡山道高梁SAで出入口を新設した。引き続き、歩行者出入口の整備を進めてSA・PAのサービス向上を目指す。
本州四国連絡 高速道路㈱	0箇所	0箇所	0箇所	地域の需要及び一般道側駐車場の整備等の制約があり、設置数は0箇所である。引き続き、休憩施設の周辺状況、地域の要望や利用者ニーズを踏まえ、歩行者出入口の設置を検討していく。
首都 高速道路㈱	—	—	—	—
阪神 高速道路㈱	—	—	—	—

平成28年度(2016年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

指標分類 会社	■ 占用(占用件数、道路占用による収入、入札占用件数)									
	占用件数(単位:件) 道路占用件数			道路占用による収入(単位:百万円) 道路占用による収入			入札占用件数(単位:件) 入札占用制度による占用件数			
	占用件数			道路占用による収入			入札占用件数			
	27年度 実績	28年度 実績	29年度 目標※	27年度 実績	28年度 実績	29年度 目標※	27年度 実績	28年度 実績	29年度 目標	会社コメント
東日本 高速道路㈱	4,325 件	4,366 件	4,340 件	327 百万円	328 百万円	320 百万円	0件	0件	1件	
中日本 高速道路㈱	3,816 件	3,914 件	3,800 件	240 百万円	173 百万円	170 百万円	0件	0件	1件	占用申請に対し機構との間で締結している事務委託契約等に基づき適切に対応し、占用件数については平成27年度より件数増加した。また、道路占用による収入については、期間限定で設置された物件の占用廃止に伴い平成27年度より減少した。入札占用については実績なしであるが、対象となる占用要望を受け、実施準備対応中である。引き続き、事務委託契約等に基づき適切に対応していく。
西日本 高速道路㈱	5,975 件	6,104 件	5,990 件	257 百万円	262 百万円	260 百万円	0件	1件	1件	占用申請に対し機構との間で締結している事務委託契約等に基づき適切に対応。占用件数及び占用料収入については平成27年度より増加した。入札占用は対象となる占用要望1件について対応。引き続き、事務委託契約等に基づき適切に対応していく。
本州四国連絡 高速道路㈱	646 件	653 件	650 件	79 百万円	80 百万円	80 百万円	0件	0件	1件	占用申請に対し機構との間で締結している事務委託契約等に基づき適切に対応。占用件数、占用料収入とも平成27年度より増加。入札占用は対象となる占用要望がなく実績なし。引き続き、事務委託契約等に基づき適切に対応していく。
首都 高速道路㈱	944 件	958 件	940 件	980 百万円	999 百万円	970 百万円	0件	0件	1件	占用申請に対し、機構との間で締結している事務委託契約等に基づき適切に対応。占用件数、占用料収入とも平成27年度より増加。入札占用は対象となる占用要望がなく実績なし。引き続き、事務委託契約等に基づき適切に対応していく。
阪神 高速道路㈱	1,224 件	1,223 件	1,230 件	378 百万円	382 百万円	380 百万円	0件	0件	1件	占用申請に対し機構との間で締結している事務委託契約等に基づき適切に対応。占用件数は平成27年度と同程度、占用料収入は平成27年度より増加。入札占用は対象となる占用要望がなく実績なし。引き続き、事務委託契約等に基づき適切に対応していく。

※ 実績値の過去3年間の平均を記載。

指標分類 会社	■ SA・PAの地元利用日数(単位:日)			会社コメント
	地元が販売・イベント等によりSA・PAを利用した日数			
	27年度実績	28年度実績	29年度目標	
東日本 高速道路㈱	1,679日	1,973日	1,980日	地域の観光協会等に対して観光振興を図るPRイベント等で、SA・PAを活用いただけるよう積極的に働きかけたことなどにより、地元自治体と連携したイベント開催が増え、平成27年度より地元利用日数が増加した。更なる地元利用に向けて、地元関係機関と調整を実施していく。
中日本 高速道路㈱	1,509日	1,784日	1,800日	イベントスペースなどの整備を進め、地元自治体と連携したイベント開催が増えたこと等により、平成27年度より地元利用日数は増加した。更なる地元利用に向けて、地元関係機関と調整を実施していく。
西日本 高速道路㈱	1,250日	1,722日	1,830日	自治体への制度概要・メリットの説明等を通じて活用を促すことにより、平成27年度より地元利用日数が増加した。更なる地元利用に向けて、地元関係機関と調整を実施していく。
本州四国連絡 高速道路㈱	223日	236日	240日	地元自治体などによるイベント(地元産品のPR活動、地元地域の観光振興の取り組み)に加え、交通安全の啓発活動等での活用により、平成27年度より地元利用日数が増加した。更なる地元利用に向けて、地元関係機関と調整を実施していく。
首都 高速道路㈱	12日	12日	13日	PA利用日数は、地方自治体や観光協会等と連携した観光振興イベント等の実施により、平成27年度と同様となった。更なる地元利用に向けて、地元関係機関と調整を実施していく。
阪神 高速道路㈱	6日	1日	10日	PA利用日数は、地元関係機関との調整においてPA外での実施となったため、減少した。 また、平成29年度の更なる地元利用に向け社内検討を開始した。更なる地元利用に向けて、地元関係機関と調整を実施していく。

平成28年度(2016年度)アウトカム指標の計画と実績(高速道路会社情報の総括)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【その他】

会社	■インセンティブ助成(認定件数、交付件数、交付額)			会社コメント
	27年度実績	28年度実績	29年度目標※2	
東日本 高速道路㈱	8件 (9件) <85百万円>	5件 (8件) <243百万円>	6件	平成28年度は、北陸道の「休日を含めた昼夜連続規制による規制日数の削減」等、新設改築3件、更新・修繕2件が認定された。引き続き、新技術・新工法の開発、現場での創意工夫等による積極的なコスト縮減を目指していく。
中日本 高速道路㈱	14件 (3件) <52百万円>	13件 (0件) <0百万円>	3件	平成28年度は、新東名高速道路の大断面トンネルにおけるセラミックメタルハライドランプを用いた経済的なプロビーム照明方式の採用等、新設改築12件、更新・修繕1件が認定された。引き続き、新技術・新工法の開発、現場での創意工夫等による積極的なコスト縮減を目指していく。
西日本 高速道路㈱	11件 (6件) <211百万円>	6件 (6件) <203百万円>	3件	平成28年度は、新名神高速道路 箕面IC～神戸JCTにおける、橋梁の一部を盛土に変更等、新設改築6件が認定された。引き続き、新技術・新工法の開発、現場での創意工夫等による積極的なコスト縮減を目指していく。
本州四国連絡 高速道路㈱	0件 (0件) <0百万円>	1件 (0件) <0百万円>	1件	平成28年度は、瀬戸大橋の耐震補強工事において、道路鉄道併用橋では初めてとなる、トラス桁支承の免震化により補強部材と工費を削減する工法が認定された。引き続き、新技術・新工法の開発、現場での創意工夫等による積極的なコスト縮減を目指していく。
首都 高速道路㈱	0件 (0件) <0百万円>	0件 (0件) <0百万円>	1件	修繕工事において、助成対象候補となる工事を実施し、認定に向けての手続きに着手した。新技術・新工法の開発、現場での創意工夫等による積極的なコスト縮減を目指していく。
阪神 高速道路㈱	0件 (0件) <0百万円>	0件 (0件) <0百万円>	1件	修繕工事において、助成対象候補となる工事を実施し、認定に向けての手続きに着手した。新技術・新工法の開発、現場での創意工夫等による積極的なコスト縮減を目指していく。

※1 インセンティブ助成とは、高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理に要する費用の縮減を助成するための仕組みをいう。

※2 インセンティブ助成における平成29年度の目標値は、認定件数について設定している。

道路資産保有及び貸付状況（総括表）

（平成29年3月31日時点）

（単位：キロメートル）

	合 計	東日本高速道路(株)	中日本高速道路(株)	西日本高速道路(株)	首都高速道路(株)	阪神高速道路(株)		本州四国連絡高速道路(株)
						阪神圏	京都圏	
保有及び貸付延長	10,210	3,891	2,053	3,499	321	263	10	173
うち供用区間延長	10,122	3,869	2,045	3,456	319	251	10	173
うち新設区間延長	(502)	(149)	(195)	(105)	(19)	(34)	-	-
	88	23	8	43	2	12		
(内訳)								
全国路線網	9,582	3,891	2,047	3,471	-	-	-	173
高速自動車国道	8,317	3,376	1,844	3,097	-	-	-	-
高速自動車国道以外	1,265	515	203	374	-	-	-	173
うち供用区間延長	9,509	3,869	2,039	3,428	-	-	-	173
高速自動車国道	8,250	3,360	1,836	3,054	-	-	-	-
高速自動車国道以外	1,259	509	203	374	-	-	-	173
うち新設区間延長	(449)	(149)	(195)	(105)	-	-	-	-
高速自動車国道	74	23	8	43	-	-	-	-
高速自動車国道以外	(329)	(114)	(120)	(95)	-	-	-	-
	67	16	8	43	-	-	-	-
	(120)	(35)	(75)	(10)	-	-	-	-
	7	7	0	0	-	-	-	-
地域路線網	594	-	-	-	321	263	10	-
うち供用区間延長	580	-	-	-	319	251	10	-
うち新設区間延長	(53)	-	-	-	(19)	(34)	-	-
	15				2	12		
一の路線	34	-	6	28	-	-	-	-
うち供用区間延長	34	-	6	28	-	-	-	-
うち新設区間延長	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）延長の数值は、IC間を最小単位として、機構の保有資産が含まれている区間を全て合計したものの延長です。
但し、「うち新設区間延長」の括弧内の数值は、既に機構が資産を保有している区間を含む、協定に基づき高速道路会社が新設を行う区間の総延長です。

（注）端数処理の関係上、計が合わない場合があります。